

目 次

第1章 計画の背景	1
1. 計画策定の経緯	1
2. 策定目的	3
3. 策定方法	4
4. 第1期“さざっ子”育成プロジェクト	6
第2章 子ども・子育ての現状	9
1. 統計データにみる子ども・子育て世帯	9
(1) 子どもの数と人口	9
(2) 佐々町の子どもの割合	11
(3) 高い出生率	15
(4) 子育て世帯の現状	16
2. アンケートにみる佐々町の子ども・子育て	18
(1) アンケートの実施概要	18
(2) アンケートの実施結果	19
第3章 基本的な考え方	43
第4章 基本計画	45
1. 子どもが遊び学ぶための場と機会づくり	45
2. 子どもを守る	51
(1) 地域との連携で子どもを守る	51
(2) 情報伝達のスピードアップと伝わる範囲の拡大	52
3. 地域で育てる	53
(1) 子育て情報の発信	53
(2) 多世代の交流	54
(3) キャリア教育の推進	55
(4) 子どもに関わる機関と地域の連携	56

4. 子育て支援体制の充実	5 8
(1) 子育ての相談窓口の設置	5 8
(2) 妊娠期からの継続的な支援	5 9
(3) 教育・保育の充実	6 0
(4) 地域子育て支援拠点事業	6 3
(5) 一時預かり事業	6 4
(6) 病児病後児保育の充実	6 5
(7) ファミリーサポートセンター事業	6 5
(8) 放課後児童健全育成事業（学童保育）の充実	6 6
(9) 男女の「仕事と育児の両立」支援の実施	6 9
 第5章 計画推進のための責務と役割	 7 2
(1) 行政の役割	7 2
(2) 家庭の役割	7 2
(3) 保育・教育機関の役割	7 2
(4) 地域社会の役割	7 3
(5) 企業・職場の役割	7 3
(6) 各種団体の役割	7 3
 参考資料	 7 5
1. アンケート調査	7 6
(1) アンケート調査票	7 7
(2) アンケート調査結果	1 1 2
2. 先進事例	1 7 3
3. 委員会答申・名簿	1 7 6

第 1 章 計画の背景

1. 計画策定の経緯

わが国では、少子化が進展しており、将来にわたって国の活力をどのように維持していくのかが大きな課題になっています。政府は 1994 年（平成 6 年）に「今後の子育て支援のための施策の基本的方向について（エンゼルプラン）」を、1999 年（平成 11 年）には重点的に推進すべき少子化対策の具体的実施計画を定めた「新エンゼルプラン」を策定しました。

2003 年（平成 15 年）には地方自治体及び事業主が子育て支援に係る行動計画を策定・実施していくことを定めた「次世代育成支援対策推進法（次世代法）」が制定され、より重点的に対策の推進に取り組むことになりました。

2012 年（平成 24 年）8 月には、幼児教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するため、子ども・子育て関連 3 法が公布され、2015 年（平成 27 年）4 月から新たな子育て支援の仕組みが施行されています。また、2016 年（平成 28 年）6 月に児童福祉法が改正され、子どもが保護の対象から権利の主体へと法の理念が大きく変わりました。

新制度では、保育が必要な子どものいる家庭だけでなく、全ての家庭を対象に地域のニーズに応じた多様な子育て支援の充実が図られます。保護者が地域の教育・保育、子育て支援事業等を円滑に利用できるよう情報提供・助言等を行う利用者支援や、子育ての相談や親子同士の交流ができる地域子育て支援拠点、一時預かり、放課後児童健全育成事業（学童保育）など市町村が行う事業は「地域子ども・子育て支援事業」として法律上に位置付け、財政支援を強化して、その拡充を図ることとされました。

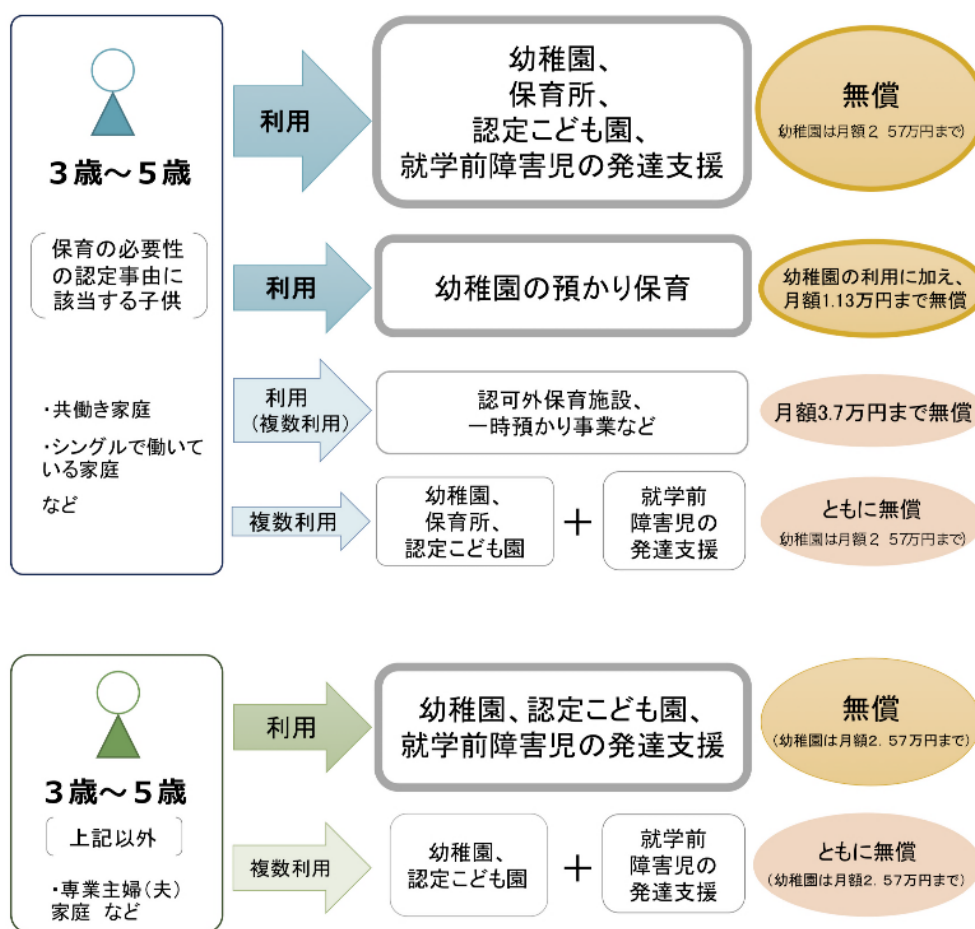
2017 年（平成 29 年）12 月に政府が提言した「新しい経済政策パッケージ」政策の 1 つに挙げられた幼保無償化は、2019 年（令和元年）10 月に消費税増税に合わせて実施されることになりました。

佐々町では 2005 年（平成 17 年）3 月に「次世代育成支援行動計画」を策定し、2005 年度（平成 17 年度）から 2014 年度（平成 26 年度）を計画期間として、おおむね 18 歳未満のすべての子どもとその家庭を対象とした次世代育成支援を総合的かつ計画的に支援してきました。

2015 年（平成 27 年）3 月に「次世代育成支援行動計画」の内容を含む、「佐々町子ども・子育て支援計画」「さざっ子」育成プロジェクト（平成 27 年度～平成 31 年度）を策定し、それに基づき量の確保と質の向上を目指した施策を実施してまいりました。

今回、佐々町では、2019 年度(令和元年度)に第 1 期計画の計画期間が満了を迎えることから、引き続き、子どもと子育て家庭を支援するために「第 2 期計画」を策定します。この計画は近年の佐々町の子ども・子育ての現状と課題を踏まえた計画です。

幼児教育・保育の無償化の主な例



資料)内閣府

2. 策定目的

子ども・子育て支援法第 61 条に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」として、「佐々町子ども・子育て支援計画」「さざっ子」育成プロジェクト（平成 27 年度～平成 31 年度）が、令和元年度で終了することに伴い、新たに令和 2 年度から令和 6 年度までの 5 ヶ年を計画期間として策定を行います。

また、本計画は、次世代育成支援対策推進法第 8 条に基づく「市町村行動計画」としても位置付けていることから乳幼児期の保育・教育、子ども・子育て支援事業に加え、子どもの貧困対策など、地域の子育て支援の充実を図るための施策について、今後の方向性を総合的に定めるものです。

第 2 期子ども・子育て支援事業計画は地域福祉計画と連動して策定しています。地域福祉計画の推進には、子育て世帯の地域福祉への参画が必要であり、課題解決も連動して実施する項目も少なくありません。中長期的には現在の子ども世代に地域福祉に興味関心を持ってもらうことが、持続可能な地域づくりに必要です。

計画の対象と期間

2020 年度(令和 2 年度)から 2024 年度(令和 6 年度)までの 5 年間の計画となります。

2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
 さざっ子 育成プロジェクト 子ども・子育て支援事業計画					 第 2 期子ども・子育て支援事業計画				
					 計画 策定				

3. 策定方法

(1) 実態把握

1) アンケート調査

町民の教育・保育、子育て支援に関する実情や要望を把握し、第2期計画の策定及び推進、量の推計に役立てるために平成31年2月に小学校就学児童までを対象に意識調査を実施しました。

2) ヒアリング調査

子ども・子育てに関連する保育所・認定こども園、小学校、学童保育、ボランティア団体等の代表の方に対してヒアリングを実施し、現状や課題を把握しました。

- ・実施期間 平成31年2月～令和元年7月
- ・実施団体等

団 体 名 等	
さざなみ保育園	佐々神田保育園
佐々青い実幼児園	ぷくぷくクラブ
佐々町立第2保育所	口石・佐々学童保育
佐々町立口石小学校	佐々町PTA連絡協議会
図書ボランティアの会	佐々町立図書館
佐々町地域婦人会	さざ川のカブトガニを守る会
そらまめクラブ	佐々町青少年健全育成会

また、将来にわたり持続可能な地域福祉を担う担い手の育成推進を目的に、子どもたちの発達段階に応じた、外の世界との繋がり(空間)認識の喚起醸成を図るワークショップを行うとともに、乳幼児期の保育に携わる関係者との意見交換会を開催しました。

3) 統計解析

佐々町の子ども・子育てに関する実態を把握するために「国勢調査」「長崎県推計人口」等をもとに解析し、佐々町の子ども・子育ての現状や特徴を明らかにしました。

(2) 委員会

委員会は、地域福祉の担い手として活動をリードしている方々に参加いただきました。また委員会では、ワールドカフェ方式により委員の意見やアイディアの創出を図り、計画への反映に努めました。

- 第1期佐々町地域福祉計画 第2期佐々町子ども・子育て支援事業計画
アンケート報告会 「佐々町の福祉を考えるタベ」～子どもから大人まで～
平成31年4月5日(金) 18時30分～
- 第1回計画策定委員会 令和元年5月14日(火) 13時30分～
- 第2回計画策定委員会 令和元年6月14日(金) 13時30分～
- 第3回計画策定委員会 令和元年7月16日(火) 13時30分～
- 第4回計画策定委員会 令和元年8月24日(土) 13時30分～
- 第5回計画策定委員会 令和元年10月15日(火) 13時30分～
- 第6回計画策定委員会 令和2年1月21日(火) 16時00分～

4. 第1期“さざっ子”育成プロジェクト

(子ども・子育て支援事業計画)について

平成27年3月には「次世代育成支援行動計画」の内容を含む、「佐々町子ども・子育て支援計画」「さざっ子”育成プロジェクト（平成27年度～平成31年度）が策定されました。「“さざっ子”育成プロジェクト」では、教育・保育についての必要な量を定め、一時預かりや地域子育て支援拠点事業、放課後児童健全育成事業などの様々な子育て支援事業の充実を掲げています。

第2期を策定するにあたり、以下、第1期でのポイントを検討すると同時に、これまでの佐々町の子育て支援の事業をまとめています。

(1) 第1期計画の概要

第1期計画では以下のような基本理念や方向性が示されました。

①第1期計画の期間について

策定時期：平成27年3月

計画期間：平成27年度～平成31年度

②第1期計画策定の背景

平成27年度からスタートした子ども・子育て支援新制度に合わせた計画であり、社会全体による費用負担を行いながら、「質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供」、「保育の量的拡大・確保」、「地域の子ども・子育て支援の充実」に向けた取り組みを推進する。

③目指す姿

第1期計画においては、子どもとその保護者が「佐々町に生まれ、佐々町で育ってよかった」そして、「今後も佐々町で子育てをしたい」と思ってもらえるような子育て支援が充実したまちづくりを目指し、以下の基本理念を掲げていました。

「ずっと住みたい、住みたくなる暮らしづくり」

(2) 全体目標(第1期計画概要)

この基本理念を実現するために3つの目標が決められました。①子どもの育ちが保障された社会づくり、②働きながら子育てができる環境づくり、③すべての子育て家庭を視野に入れた支援体制づくりです。

①第1期計画の期間について

子どもの育つ環境は、最も身近な家族・家庭が中心となり、地域、学校等と少しずつその成長に応じて広がっていきます。その広がりの中で、子どもが伸び伸びと育ち、自分らしさや可能性を最大限に発揮しながら、いずれ社会の中で果たすこととなる役割や意義を見つけ出すことができるよう、地域全体で子どもを支える環境づくりを進めなければなりません。その中でも、学童期の子どもたちは、多くの時間を学校で過ごすことから、学校は家庭と並ぶ、子どもの育ちの重要な場所となっています。本町では、子どもの自立性・社会性を育むために、福祉と教育の関係機関が十分に連携を図りながら、施策を進めていくことが求められています。

②働きながら子育てができる環境づくり

男女共同参画の視点からは、子育てと仕事の両立はもとより、家事、趣味や生活などすべてが父親と母親を中心とした役割分担によって行われていくことが求められています。同時に、企業側の理解も重要であり、働く人の立場に立った多様な働き方が選択できる仕組みとその実現が求められています。一方、近年多様化してきた保育ニーズに対応できる体制整備も必要となっています。働きながら子育てができる環境づくりには、短期的な視点に立った「保育サービスの提供体制の整備」と、長期的な視点に立った「ワーク・ライフ・バランス」に配慮した社会づくりが求められています。

③すべての子育て家庭を視野に入れた支援体制づくり

本町が目指す「安心して生み育てられる環境づくり」には、「すべての子育て家庭の不安や負担感が軽減される仕組みづくり」が求められています。不安や負担感の軽減や解消のためには、まずは、身近に何でも話することができる見守りの輪があることを保護者に感じてもらうことで、子育て家庭の孤立を未然に防ぐことが重要です。さらに、何かあったときには、専門家が相談・対応に応じてくれるという安心感が重要となります。

全国的な少子化の要因として、子育てに対する経済的な負担が大きいことや、近年の経済情勢を反映して非正規雇用が拡大していることなどがあがってきていることから、子育て家庭への経済的負担の軽減に向けた各種取り組みが求め

られています。さらに、国・県・近隣市町と連携した、医療体制の確保(特に産婦人科・小児科)や専門的な支援を要する児童に対応できる相談支援体制の確立など、すべての子育て家庭を視野に入れた支援体制の確立が求められています。

佐々町では以上の3つの目標にそって、平成27年度から平成31年度に多様な事業が実施されました。今回のプランにおいても、引き続き実施が必要な事業は実施します。また、新しい課題に対しては解決に向けて力を入れ、また意見が分かれる事項については、引き続き検討していきます。

第2章 子ども・子育ての現状

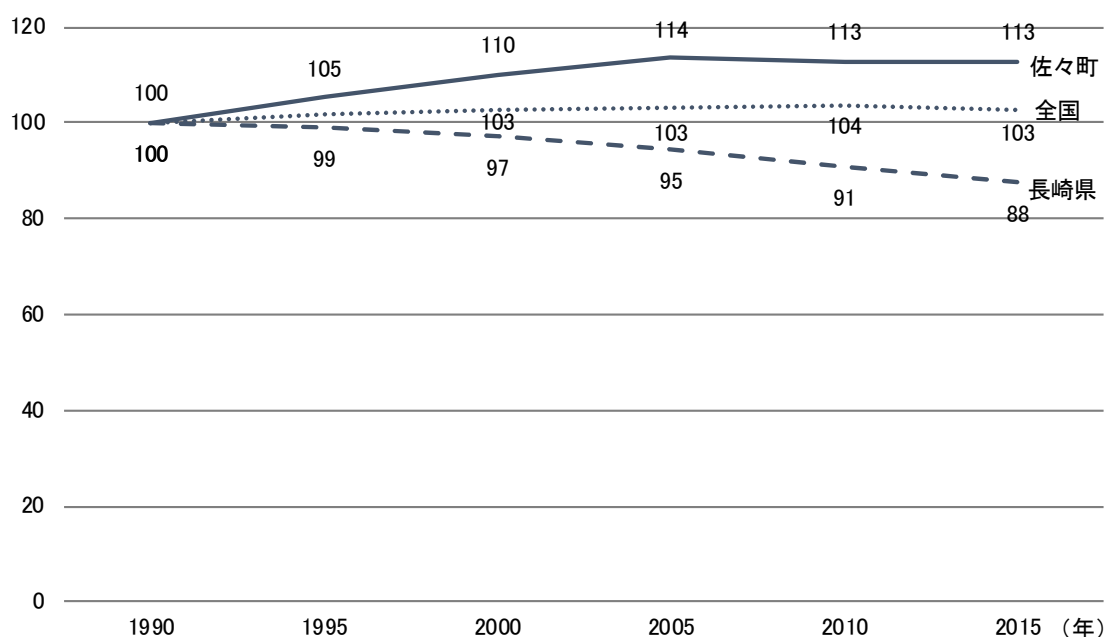
1. 統計データにみる子ども・子育て世帯

(1) 子どもの数と人口

佐々町の人口は1990年を100とすると、2015年には113と上昇傾向を示しています。長崎県が減少傾向を示しているのとは対照的です。

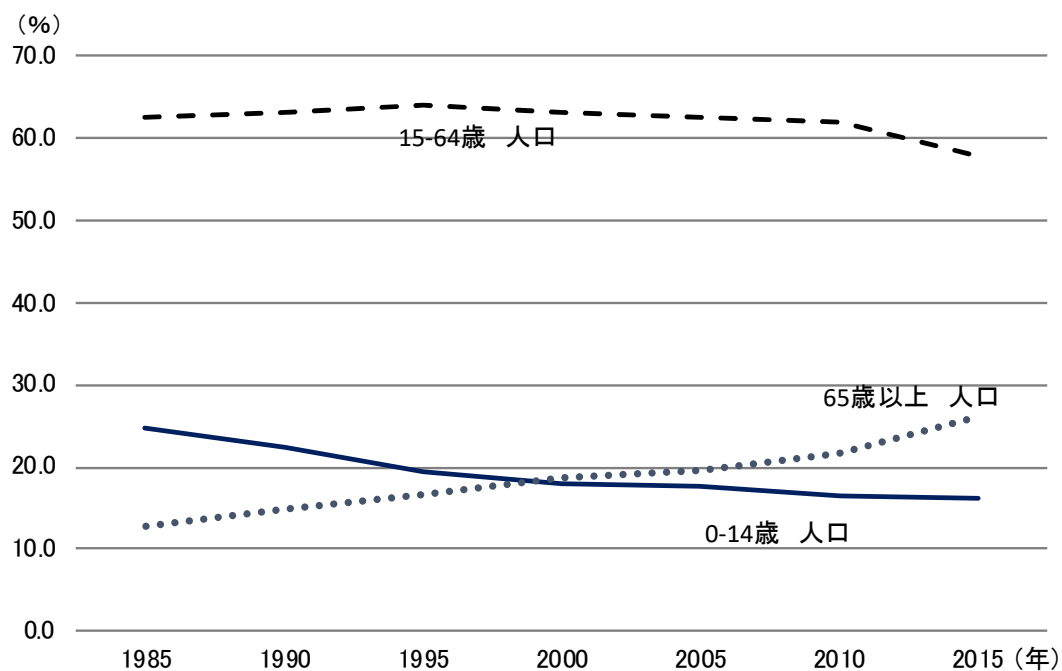
佐々町の人口構造の変化をみると65歳以上人口の割合は増加しており高齢化の進展がみられます。一方、0-14歳人口は緩やかな減少傾向を示しています(図1-2)。子どもの数(0-14歳)は全国と比べると減少率も低く、2010年以降は横ばい傾向が続いています(図1-3)。

図1-1 総人口の推移(1990年=100)



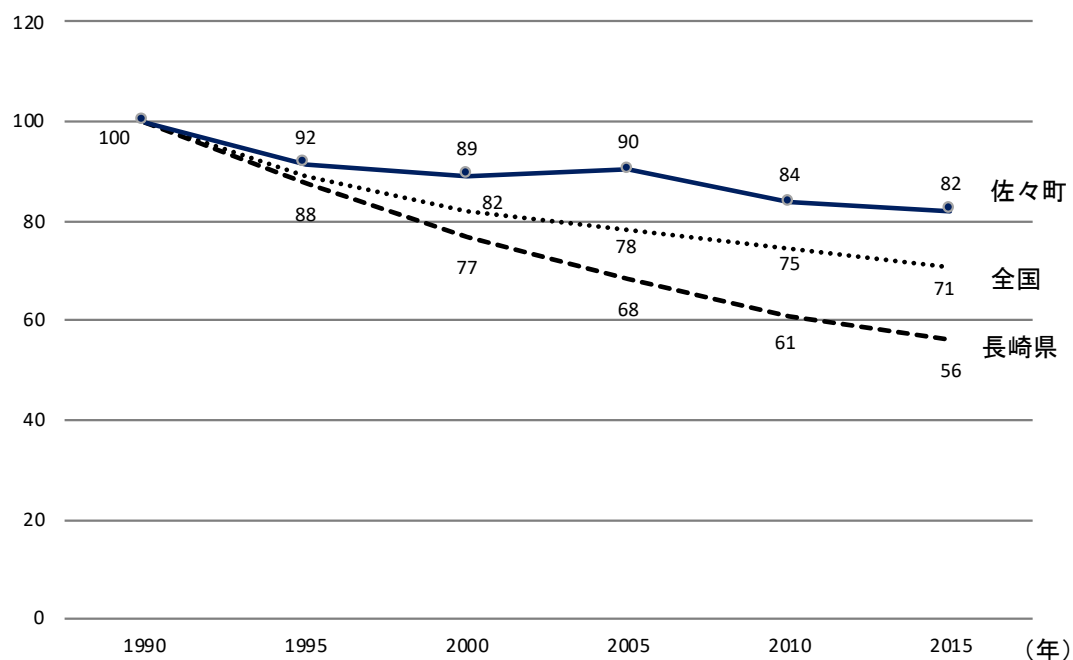
資料) 国勢調査

図 1-2 人口 3 区分(年少・生産・高齢)割合の推移



資料) 国勢調査

図 1-3 子ども (0-14 歳) の数の推移 (1990 年=100)



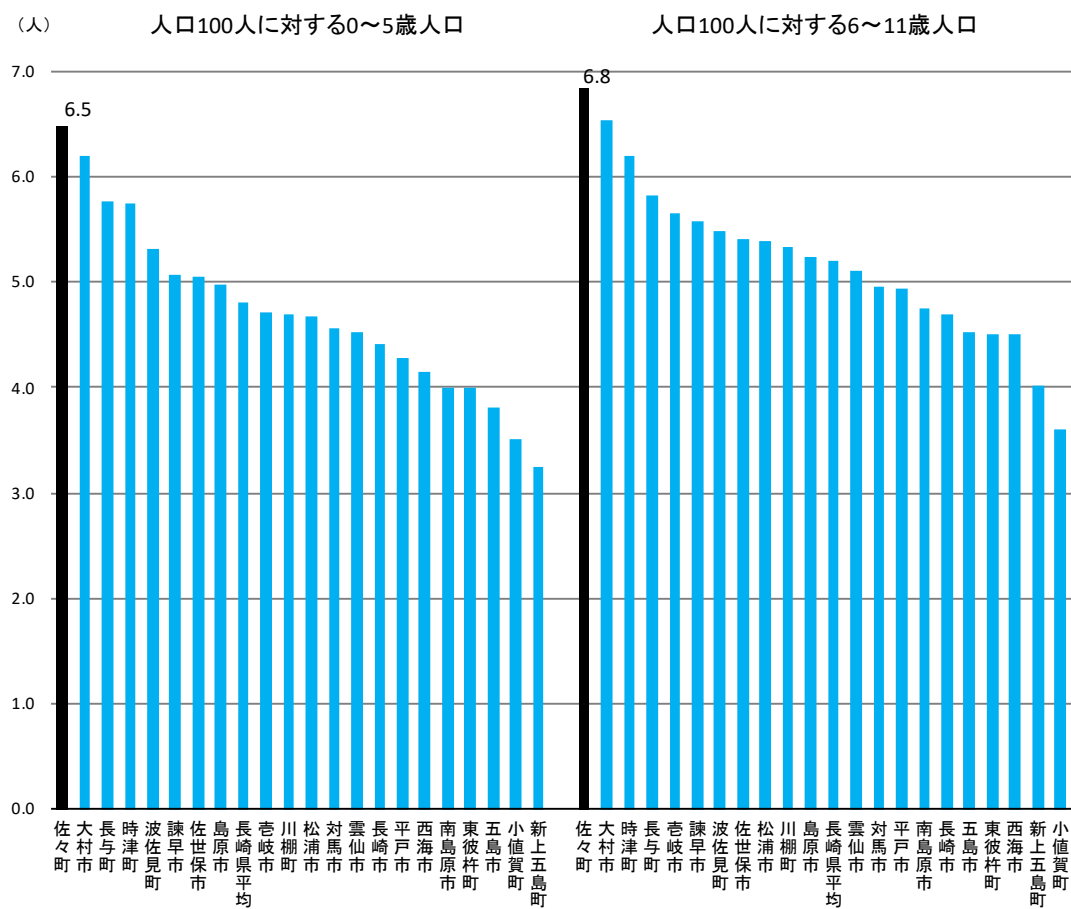
資料) 国勢調査

(2) 佐々町の子どもの割合

～人口に対する子どもの数が多い～

佐々町においても少子高齢化の傾向はみられるものの、人口に対する子どもの数では長崎県下でも最も多く、子どもが多い地域といえます。

図 1-4 人口に占める子どもの数

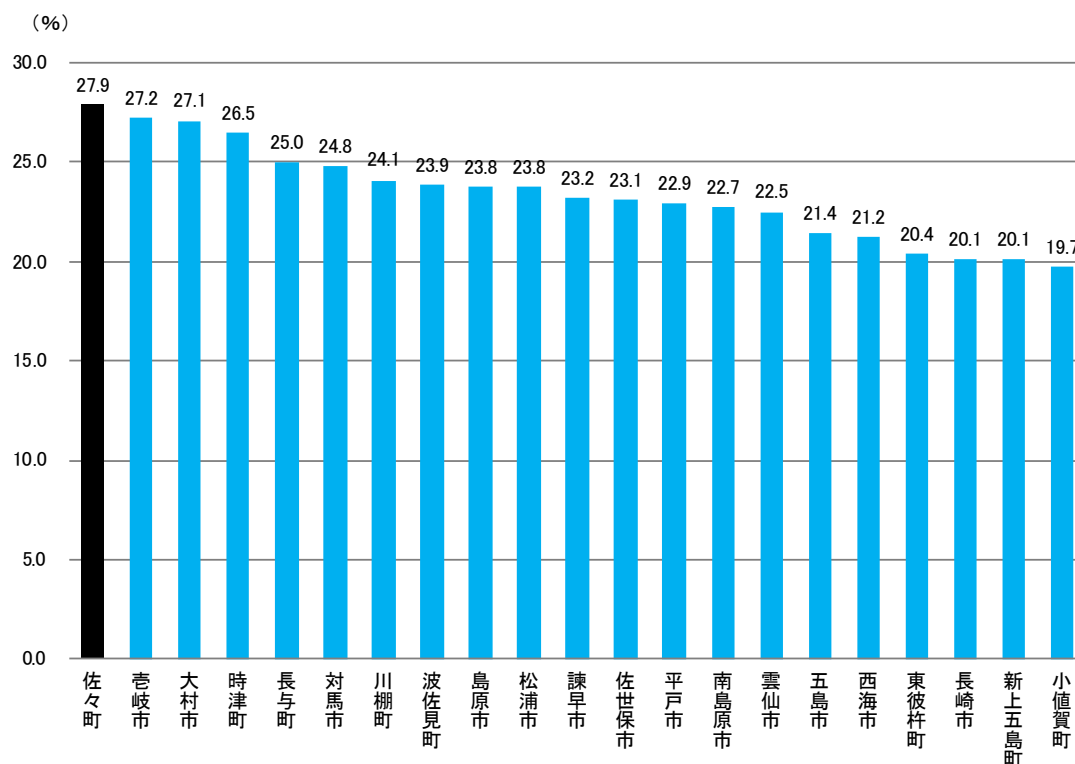


資料) 長崎県市町別年齢別推計人口 (平成 30 年 10 月 1 日現在)

～年少人口指数も高い～

年少人口指数は、働く世代(15-64歳の生産年齢人口)に対する年少人口の相対的な大きさを表し、生産年齢人口の扶養負担の程度を表しています。佐々町は働く世代に対して年少人口の割合は長崎県下で最も高く、働く世代が多くの子どもを支えています。

図 1-5 年少人口指数(2015 年)



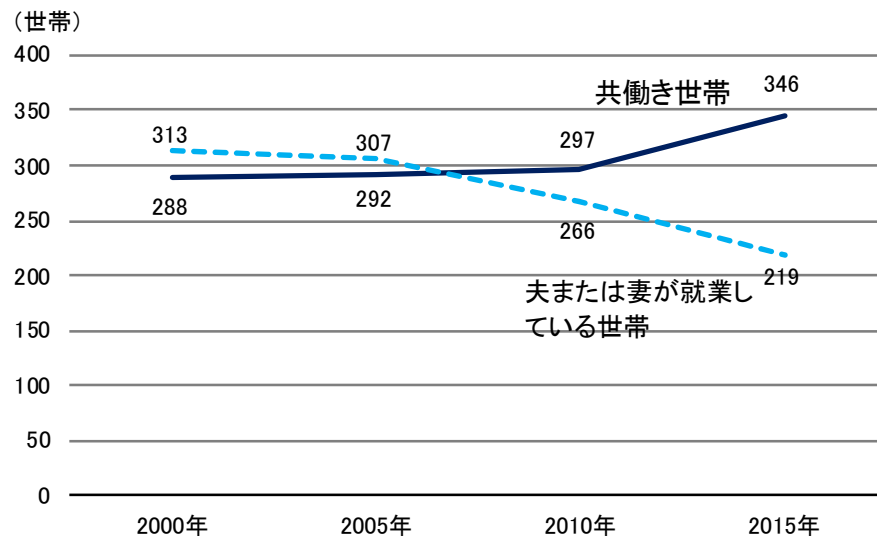
注) 年少人口指数 = (15歳未満人口) / (15～64歳人口) × 100

資料) 国勢調査

～増加する共働き世帯～

佐々町における共働き世帯の割合は急速に増えており、夫または妻が就業している世帯の数を上回るようになっていきます。夫婦ともに仕事をしながら子育てをする世帯が急速に増えており、仕事と子育ての両立が求められるようになっていきます。

図 1-6 佐々町の 6 歳未満の子どもがいる夫婦世帯(就業状況別)



注) 夫婦ともに就業していない世帯を除く

資料) 国勢調査

図 1-7 子ども(18 歳未満)のいる夫婦世帯(就業状況別)

		2000年	2005年	2010年	2015年
全国	共働き世帯	5,706,688	5,540,225	5,420,530	5,758,265
	夫または妻が就業している世帯	5,600,721	4,799,300	4,134,811	3,239,593
長崎県	共働き世帯	-	-	65,333	66,129
	夫または妻が就業している世帯	-	-	38,471	28,973
佐々町	共働き世帯	799	755	741	813
	夫または妻が就業している世帯	523	489	425	318

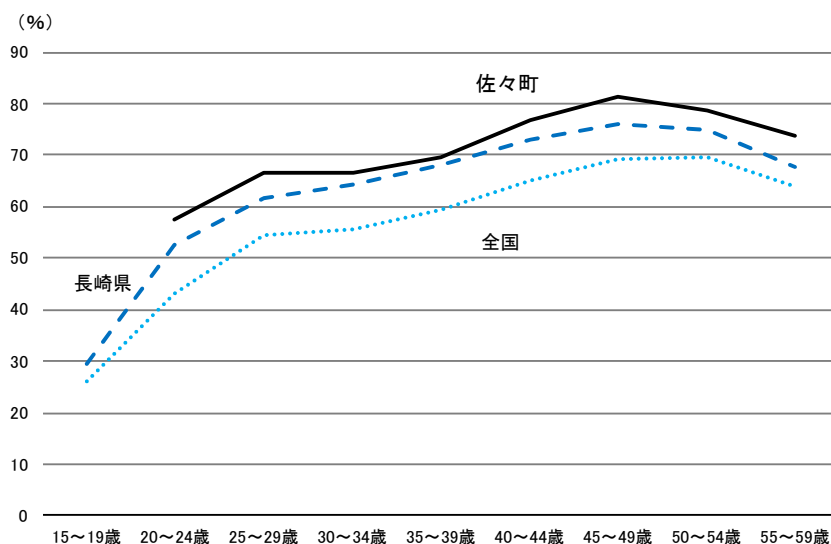
注) 夫婦ともに就業していない世帯を除く

資料) 国勢調査

～就業女性が多い～

佐々町の有配偶者女性の就業率をみると、全世帯で全国、長崎県を大きく上回っています。結婚しても仕事をする女性が多いことを示しています。

図 1-8 有配偶者女性の就業率(2015 年 年齢別)

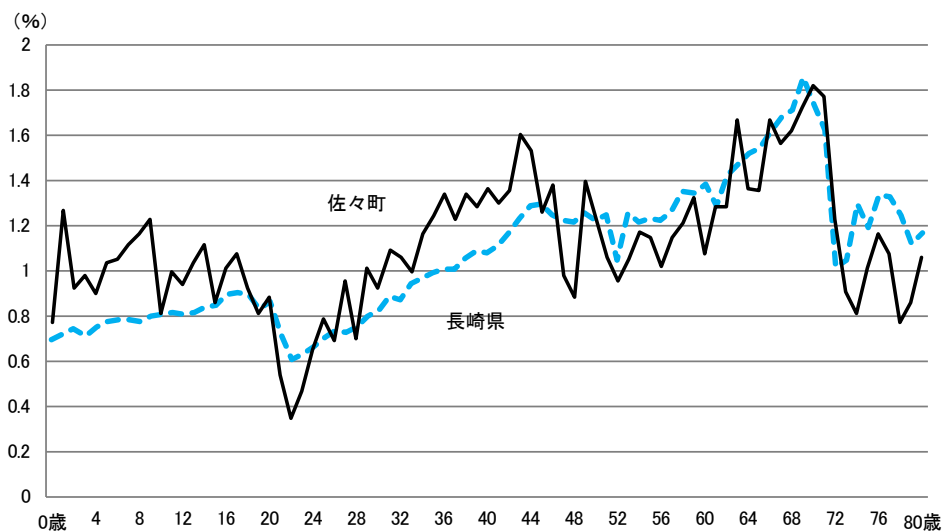


資料) 国勢調査

～子育て世代の女性の割合も高い～

佐々町の人口構成をみると、女性の20代後半から40代前半まで長崎県の構成比を上回っています。子どもを出産する時期(20代後半から40代前半)の女性が多いことを表しています。一旦20代前半で佐々町を離れた人が戻ってくるか、もしくは子育て世代の転入が考えられます。

図 1-9 女性の人口構成比(年齢別)

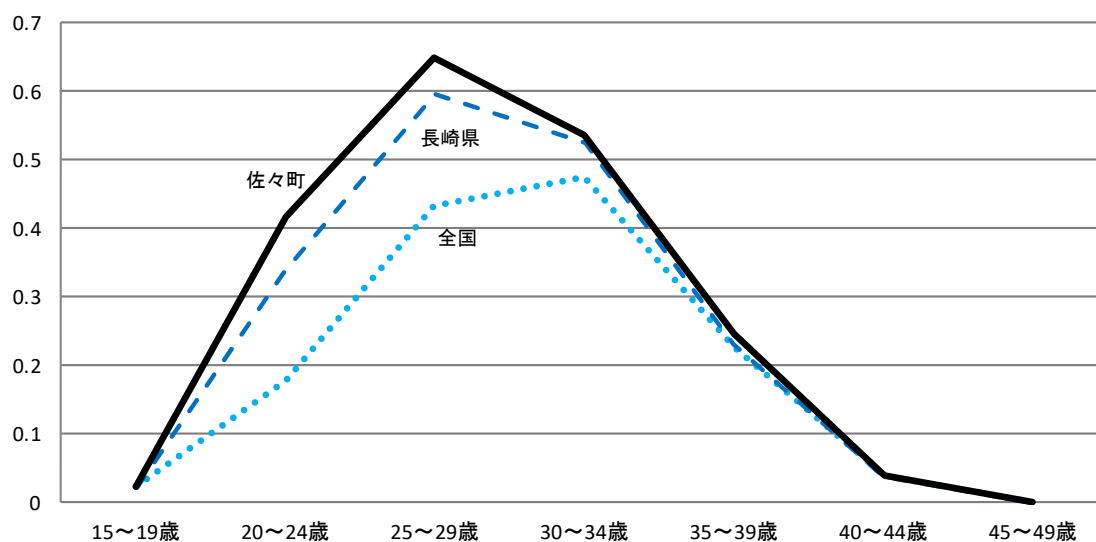


資料) 長崎県「推計人口 2018年10月1日」

(3) 高い出生率

2008 年から 2012 年の少子化関係資料によると 20～34 歳での出生率が高くなっています。また、国勢調査(2015 年)でみると、佐々町は「子どもが 3 人」「子どもが 4 人以上」と、多子世帯の割合が高いのが特徴です。

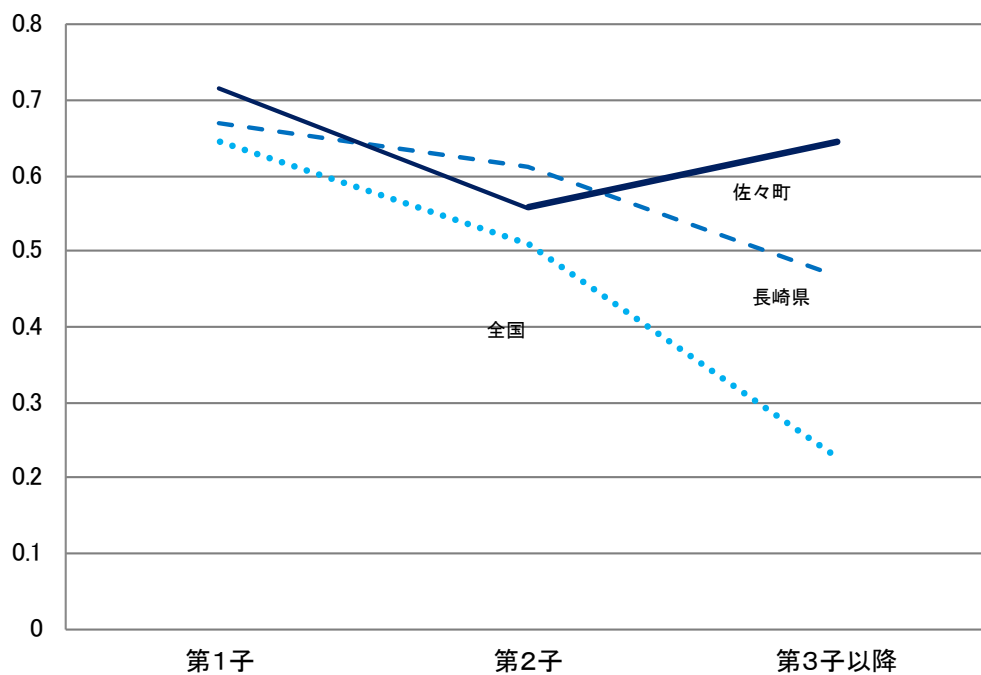
図 1-10 合計特殊出生率(2008～2012 年)



資料)市町村別少子化関係指標 官邸資料

注) 合計特殊出生率とは、一人の女性が一生の間に産む子どもの数を表すものです。

図 1-11 合計特殊出生率出生順位別内訳(2008～2012 年)



資料)市町村別少子化関係指標 官邸資料

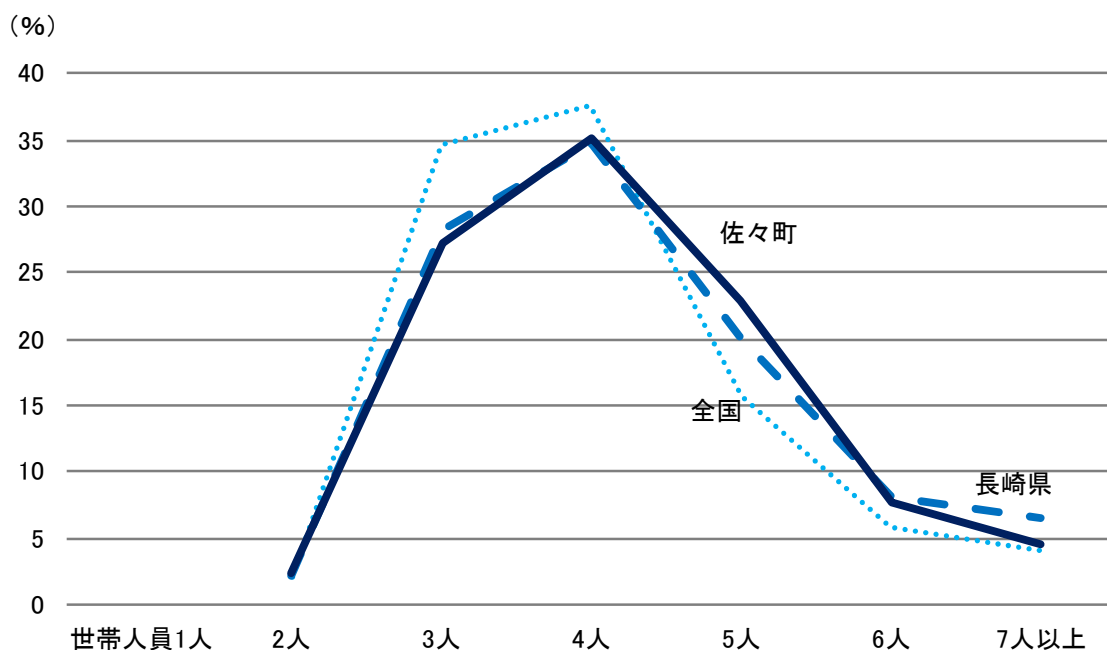
(4) 子育て世帯の現状

～多い世帯人員～

6歳未満の子どもがいる世帯構成をみると、全国的には3人、4人世帯の割合が高くなっています。しかし、佐々町の特徴は5人、6人世帯が多く、全国の割合を上回っています。

また、子どもが「3人」「4人以上」の世帯の割合が高く、多子世帯が多いのが特徴です。

図 1-12 6歳未満の子どもがいる世帯構成(2015年)



資料) 国勢調査

図 1-13 世帯における子ども(2015年)のいる世帯数の割合

	(%)		
	全国	長崎県	佐々町
子供が1人	49.4	50.3	47.4
子供が2人	38.9	34.9	35.0
子供が3人	10.2	12.4	14.6
子供が4人以上	1.5	2.4	2.9

資料) 国勢調査

～高いひとり親の割合～

佐々町では、20 歳未満の子どもを持つ母子家庭・父子家庭のひとり親家庭は、2010 年から 2015 年でほとんど横ばいでしたが、6 歳未満の子どもは増える傾向をみせています。また、佐々町の一般世帯に占めるひとり親家庭の割合は、全国、長崎県の平均を上回っています。

図 1-14 ひとり親家庭(母子世帯+父子世帯) 世帯数

	2005年		2010年		2015年	
		6歳未満		6歳未満		6歳未満
全国	841,333	172,042	844,661	143,884	838,727	138,283
長崎県	11,758	2,283	11,532	1,845	10,889	1,884
佐々町	151	29	125	15	126	25
佐世保市	2,450	503	2,381	417	2,178	400

図 1-15 一般世帯に占めるひとり親家庭 世帯割合(%)

	2005年		2010年		2015年	
		6歳未満		6歳未満		6歳未満
全国	1.71	0.35	1.63	0.28	1.57	0.26
長崎県	2.13	0.41	2.07	0.33	1.95	0.34
佐々町	3.18	0.61	2.57	0.31	2.48	0.49
佐世保市	2.37	0.49	2.28	0.40	2.08	0.38

注)①2005 年佐世保市は旧小佐々町、旧宇久町、旧江迎町、旧鹿町町の数字を加えている

②6 歳未満は「6 歳未満の子どもがいる世帯」のこと

③母子世帯は未婚、死別又は離別の女親と、その未婚の 20 歳未満の子どものみから成る一般世帯をいう

④父子世帯は未婚、死別又は離別の男親と、その未婚の 20 歳未満の子どものみから成る一般世帯をいう

資料) 国勢調査

2. アンケートにみる佐々町の子ども・子育て

(1) アンケートの実施概要

①アンケートの実施期間

平成 31 年 2 月 5 日(火)～2 月 25 日(月)

②抽出・回収方法 対象

「幼稚園・保育所利用世帯」

「幼稚園・保育所未利用世帯(家庭保育)」

「就学児童世帯」

1 世帯に 1 部以上アンケートを配布しないために末っ子宛にアンケートを配布し、郵送にて回収しました。

③アンケートの配布方法

幼稚園・保育所を利用している世帯については、幼稚園・保育所にて配布し、家庭保育用・就学児童については郵送にて配布しました。

アンケートの配布枚数および回収数は以下のとおりです。

全体の回収率は 47.6%でした。

アンケートの配布枚数

	配布枚数（枚）	回収枚数（枚）	回収率（%）
幼稚園・保育所利用世帯	498	269	54.0
家庭保育	241	107	44.4
就学児童世帯	347	141	40.5
合 計	1,086	517	47.6

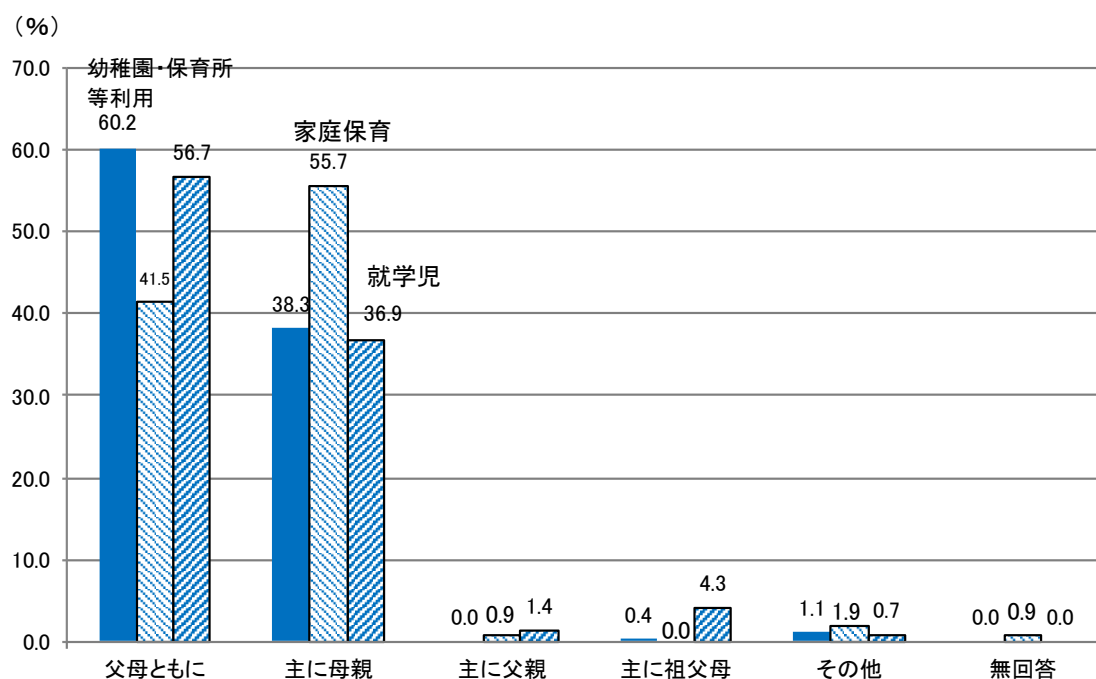
(2) アンケートの実施結果

1)子育て環境

～子育ては母親の割合が高い～

共働き世帯の増加とともに、父母ともに育児をする傾向は強まっていると考えられますが、まだまだ母親への負担が大きいことが考えられます。

図 2-1 主に子育てをしている人（単回答）

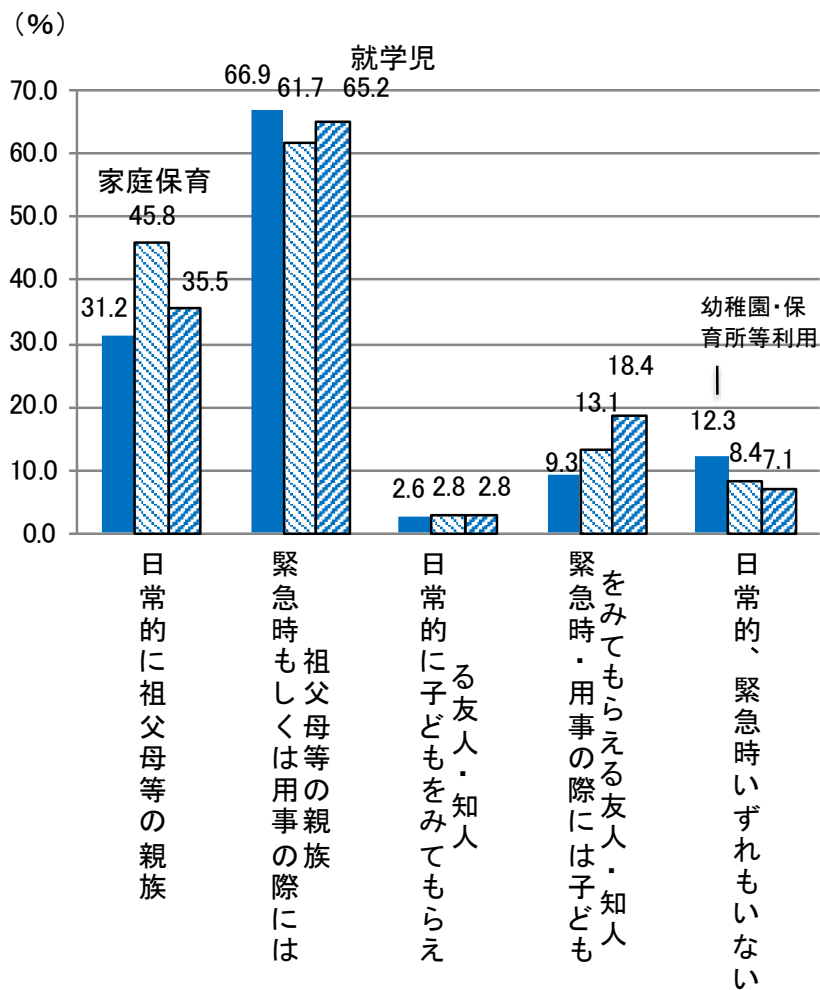


注) 幼稚園・保育所等 n=269、家庭保育 n=107、就学児 n=141

～日常的・緊急時に祖父母や親族がみる～

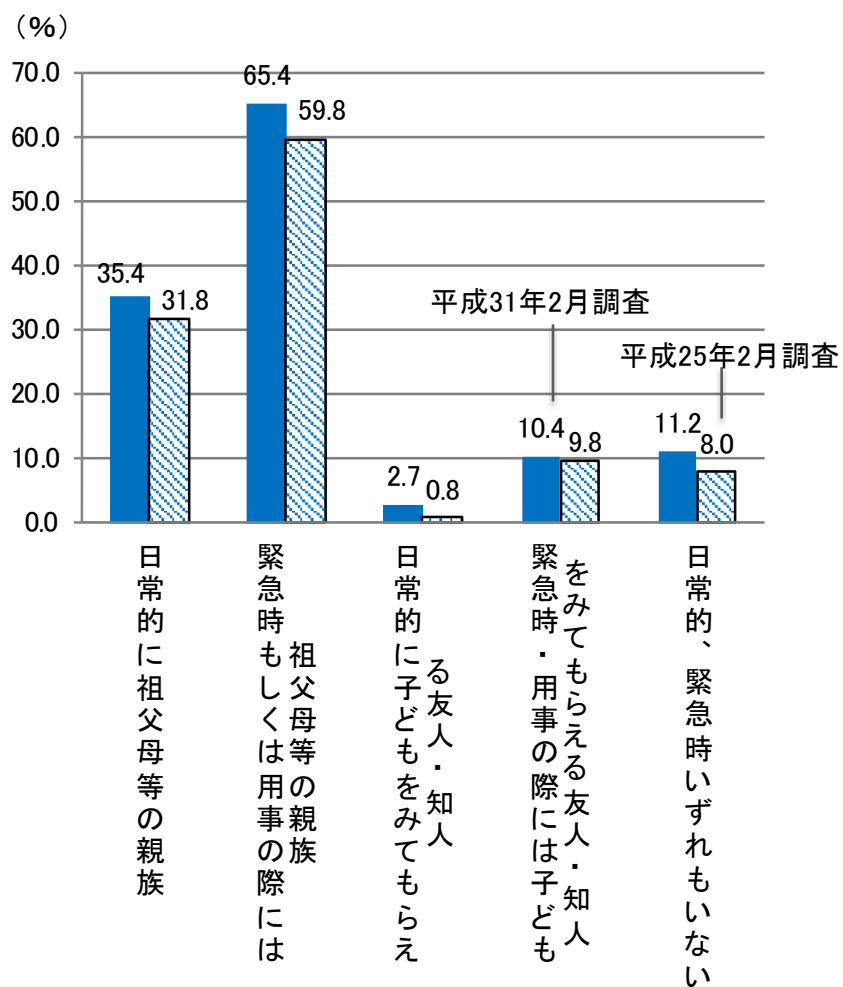
日常的・緊急時にみてもらえる親族・知人がいるかを聞いたところ、祖父母等の親族に支えられている割合は高くなっています。一方、「いずれもない」という回答が、幼稚園、保育所利用者で 12.3%、家庭保育で 8.4%、就学児で 7.1%です。以前(平成 25 年 2 月)と比較すると(図 2-3)、未就学児では、日常的・緊急時に祖父母等の親族にみてもらう傾向は強まっているものの、一方、みてもらえる人が「いずれもない」という割合が増えています。

図 2-2 日常的・緊急時に親族・知人にみてもらえる割合
(複数回答)



注) 幼稚園・保育所等 n=269、家庭保育 n=107、就学児 n=141

図 2-3 日常的・緊急時に親族・知人にみてもらえる割合
(未就学児・平成 25 年 2 月との比較)

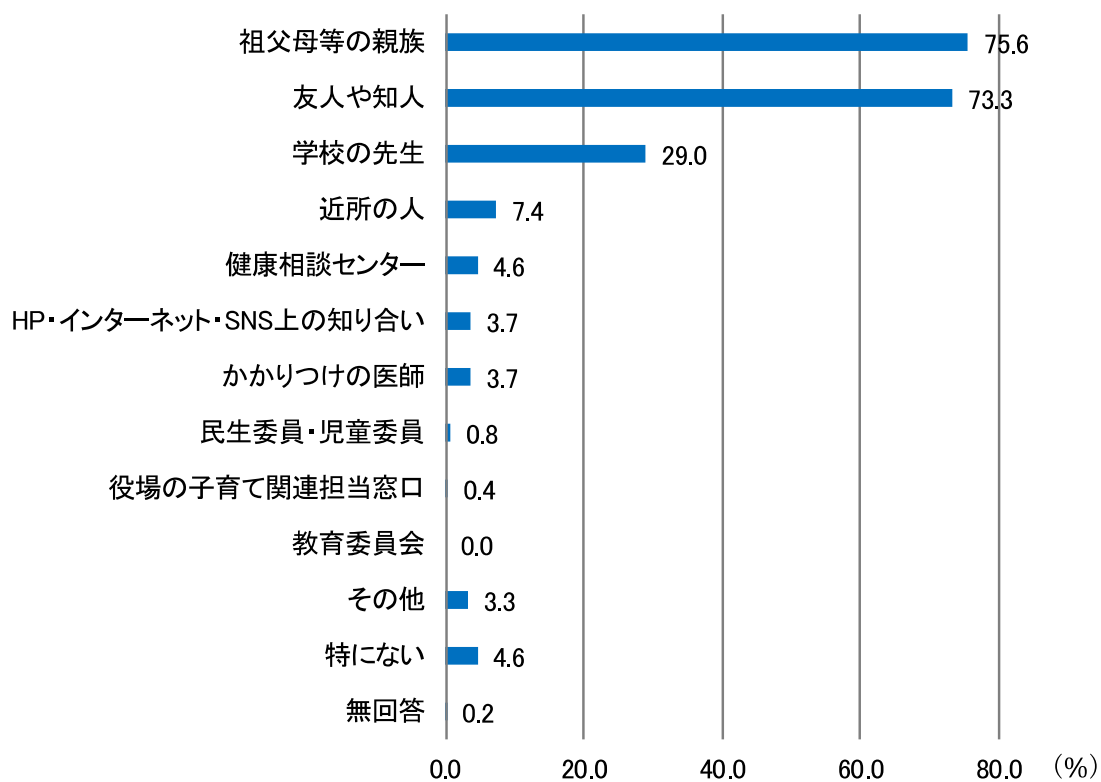


注) 平成 31 年調査 n=376 (未就学児は幼稚園・保育所等 (n=269)、家庭保育 (n=107) の計)
平成 25 年調査 n=336

～気軽に相談できる先は、祖父母や友人知人～

気軽に相談する先としては、「祖父母等の親族」や「友人や知人」に相談する人が7割を超えています。

図 2-4 気軽に相談する先(3 つまで選択可)



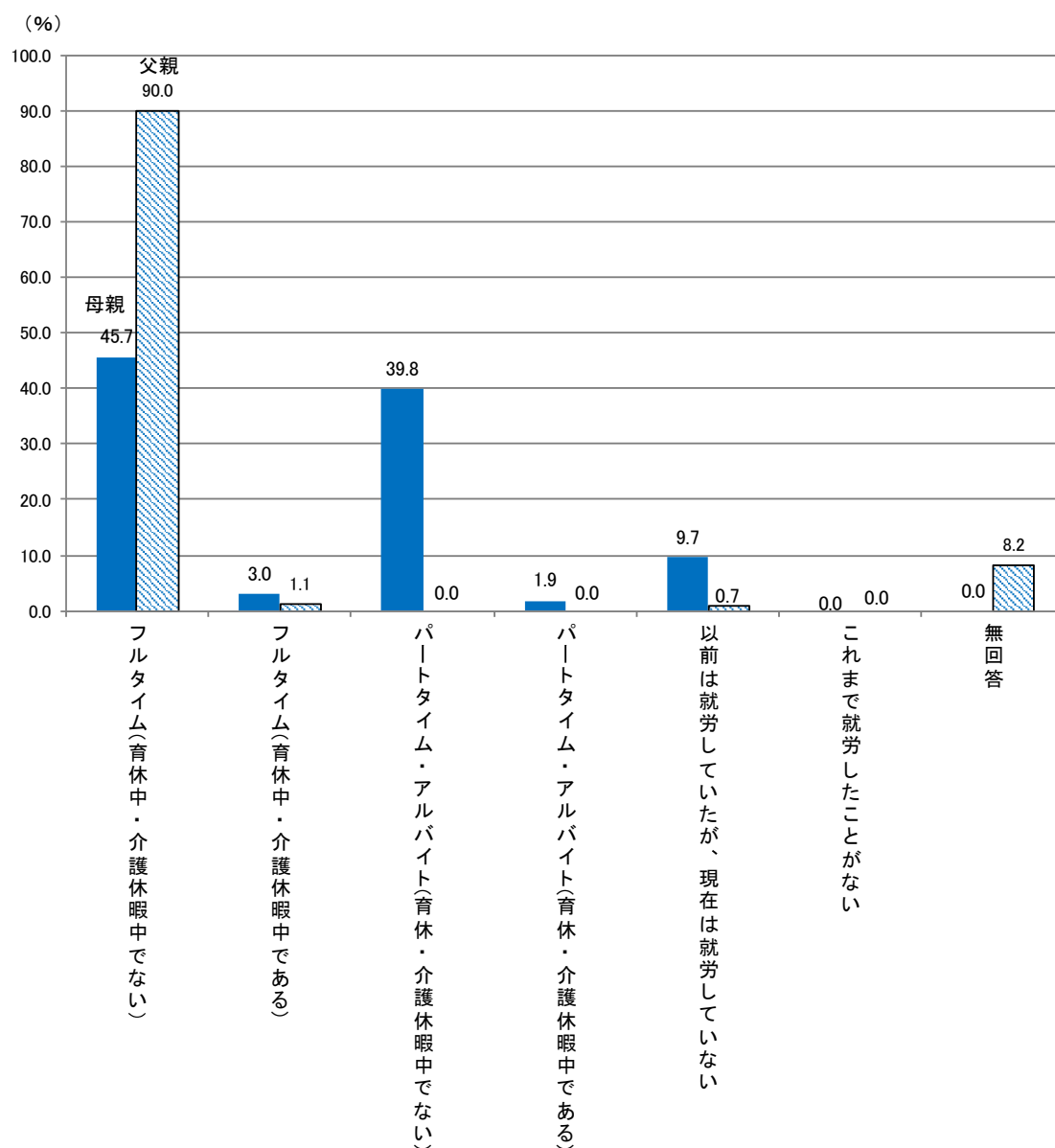
注) すべての子育て世帯 n=517

幼稚園・保育所等 n=269、家庭保育 n=107、就学児 n=141

2) 父母の就労状況と子育て支援

幼稚園・保育所に通われている世帯の母親・父親それぞれの就労状況をみると、父親はほぼフルタイムで働いており、母親はフルタイム(45.7%)、パートタイム(39.8%)で働いています。また、父母ともにフルタイムの割合は 43.5%でした。

図 2-5 父母親の就労状況（単回答）

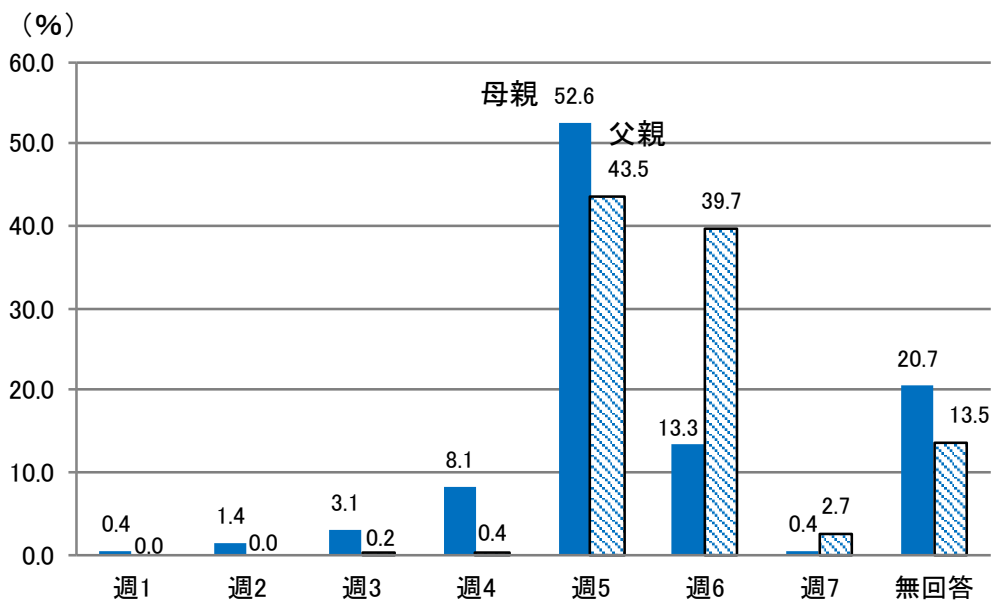


注) 幼稚園・保育所等 n=269

～週5日、6日勤務が多い～

共働き世帯の増加とともに、働く日数も週5日、6日勤務が多い状況にあります。

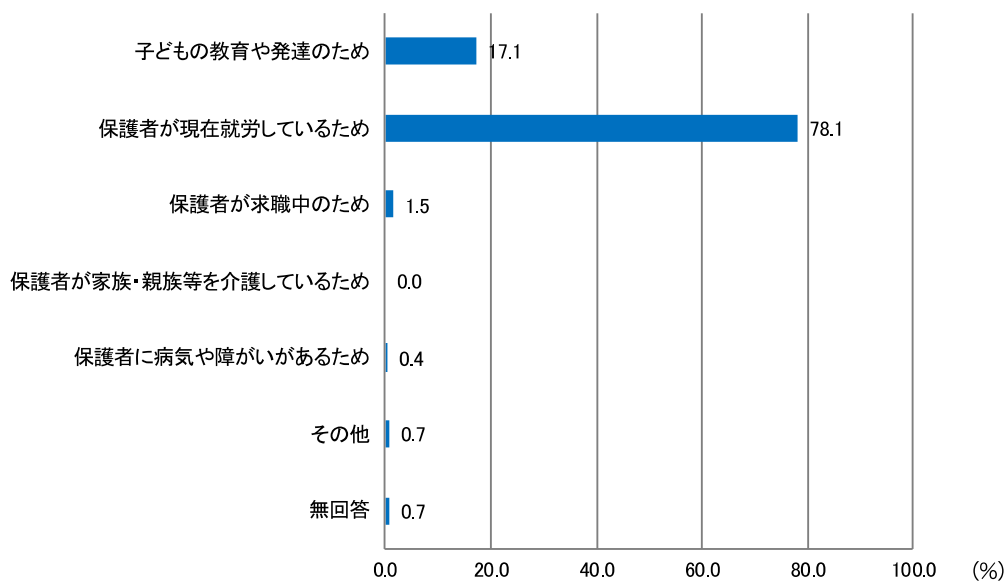
図 2-6 1週間あたり勤務日数（単回答）



～平日に幼稚園・保育所等を利用する理由～

平日に定期的に幼稚園や保育所等を利用されている主な理由は、78.1%が「保護者が現在就労しているため」でした。

図 2-7 平日に幼稚園・保育所等を利用する理由（単回答）

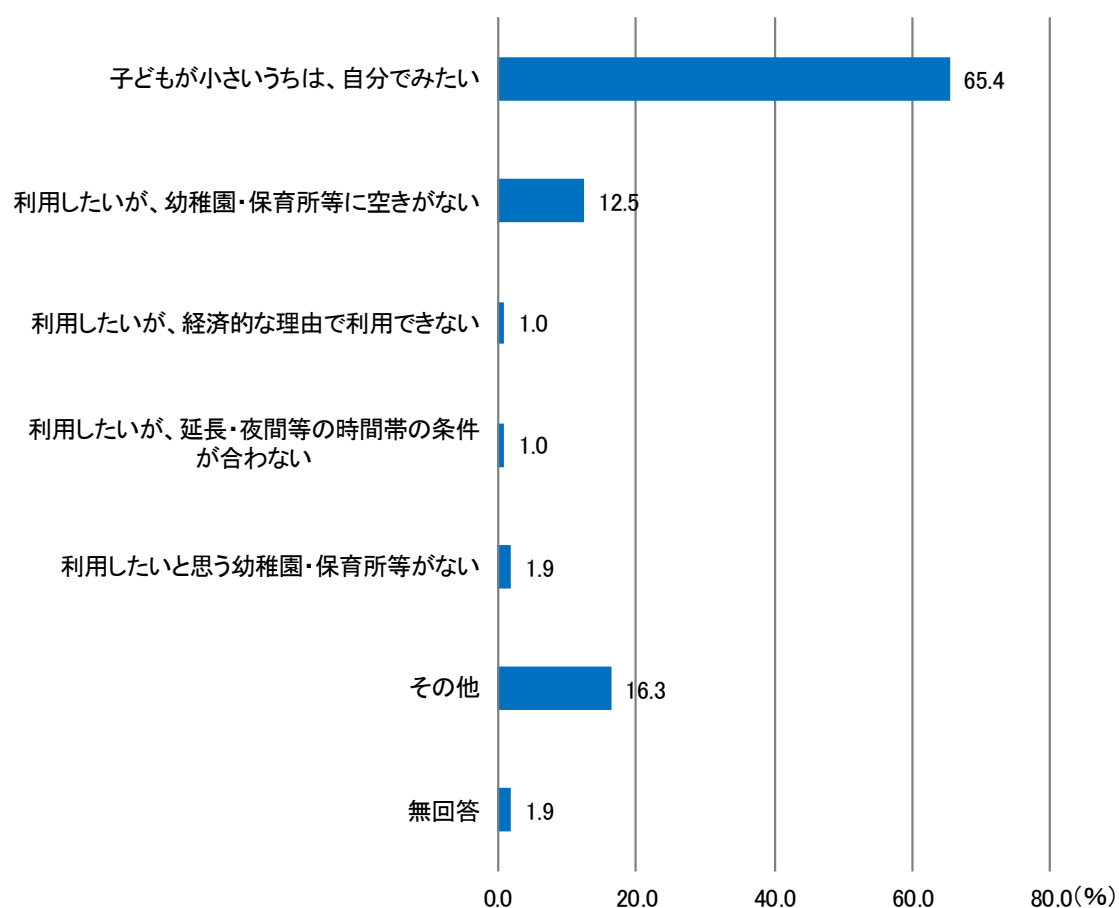


注) 幼稚園・保育所等 n=269

～子どもが小さいうちは家庭でみたい(家庭保育)～

家庭保育をされている方が、幼稚園や保育所等を利用していない理由は「子どもが小さいうちは、自分でみたい」が65.4%でした。

図 2-8 幼稚園や保育所等を利用していない理由（単回答）

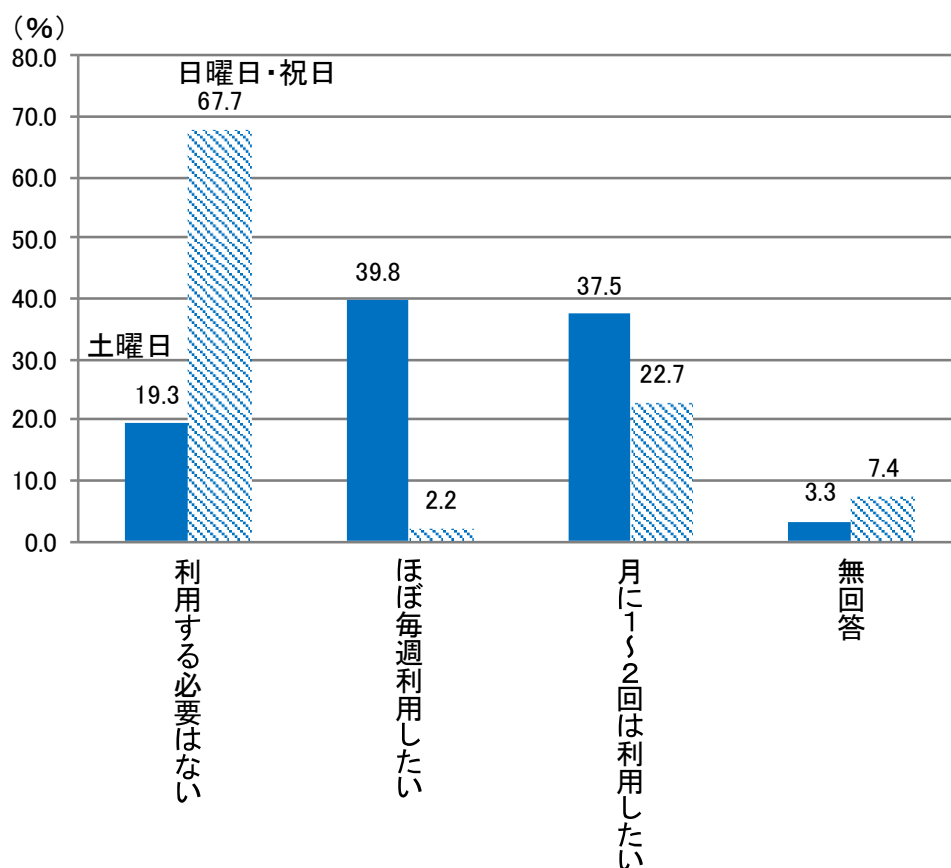


注) 家庭保育 n=107

～幼稚園・保育所の土曜日、日曜日・祝日も多い利用希望～

幼稚園や保育所等を土曜日にも利用したい人(「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回利用したい」の計)は77.3%でした。日曜日・祝日に「月に1～2回利用したい」も22.7%ありました。

図 2-9 土曜日、日曜日・祝日の幼稚園保育所等の利用希望（単回答）

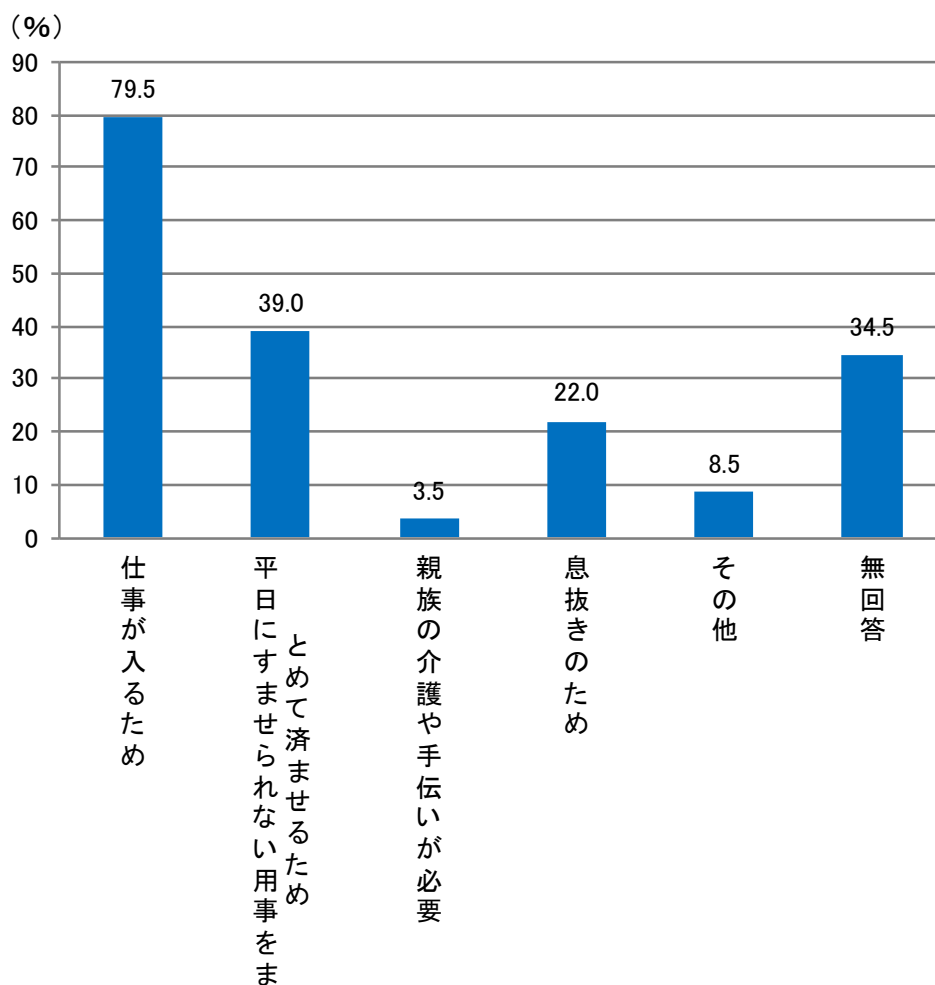


注) 幼稚園・保育所等 n=269

～土曜日・日曜日・祝日に利用したい理由～

幼稚園や保育所等を土曜日にも利用したい理由としては「仕事が入るため」(79.5%)が最も多く、次に「平日にすませられない用事をまとめて済ませるため」(39.0%)という結果でした。

図 2-10 土曜日・日曜日・祝日に幼稚園・保育所等を利用したい理由
(複数回答)



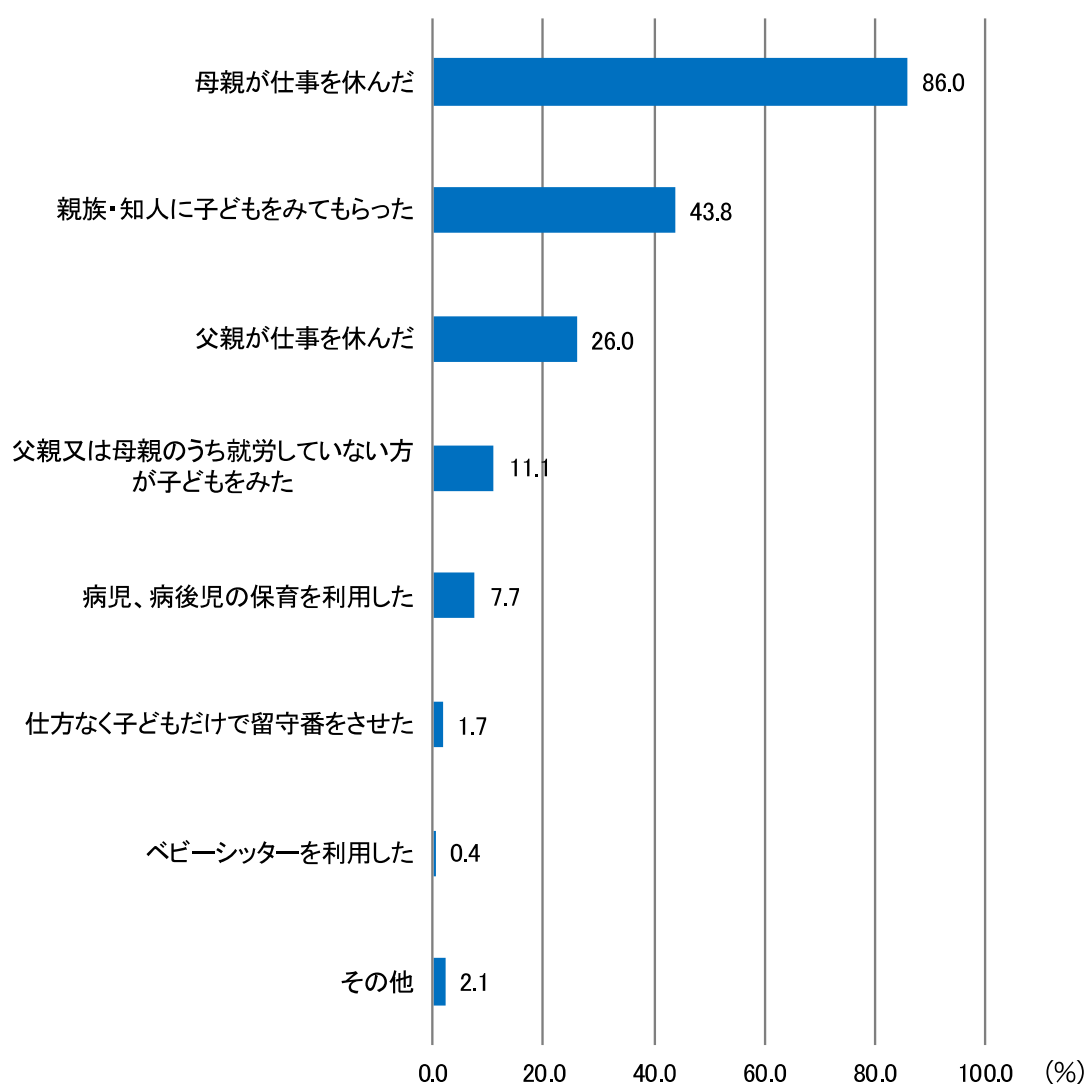
注) 幼稚園、保育所のうち利用したい人のみ n=200

3) 緊急時の対応

～母親が仕事を休む～

お子さんが病気やケガで幼稚園や保育所等の利用ができなかったことがあるかを聞いたところ、87.0%が「利用できないこと」があったと答えています。利用できなかった時の対処法としては「母親が仕事を休んだ」との回答が 86.0%でした。

図 2-11 幼稚園・保育所等が利用できなかった場合の対処法（複数回答）

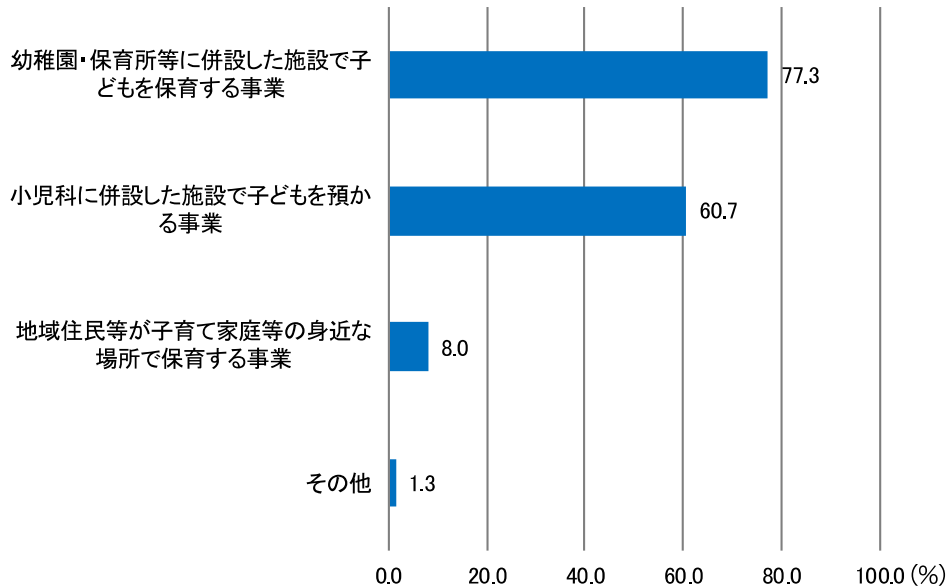


注) 幼稚園や保育所等の利用者が子どもの病気等で利用できなかった人 n=235

～利用したい病児・病後児施設は幼稚園・保育所の併設型を希望～

病児・病後児を預かる事業としては、「幼稚園・保育所等に併設した施設」の希望が最も多く、希望者の 77.3%でした。「小児科に併設した施設」の利用希望は 60.7%です。

図 2-12 利用したい病児・病後児施設(複数回答)

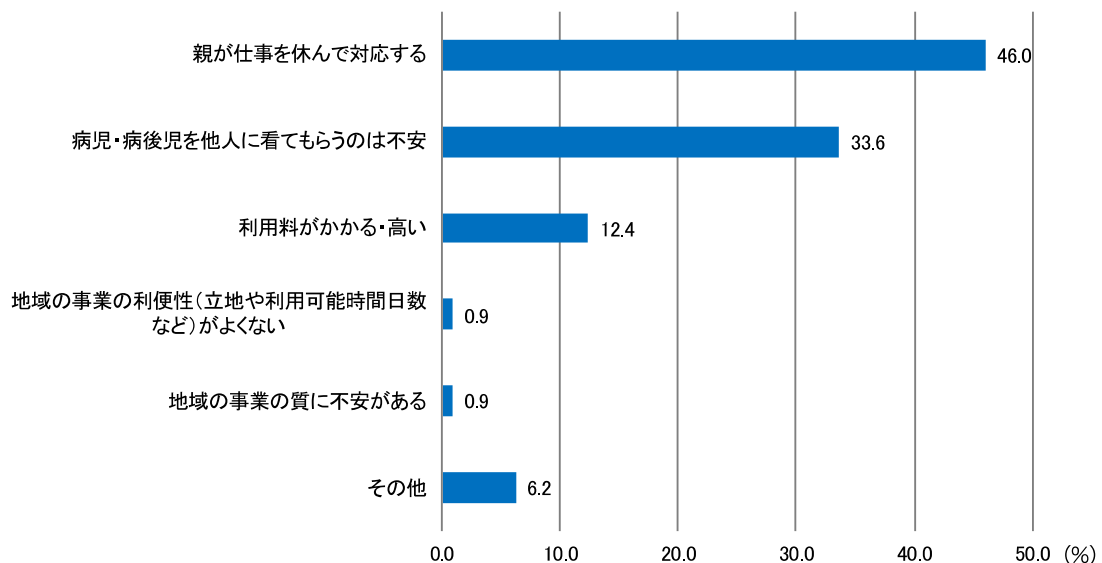


注) 幼稚園や保育所等の利用者が病児・病後児を預かる施設を希望する n=150

～利用しない理由は親が休むから～

利用しない理由としては「親が仕事を休んで対応する」(46.0%)が最も多い回答でした。

図 2-13 病児・病後児を預かる事業を利用したいと思わない理由(単回答)



注) 幼稚園や保育所等の利用者が利用したいと思わない方 n=113

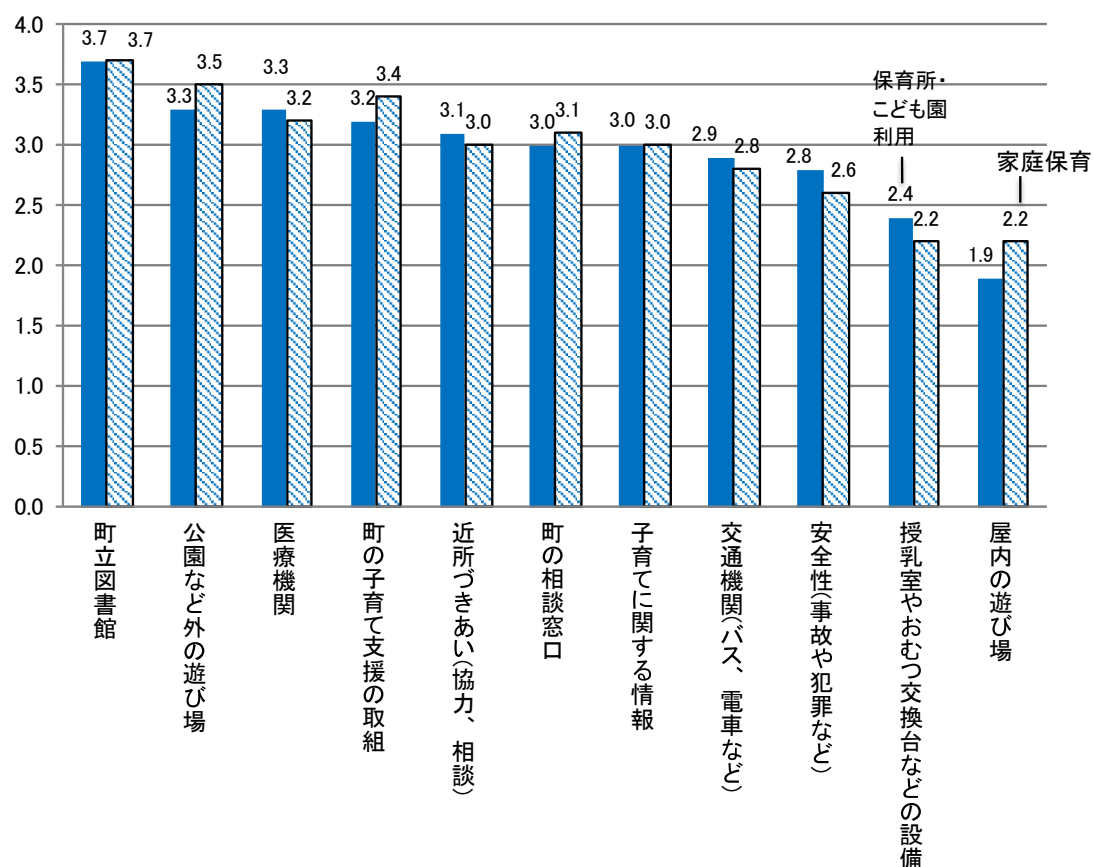
4) 子ども・子育て関連施設の満足度

子どもに関連する施設の評価(5段階評価の平均)について聞いたところ未就学児(幼稚園や保育所等、家庭保育)で高い評価を受けたのは「町立図書館」「公園など外の遊び場」「医療機関」でした。一方で「屋内の遊び場」「授乳室やおむつ交換台などの設備」「安全性(事故や犯罪など)」は低い評価となっています。

就学児童については「町立図書館」「学校教育の内容」「医療機関」については高い評価でした。「屋内の遊び場」「安全性(事故や犯罪など)」「交通機関(バス、電車など)」については低い評価となっています。

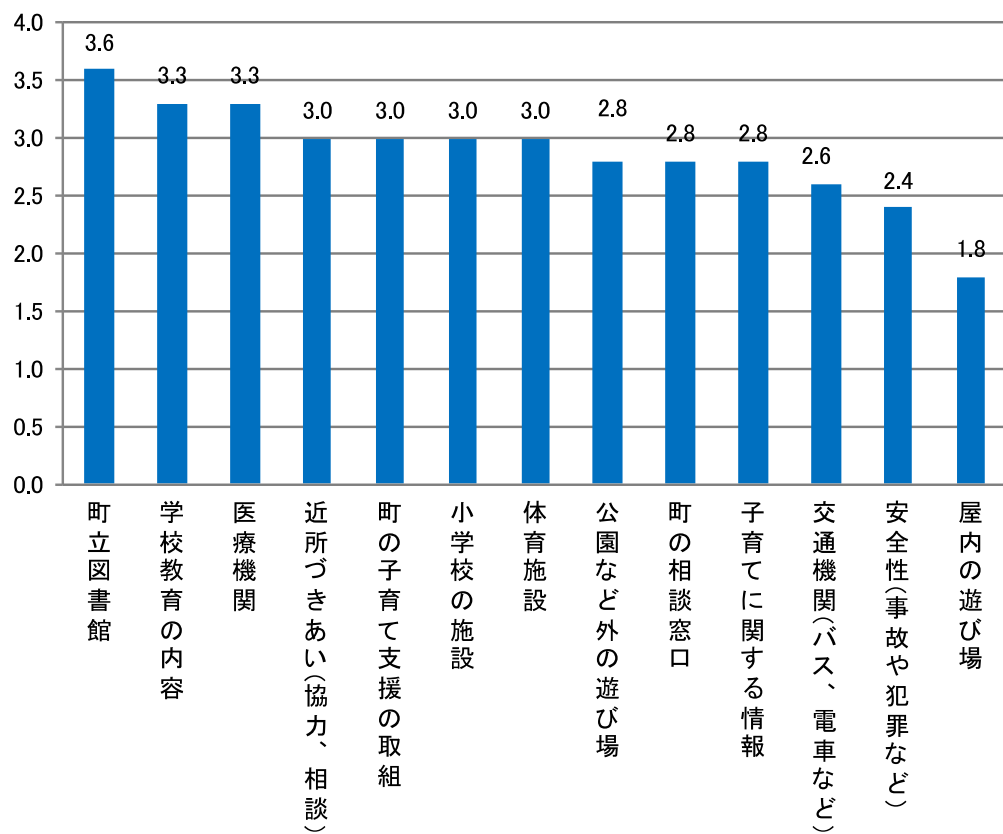
「町立図書館」は未就学児・就学児ともに高い評価を受けています。「公園など外の遊び場」は未就学児においては高い評価ですが、就学児童では評価は低くなっています。

図 2-14 子ども・子育て関連施設の満足度(未就学児・5段階評価)



注) 幼稚園・保育所等 n=269、家庭保育 n=107

図 2-15 子ども・子育て関連施設の満足度(就学児・5段階評価)

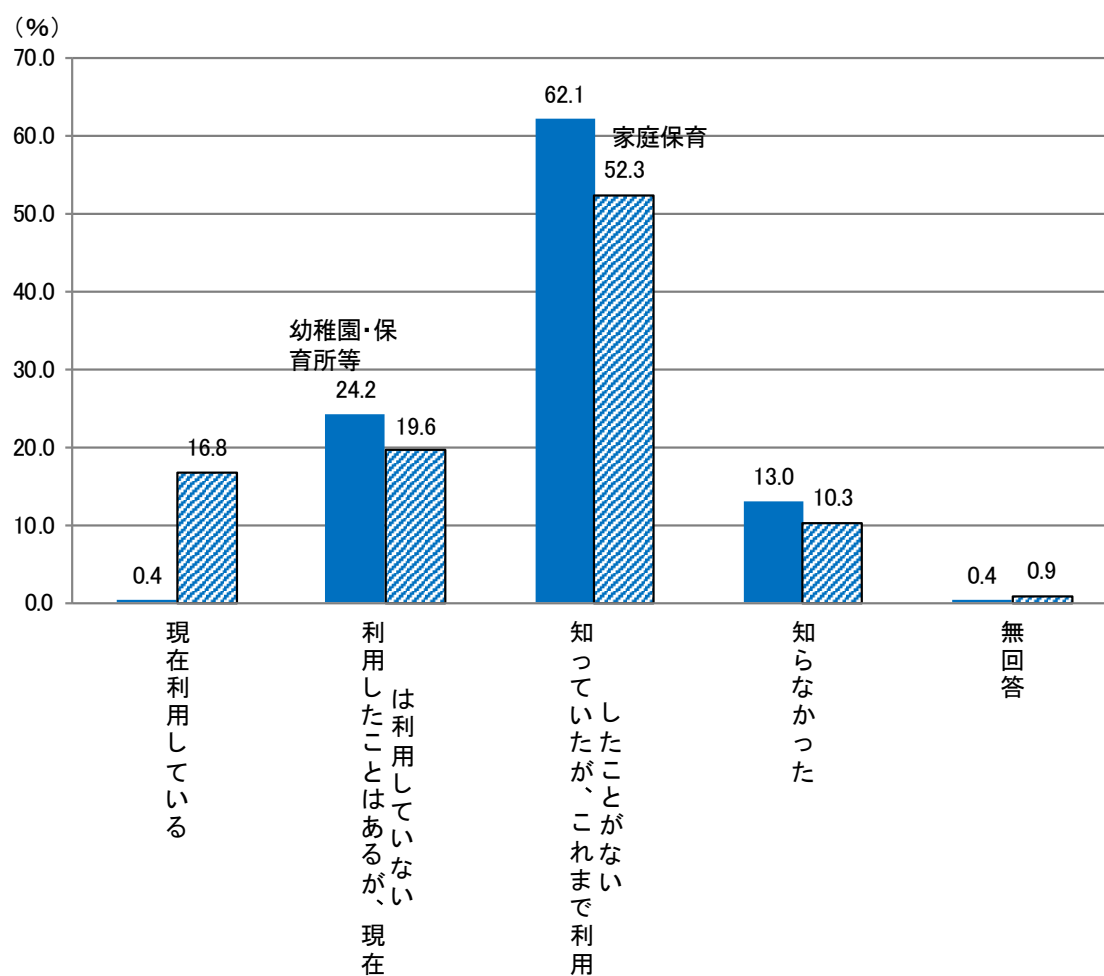


注) 就学児 n=141

～地域子育て支援拠点～

「ぷくぷくクラブ」は、家庭保育をしている人の中で「現在利用している」が16.8%です。「知らなかった」というのも10.3%ほどありました。「幼稚園・保育所」を利用している人は13.0%が知らなかったとしており、広報・告知活動を強化していく必要があると考えられます。

図 2-16 ぷくぷくクラブの利用状況（単回答）

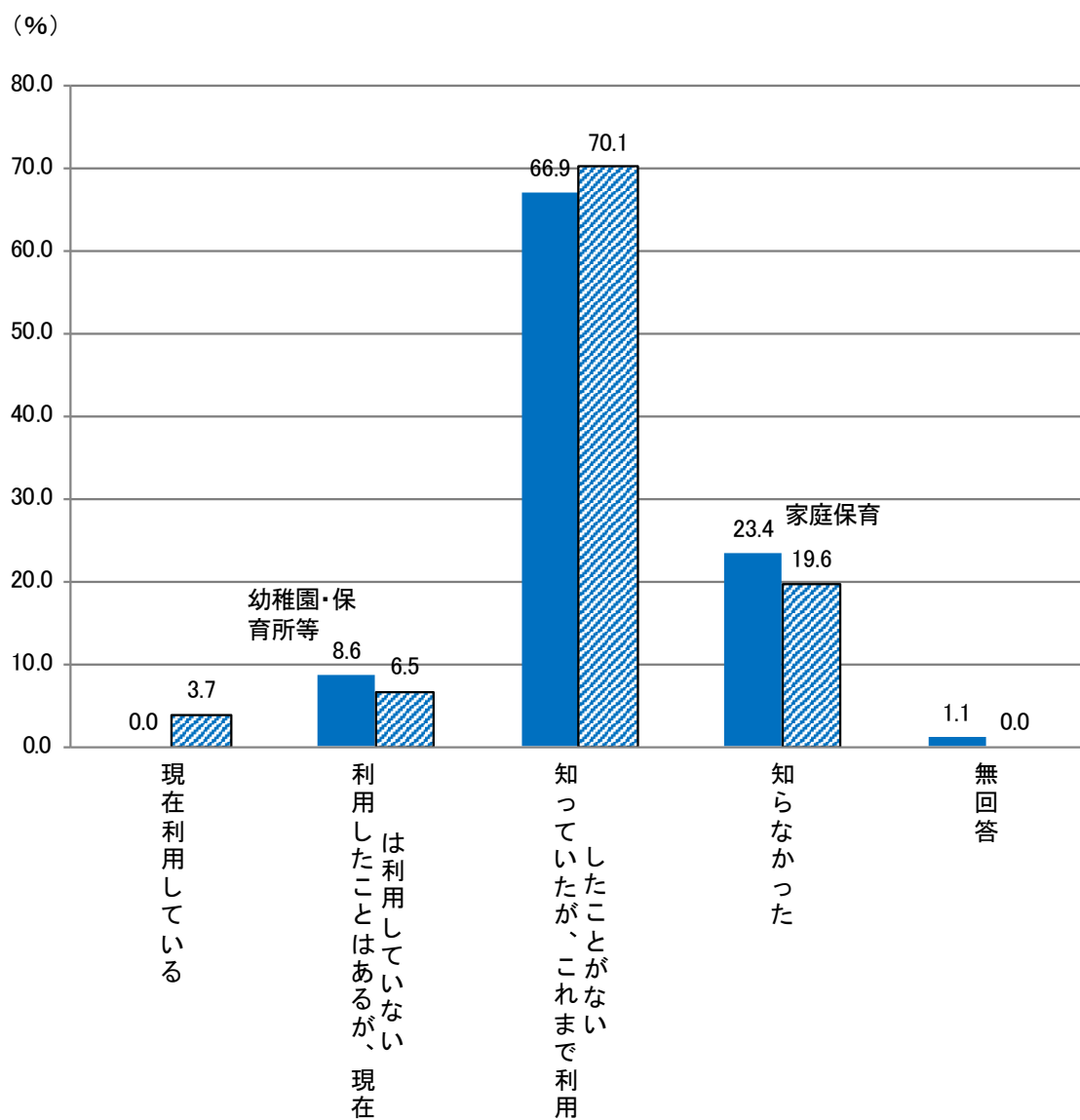


注) 幼稚園・保育所等 n=269、家庭保育 n=107

～乳幼児一時預かり事業「ありす」～

「ありす」については、ぷくぷくクラブと同様に家庭保育で「知らなかった」が19.6%あり、まだまだ子育て世代に、十分に浸透していないことが考えられます。

図 2-17 ありすの利用状況（単回答）



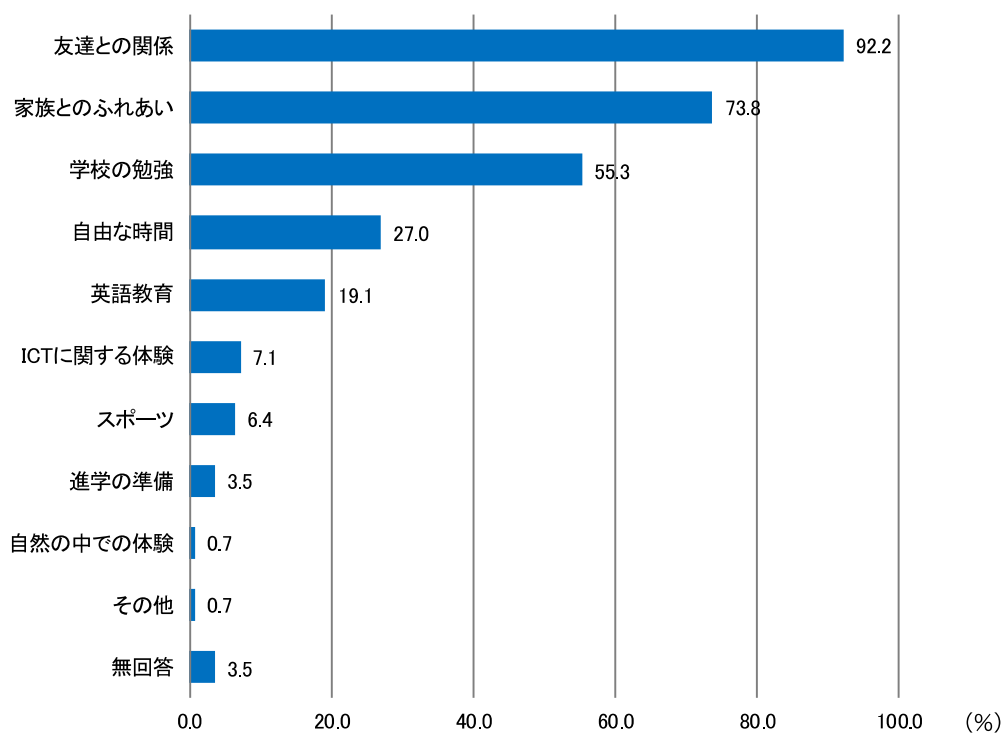
注) 幼稚園・保育所等 n=269、家庭保育 n=107

5) 子どもの成長

～「友達」「家族」との関係が大事～

子どもの成長に大事なことを聞いたところ、「友達との関係」(92.2%)、「家族とのふれあい」(73.8%)が多く、また「学校の勉強」(55.3%)も比較的多い結果でした。

図 2-18 子どもの成長に大事なこと(3つまで選択可)(就学児)



注) 就学児 n=141

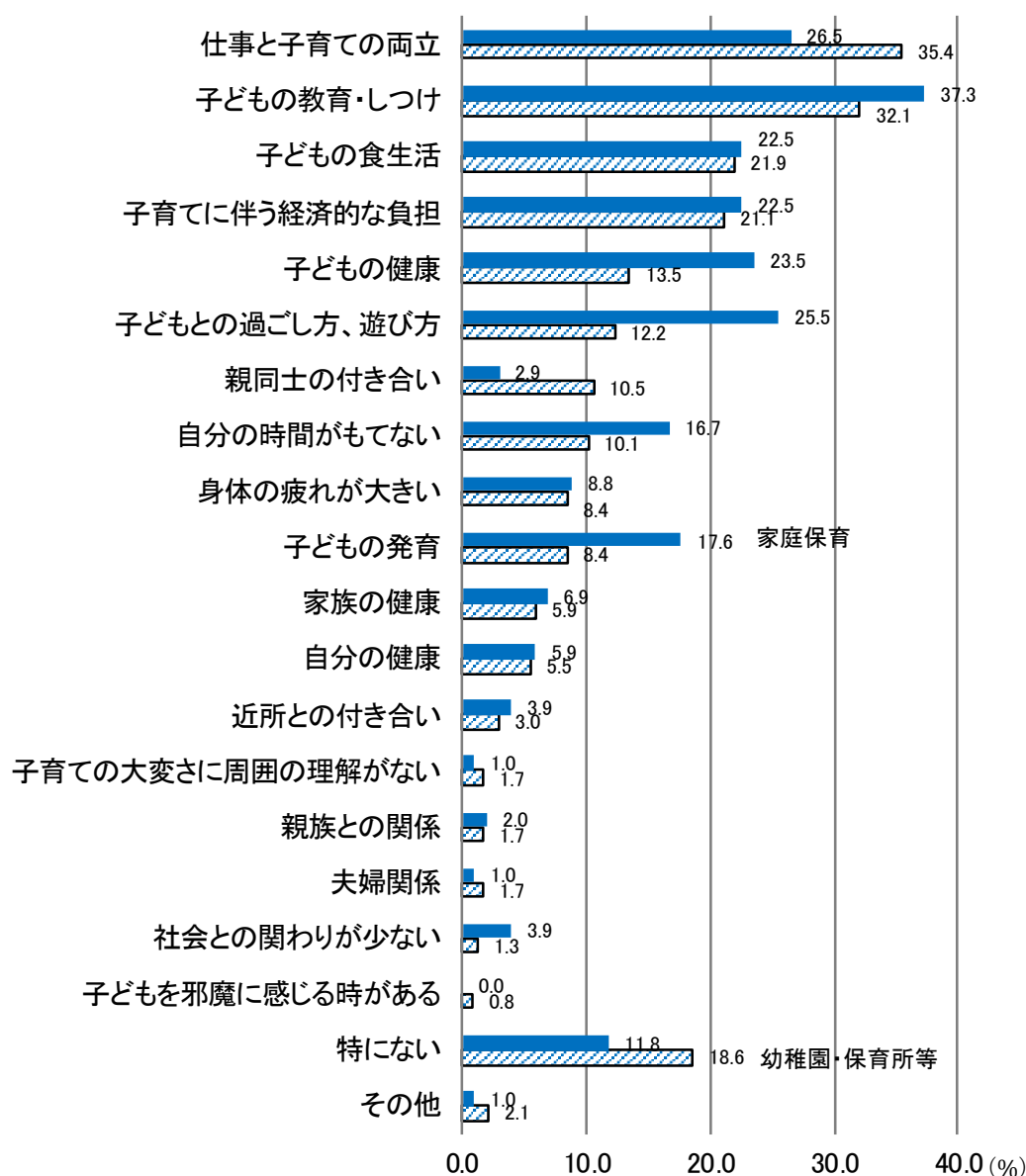
～子育ての悩み～

幼稚園・保育所等利用者の悩みは「仕事と子育ての両立」(35.4%)が一番多くなっています。次に「子どもの教育・しつけ」(32.1%)、「子どもの食生活」(21.9%)でした。

家庭保育での悩みは「子どもの教育・しつけ」(37.3%)が一番多く、次に「仕事と子育ての両立」(26.5%)、「子どもとの過ごし方・遊び方」(25.5%)でした。

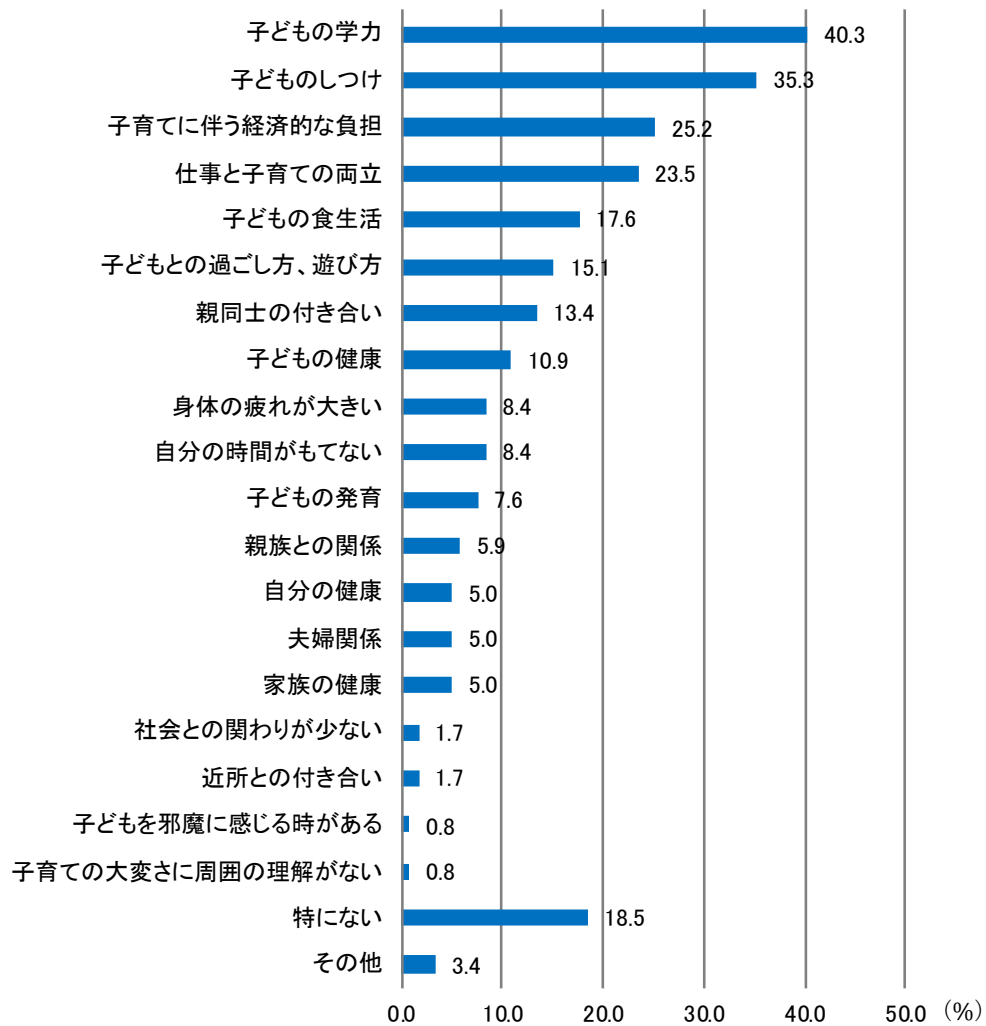
就学児童については、「子どもの学力」(40.3%)が一番多く、次に「子どものしつけ」(35.3%)、「子育てに伴う経済的な負担」(25.2%)でした。

図 2-19 子育ての悩み(3 つまで選択可) (未就学児)



注) 幼稚園・保育所等 n=237、家庭保育 n=102 (除く無回答)

図 2-20 子育ての悩み(3 つまで選択可) (就学児)

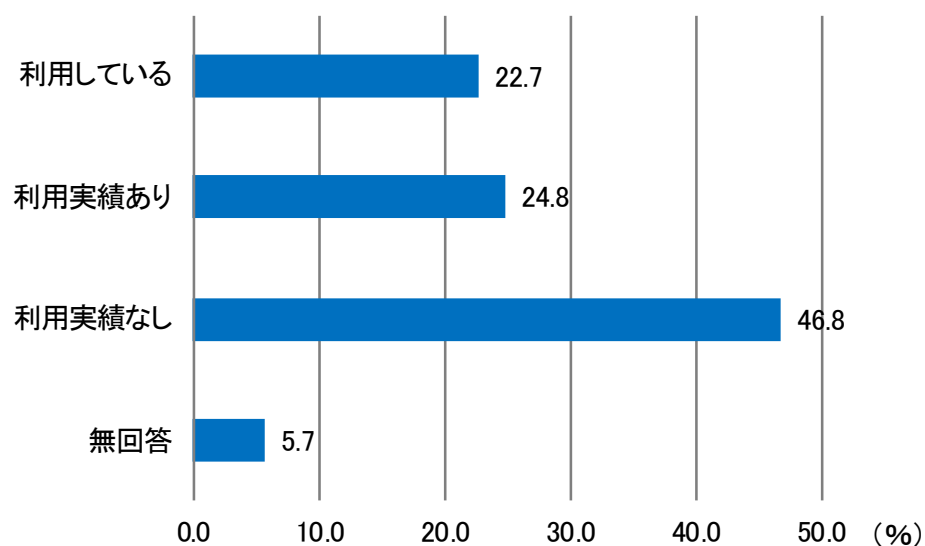


注) 就学児 n=119 (除く無回答)

6) 放課後の過ごし方(就学児)

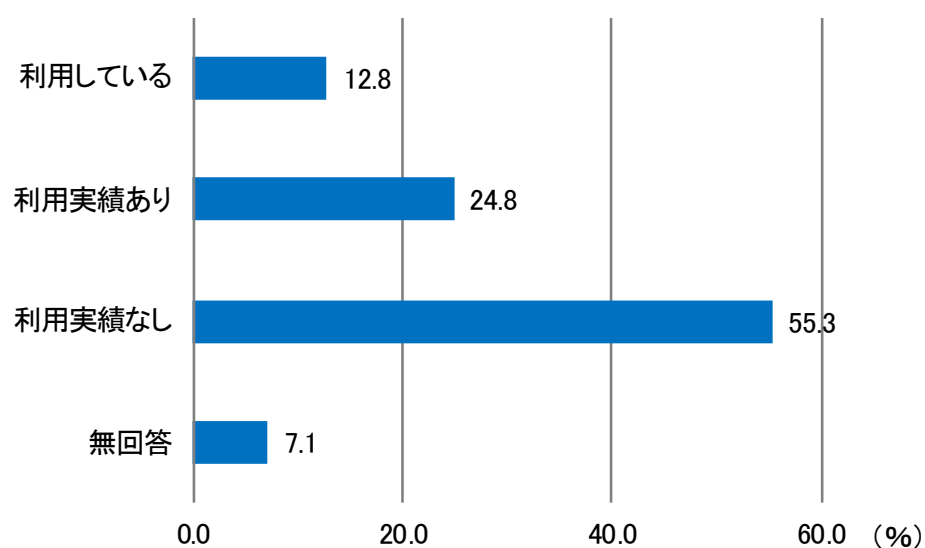
平日学童保育を「利用している」は22.7%、「利用実績あり」も24.8%あり、半数程度が利用中または実績があります。土曜日の利用者数は平日よりも若干少ないですが、夏休みの利用者数は多くなっています。

図 2-21 【平日】 学童保育の利用実績



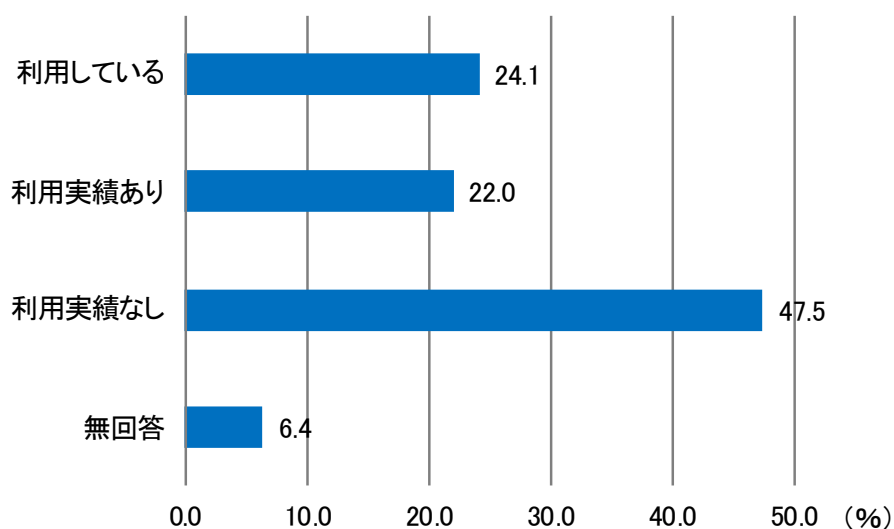
注) 就学児 n=141

図 2-22 【土曜日】 学童保育の利用実績



注) 就学児 n=141

図 2-23 【夏休み】 学童保育の利用実績

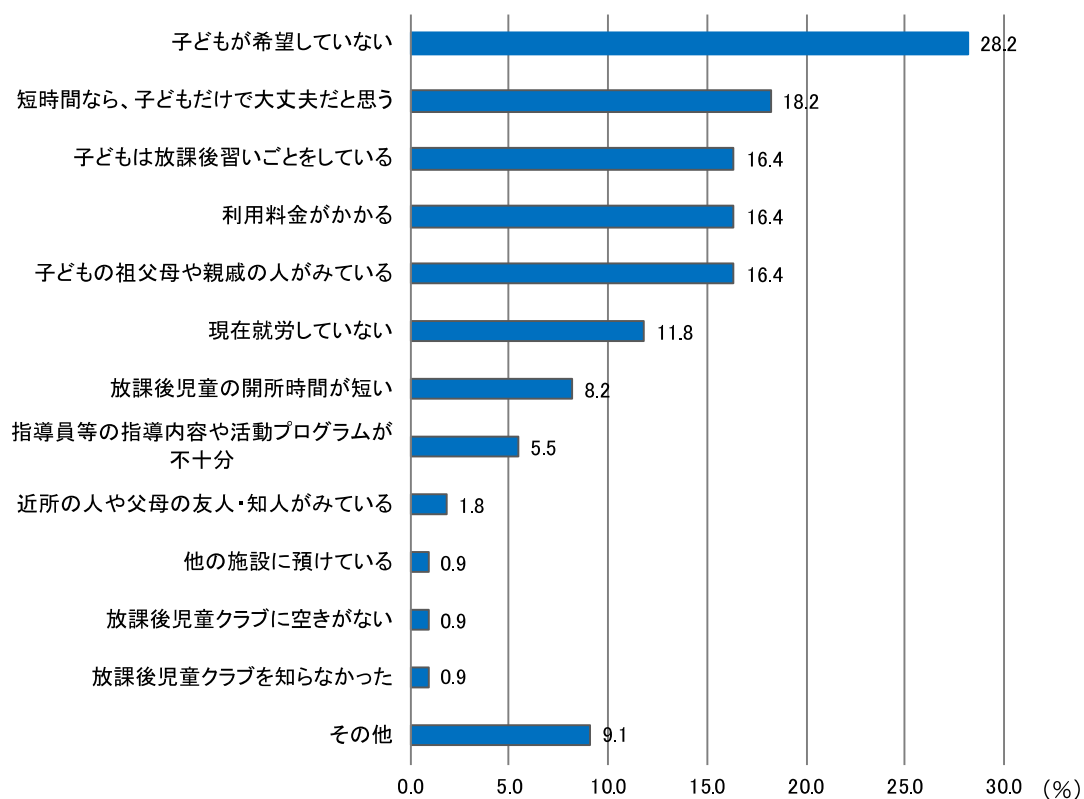


注) 就学児 n=141

～学童保育を利用しない理由～

学童を利用しない理由としては「子どもが希望していないから」(28.2%)が最も多くなっています。

図 2-24 学童を利用しない理由(3 つまで選択可)

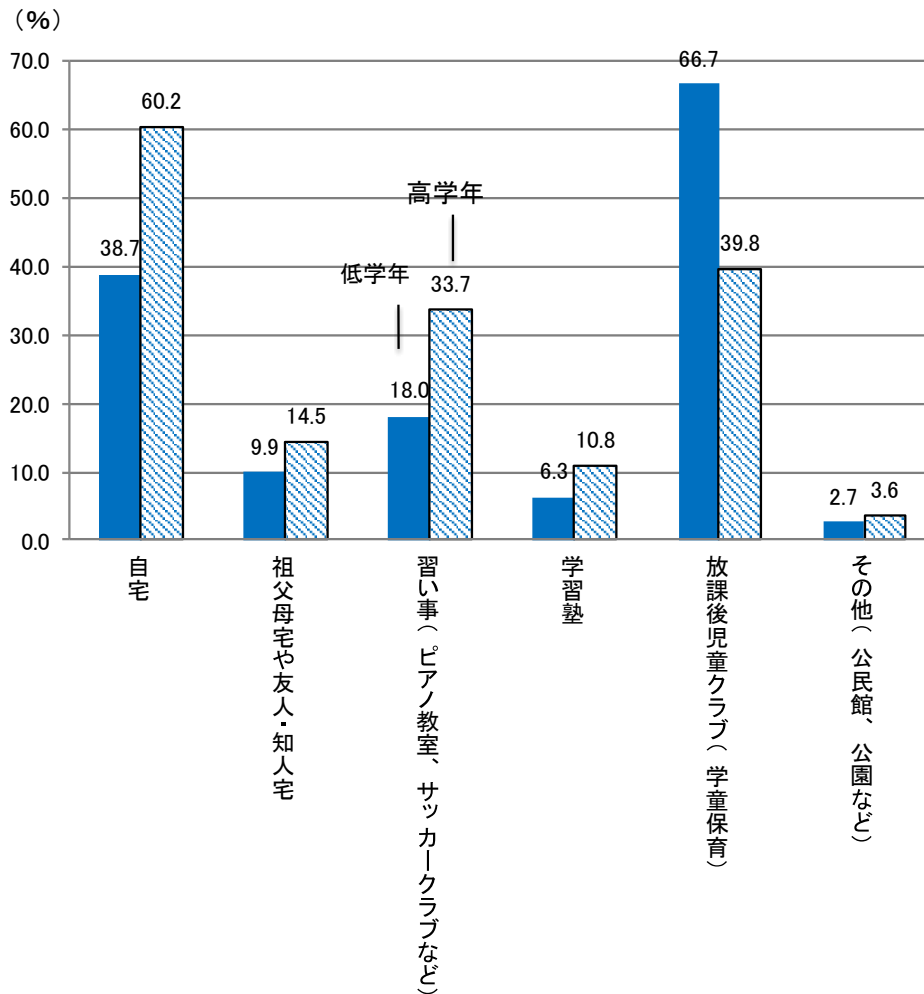


注) 学童を利用していない 就学児童 n=110

～放課後の過ごし方 就学前児童(5歳児)～

来年就学する就学前児童(5歳児)の親に聞いたところ、小学校就学後の放課後の過ごし方としては低学年では学童保育の希望が最も多く、66.7%でした。高学年においても39.8%とほぼ4割を占めています。

図 2-25 子どもの放課後の過ごし方（複数回答）（未就学児）



注) 5歳児・未就学児 低学年希望の回答者 n=111 高学年希望の回答者 n=83

6) 理想の子どもの数

理想とする子どもの数は平均としては未就学児（「幼稚園・保育所等利用」と「家庭保育」を合わせて算出）は2.7人、ほぼ3人です。しかし、実現できない理由は「経済」「年齢」「仕事」の順となっています。

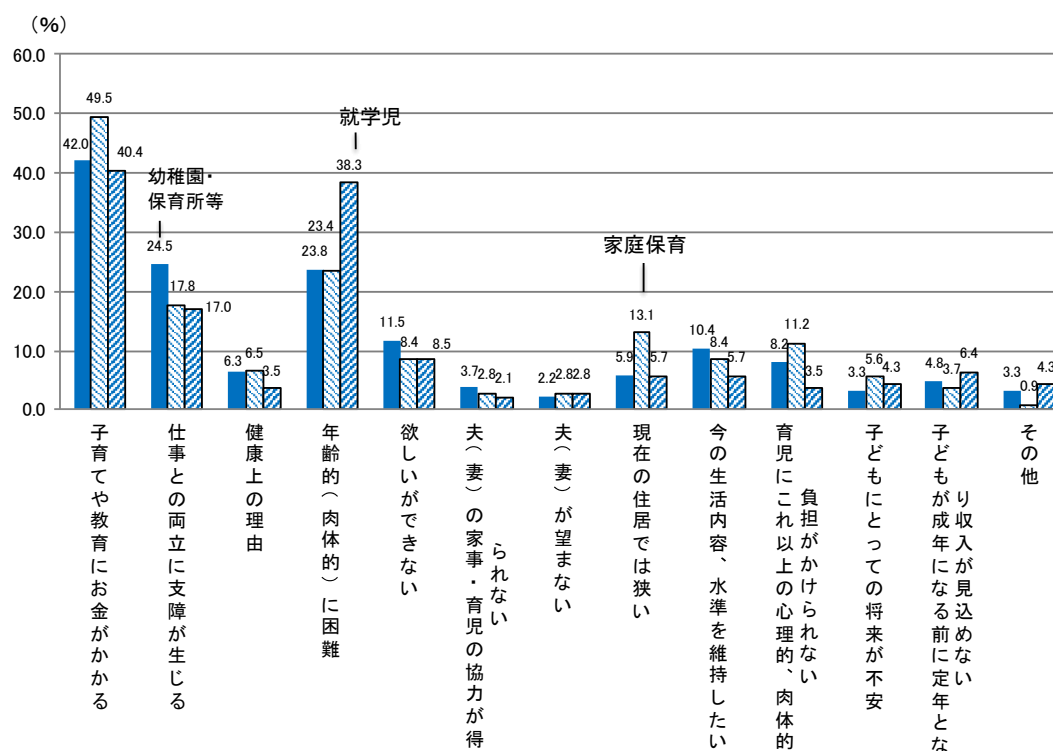
図 2-26 現在の子どもの数(人)と理想の子どもの数(人)

	幼稚園・保育 所等利用	家庭保育	就学児
現在	2.2	2.1	2.1
理想	2.8	2.7	2.1

注) すべての子育て世帯・複数回答 n=517

幼稚園・保育所等 n=269、家庭保育 n=107、就学児 n=141

図 2-27 理想の子どもの数を実現できない理由(3つまで選択可)



注) すべての子育て世帯 n=517

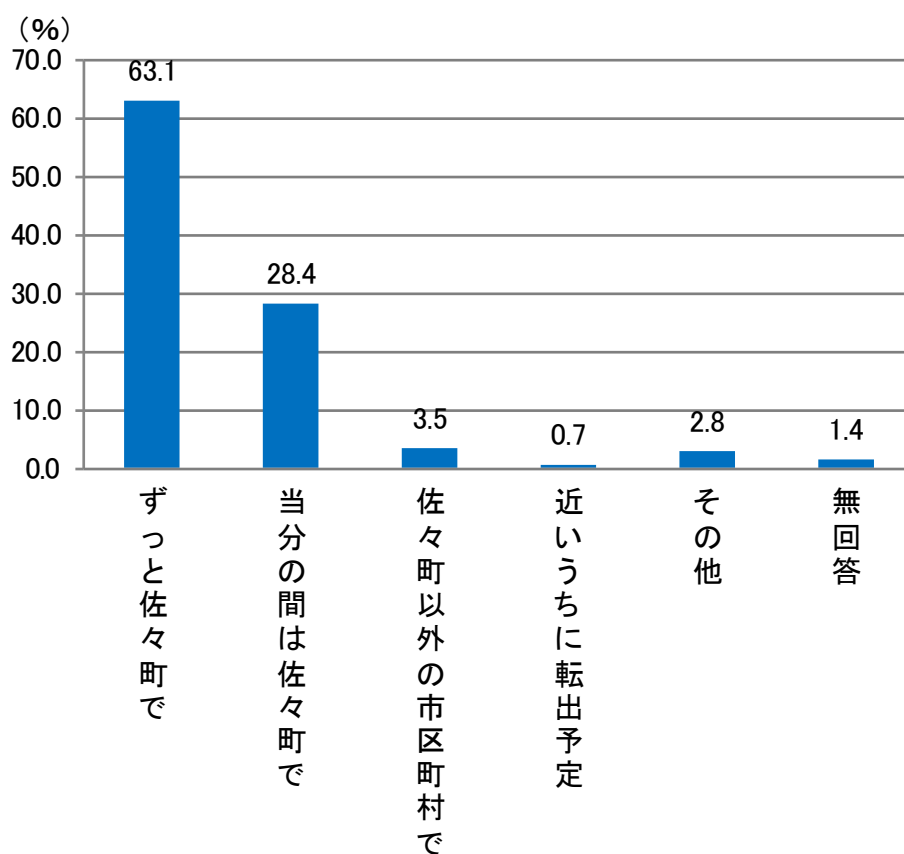
幼稚園・保育所等 n=269、家庭保育 n=107、就学児 n=141

7) 子育て満足度

子育て世代は、今後も「ずっと佐々町で」(63.1%)または「当分の間は佐々町で」(28.4%)、子育てをしたいと考えており、あわせて91.4%、9割以上が佐々町で子育てを望んでいます。

今回の調査(平成31年2月)と前回の調査(平成25年2月)を比較してみると、同じ設問ではないですが、前回は「非常に満足している」「どちらかといえば満足している」に「どちらともえない」を加えても79.1%でしたので、満足度が高まっていることが伺えます。

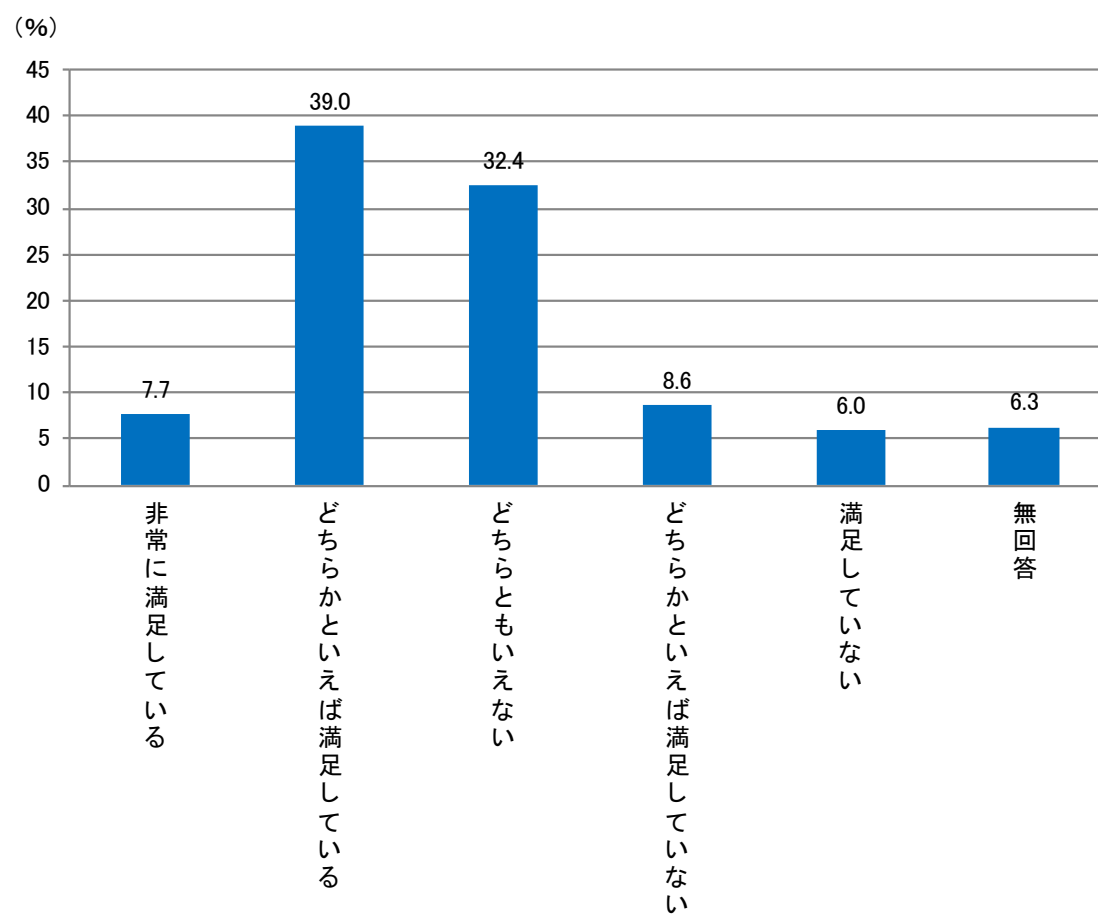
図 2-28 今後の佐々町での子育て意向 (単回答)



注)すべての子育て世帯 n=517

幼稚園・保育所等 n=269、家庭保育 n=107、就学児 n=141

図 2-29 環境や支援への満足度（単回答）（平成 25 年 2 月調査）



注) 就学前児童の保護者 n=336

第3章 基本的な考え方

1. 基本理念

本計画(第2期計画)は、第1期プランに続く計画であり、第1期の考えや到達点を踏まえた上で計画を策定する必要があります。一方で、改正「子ども・子育て支援法」(令和元年5月)の成立による令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化への対応は急務となっており、量の確保と同時に質の向上を進める必要が生じています。さらに共働き世帯の増加、子育てに対する親の考え方も多様化しており、時代の要請に応じた計画が求められます。

佐々町では、子育て世帯の転入が増えており、これは、子ども・子育てに関わるこれまでの施策や住民の皆さんの取り組みが子育て世帯に評価されていることに他なりません。子ども・子育てのアンケートにおいても高い満足度を示しています。これまで築いてきた土台の上に、第2期では「子どもが元気に遊び、学ぶ」、「地域で育てる」というキーワードを踏まえ、時代に即した子ども・子育ての環境を創出する必要があります。

～子どもが元気に遊び学ぶ～

子どもは佐々町の希望であり、宝です。子どもは、多様な個性と能力を持ち、将来の様々な可能性にあふれています。その可能性を十分に開花させるためには、子どもの発達段階に応じた教育・保育の提供と多世代が関わり地域で育てる環境をつくる必要があります。

元気なさざっ子を育てるために町内の保育士、教員などの子どもに関わる人や団体の交流を深め、スキルの向上と同時に互いの幼児・児童の抱える課題や指導観についての共通理解を深めていく必要があります。

また、子どもが元気に遊び・学ぶためには安全・安心な地域である必要があります。全国的には子どもたちが巻き込まれる悲惨な事故や事件が相次ぎ、豪雨災害、地震をはじめ自然災害も多発するようになっています。

町全体で、子どもの安全・安心を守る場所づくりを推進し、子どもが元気に遊び・学ぶ場と機会をつくる必要があります。

～地域で育てる～

子どもの数が減り、共働き世帯が増える中、子どもを育てるのは家族や学校だけではなく、地域や社会全体で育てるという考えに変わってきています。地域は子どもを見守り、子どもは地域の大人たちに元気を与えます。地域で育てるため

には、多世代の人たちが子どもと子育て世帯を温かく見守り、共に支えあう地域づくりが必要であり、特に、多世代が関われるよう、地域の絆を深めていかなければなりません。

子どもの安全・安心は、まずは絶対に子どもを守るという意識を、本気で地域が持てるかどうかです。事故・事件であれ、虐待であれ、解決の根本は子どもを守るという意識です。佐々町では佐々町全体で子どもを守る意識の醸成を図っていきます。

子育てに悩む世帯は多く、気軽に相談できる雰囲気と体制を作り、フォローしていきます。そのために専門的な知識を有する人材を養成し、子どもに関わる人と団体のネットワークを強化します。相談の入り口として、または出口として最善の解決策を提示できるように各機関との情報交換、連携を強化します。

佐々町は、コンパクトな町であり、一人ひとりの子どもに目が行き届きやすい良さがあります。子どもの成長の場は、学校だけではありません。子どもたちが地域の中で学ぶことは多く、子どもたちが地域との触れ合いを通して、成長する環境を整えていきます。

第4章 基本計画

1. 子どもが遊び学ぶための場と機会づくり

子どもを安心して産み育てることができるまち、子育てに喜びを感じることができる環境は、子育て世代のみならず、地域社会で創っていくものです。佐々町の子どもたちが元気に遊び、学ぶ、よりよい環境を整備していきます。

佐々町には豊かな自然があります。自然の中で子どもたちが大声を出して元気に過ごすことができる場と機会を創ることが必要です。幼児の時から自然との触れ合いの場や機会を創ることによって、子どものみずみずしい感受性や五官(*)を刺激し、子どもの感性や豊かな人間性を育みます。

*五官(目(視覚)・耳(聴覚)・舌(味覚)・鼻(嗅覚きゆうかく)・皮膚(触覚))は五感を生ずる五つの感覚器官のことで、ここでは実際に見たり、聞いたり、味わったり実体験が重要という意味で、五官を使っています。

(1) 遊び場・学び場

佐々町には、皿山公園や千本公園をはじめ大小の公園が整備され、町民の憩いの場として活用されています。しかし、子どもの遊び場には実情に合わないルールが多いとの指摘もあり、現状にあったルールや使用方法を検討します。

1) 子どもが元気に学び遊べる場や機会の提供

子どもが元気に遊べる場として、町の施設の有効活用や機能の見直しを図ることで、各年齢に応じた遊びの環境を創出します。また、合わせて民間の場所や施設の活用についても検討します。

(施策の展開)

- 民間の施設や場所においても子どもが元気に遊べる場の検討
- 親子を含む多世代の交流の場として、地域の集会所における多様な機会の検討

2) スポーツによるまちづくりの推進

スポーツは子どもの心と身体の発達を促し、仲間や指導者、対戦相手との交流を通じて、豊かな心と他人に対する思いやりの心を育み、多様な価値観を得る機会に繋がります。子どもが十分に体を動かし、スポーツの楽しさを実感することができる環境をつくっていきます。

スポーツの指導者は子どもたちの心身の成長に深く関わる重要な責務を負っています。そのため指導者はスポーツ文化を理解し、技術と体力に加え、プレイヤー同士の尊敬や持続する意志などを育むように子どもたちをサポートしなければなりません。スポーツの指導者は、常に新しい情報や理論を学ぶことが求められます。

(施策の展開)

- 子どもがスポーツに親しむ習慣と意欲を養うためのスポーツ少年団活動やスポーツイベントの充実
- スポーツ指導者の育成・確保

3) 町の施設の利用状況などの情報発信の強化

子育て世代の意見・要望として、活用できる施設の情報を発信してほしいという意見もあり、今後は有効活用を図るために施設などの予約や稼働状況の見える化を推進します。

(施策の展開)

- 施設の稼働状況の見える化のための方策の検討
- ホームページ等の活用の促進

4) 図書館機能の充実

図書館は子どもたちが世界や歴史を知り、成長する上で重要な施設です。子どもたちが本の素晴らしさや楽しさを知ることで、子どもは多くのことを学び、思考力や創造力を高めることができます。読書の習慣を身に着けさせるために、学校、家庭、地域、町での取り組みを推進します(*)。

佐々町立図書館は子育て世帯が集まり、多様なイベントの実施をはじめ、ボランティア団体による読み聞かせも行われるなど満足度の高い施設です。一方で図書館の利用者数は、全国的な傾向でもあります、徐々に減少傾向にあります。

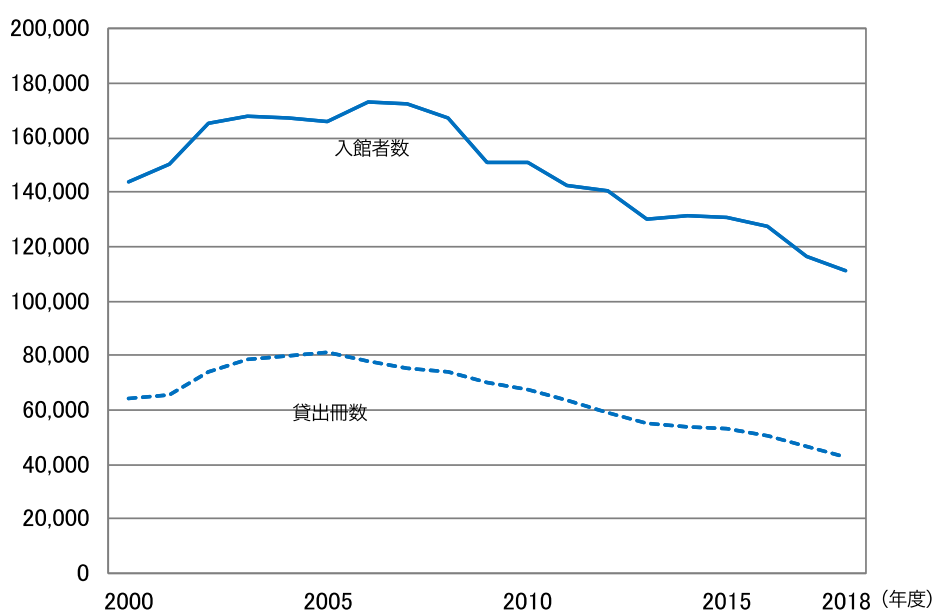
全国では図書館を地域活性化に役立てるために、地域の実情にあった新しいコンセプトによる図書館を創る動きがみられます。ボランティアを含めた町民、子どものニーズを把握し、今の時代にあう図書館と図書館の運営を目指します。

(施策の展開)

- 子どもの読書習慣の定着化を図るイベントの推進
- 文化の発信・交流拠点として、子どもを含む多くの人が集う場と機会の創出
- 図書館の機能向上について、関係機関、ボランティア団体、専門家、町民を交えた検討

*子どもの読書活動の推進に関する法律 第2条 子ども(おおむね18歳以下の者をいう。以下同じ。)の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

図書館の利用者数と貸出冊数



5) 科学に触れる機会の充実

科学から生まれる好奇心は、科学の粋を超えて子どもの学びへの意欲をかきたてます。科学は日々進歩しており、いつも正しい答えがあるわけではありません。それでも「なぜ」「どうして」という疑問を発し、解決に向けて挑戦することは、思考力を高め、自立的に学ぶことにつながっていきます。

また、将来、子どもたちは必ず科学技術や情報に囲まれながら仕事をし、生活することになります。子どものころから理科・科学に親しみ、科学的リテラシー(*)を備えることは、よりよき社会をつくる上で重要です。佐々町では子どもたちの多様な興味に対応するために科学に触れる機会を充実します。

*科学的リテラシーとは、「自然界及び人間の活動によって起こる自然界の変化について理解し、意思決定するために、科学的知識を使用し、課題を明確にし、証拠に基づく結論を導き出す能力」である。(文部科学省の PISA 調査(科学的リテラシー)及び TIMSS 調査(理科)の結果分析と改善の方向(要旨)から)

(施策の展開)

- 最新の科学に触れる機会の拡大
- 子どもたちに語ることのできる科学者や技術者とのネットワークの強化

6) 芸術に触れる機会の確保

芸術は子どもの五感を通して、多様な能力を引き出すと考えられています。絵を描く、音を奏でるなどの家や学校での活動だけでなく、芸術に触れる機会を増やしていきます。

(施策の展開)

- 公共施設での展示やイベントを通じた子どもの芸術鑑賞活動の強化
- 芸術作品発表の場の充実

(現在、実施中の主な関連事業)

事業名	事業概要等
佐々っ子土曜学習プログラム	各種技能等を持つ地域住民を講師として、土曜日等に体系的・継続的な学習活動を推進する目的で実施。佐々っ子スポーツ塾、さざ自然・生物学習教室、よっといでお話の世界へ など。
千本公園プール開放	夏休み期間、千本公園のプールを開放。
わかあゆ少年駅伝競走大会	スポーツの進展と 21 世紀に活躍する青少年の健全育成を願い佐々町スポーツの隆盛に貢献された故山田謙三先生が創設された駅伝大会。その崇高な願いの達成を図ることを目的として実施。
サマーキャンプ(小学生対象)	子どもたちの手で自治的活動を行い、自主性・主体性を育むことを目的として実施。

ゲストティーチャー招請事業	学校以外の様々な分野の方々を招請し、学力向上や学習支援に取り組む事業。
佐々町少年スポーツ大会	スポーツを通じ、少年の健全育成と体力増進を目的として、佐々町スポーツ少年団に加盟している他の競技部との相互交流促進事業。(佐々町スポーツ少年団主催)
佐々青少年音楽祭	小中学校児童生徒及び県立清峰高校による音楽発表会。
子ども科学体験講座	子どもたちに科学のおもしろさを体験する機会を確保する事業。
長崎県青少年劇場	青少年を対象に、音楽・演劇・古典芸能など優れた舞台芸術を鑑賞する機会を確保する事業。
としょかんこどもまつり	子どもの日のイベントとして、読み聞かせや工作ひろば・伝承遊びなど子どもたちが楽しめるような催しを開催。
としょかん夏まつり	絵本の読み聞かせ、伝承遊び、工作ひろば、夏休み課題図書特設コーナー設置などの事業を実施。
としょかん文化まつり	文化の日(11/3)に、読書の秋・文化の秋・芸術の秋に寄せて、絵本の読み聞かせなどの事業を実施。



7) 地域を学ぶ機会づくり

まちづくりは、まずその地域の歴史と文化を知ることから始まります。子どもが町の歴史、脈々と繋がる風習、食文化を学び、触れることで自分たちの育った場所に自信と誇りをもつことになります。

佐々町には豊かな自然があります。自然との触れ合いの場や機会を創ることによって、子どもの感性や豊かな人間性を育みます。自然を学ぶことは子どもたちの中に美しいもの、未知なもの、神秘的なものに目をみはる感性・感覚を育むことができます。それは子どもたちが生きることへの精神力を保ち続けることに繋がり、佐々町への誇りと愛を育むことに繋がると考えます。

地域の歴史や文化を学ぶための教材が多くある学校や図書館を活用し、更なる学びの機会を確保するため、地域の語り部の活躍を促し、地域の歴史・文化を子どもたちに継承していきます。

また、佐々川のカブトガニを守る会などの佐々町の自然を守る活動や地域文化の伝承活動などを行うボランティア、NPO団体の育成に努めながら、そうした団体の協力による親子で学ぶ機会をつくっていきます。

(施策の展開)

- 佐々町の地域に残る伝統・文化の子どもたちへの継承
- 佐々町の歴史や文化、自然環境(佐々川)を学ぶ機会の創出

2. 子どもを守る

佐々町では重大な事件や事故は発生していないものの、不審者情報などもあって、町民が不安を感じています。さらに佐々町では交通量が増えたことで通学路、保育所の送迎場所などでは格段の注意が必要となっています。いい遊び場や遊具が整備されても、安全・安心な場所でない子どもたちが伸び伸びと遊ぶことはできません。

佐々町では佐々っ子応援団がつくられ、家庭・学校・地域住民の三者が連携して、さざっ子の育ちを応援しています。この地域の良さを発揮するための体制や取組を強化します。

防災においては、近年の災害の課題や教訓を踏まえ、地域の特性や実状にあった予防対策、応急対策、避難訓練等が必要です。子どもの時から防災意識を醸成し、自分と地域を守る意識を育てます。

(1) 地域との連携で子どもを守る

子どもたちの安全確保と事故防止のために、地域での連携を強化します。

(施策の展開)

- 地域ぐるみで防災・防犯訓練の実施
- 児童公園や自然環境、道路などの子どもが立ち寄る場所、通学する場所または設置されている設備の点検
- 公園においては大人が見えない死角、水辺に注意し、安全が保たれるような改善の推進
- 学校・保育所・認定こども園の通学路での地域と連携した安全活動の強化
- 地域が主体的に実施する交通安全教育・啓発などの交通安全活動の推進
- 子どもが自分の身の安全を確保する能力や態度を身に付けるための防災学習活動や体験活動の実施
- 防災における町内会はじめ各組織・団体での計画、マニュアルづくりの推進
- 有害サイトなどから子どもを守るため、子どもに関わる大人も含め、インターネットを適切に活用する能力育成のための方策の推進

(2) 情報伝達のスピードアップと伝わる範囲の拡大

防災・防犯においては正確な情報と必要な人への的確な伝達が必要です。子どもに関わる保育所・認定こども園、学童保育、保護者、見守る住民への緊急時の連絡体制の整備が求められます。

(施策の展開)

- 各機関の連携による情報収集、発信体制の徹底と伝達のスピードアップ
- 子どもに関連する事件や事故が発生した時にメールやSNSなどで多くの人に連絡がいく仕組みづくりの検討
- 町内での子どもを見守る活動の一環として、町内放送の活用を検討

(現在、実施中の主な関連事業)

事業名	事業概要等
佐々子応援団	家庭・学校・地域住民の三者が連携して、さざっ子の育ちを応援する組織。登校時の立哨などによる地域見守り活動を実施。
青少年健全育成会活動	学校・地域・家庭の代表者により構成する会。広報誌(さざんか)発行、夜間パトロール、有害図書類回収(白ポスト)、少年の主張大会運営など。

3. 地域で育てる

少子化の進展や共働き世帯が増える中、地域で見守り、地域で育てることがますます重要になっています。

佐々町では、親と子どもが学校行事や地域の祭りを通して、地域で親同士、子ども同士の繋がりをつくっていきます。現在、佐々町以外で育った両親が佐々町に移住し、子育てをする機会も増えています。子ども・子育てに関する取り組みを通して、町内会活動・子ども会への参画を促していきます。

(1) 子育て情報の発信

子ども・子育てのアンケートでは、「(町の行事)知っていたら、参加したかった」「高学年の子どもに関する情報が少ない」との意見もありました。子育て世代は地域の多様な情報を欲しており、各世代に応じたバランスのとれた子ども・子育て情報の収集と発信に努めます。

(施策の展開)

- 子ども・子育て情報の収集と発信の充実
- 親同士あるいは世代を超えた地域の人たちとの交流を通して、子どもに関わる知識や経験が受け継がれる営みの再生



(2) 多世代の交流

地域の高齢者、子育て世代が一緒になって子どもの豊かな体験を生み出し、活動を通して地域の価値に気づくことを目指します。高齢者は子どもから元気をもらい、子どもは高齢者から、ふるまいや知恵を学びます。子どもを含めた多世代の人が共通に興味を持ち、交流できる取り組みを強化します。多世代の人が参加するには、地域の祭り、地域防災訓練、子ども食堂などが考えられます。こうした取り組みは子育て世代が地域活動に参加するきっかけにもなります。

(施策の展開)

- 地域の祭りやイベントでの多世代交流の促進
- 地域の人が集まり、多世代が交流する場所である集会所を活用し、昔あそび、将棋など子どもも参加できる行事の実施

(3) キャリア教育の推進

子どもの成長には、一人ひとりの夢を大切にしながら社会人・職業人として自立していくために勤労感や職業観を育むことが大切です。小学校における農業体験や職場見学、中学校における職場体験等、地域の方々の協力のもと発達段階に即したキャリア教育を推進します。また、教育活動で地域の方々と触れ合うことは「生き方」を知ること、佐々町を知ることにつながる大切な機会です。

(施策の展開)

- 子どもたちの発達の段階にふさわしいキャリア教育の推進・充実
- 町全体でのキャリア教育への協力

(4) 子どもに関わる機関と地域の連携

町と地域、保育所・認定子ども園、小学校が一体となって、佐々町の子ども・子育てを支援します。

子どもは保育所・幼稚園から小学校教育へと進む時に新しい環境に適応できないなどの問題を引き起こすことがあります。そうした問題を解決するために、保幼小のさらなる連携、佐々町内にある保育所・認定こども園が連携した交流活動の強化に努めます。

また、今の子どもたちは将来の母親・父親でもあります小学生・中学生・高校生のころから子どもの可愛さや愛らしさを感じる機会をつくっていきます。

1) 子ども・子育てに関連する団体・機関の連携

子ども・子育てに関連する団体・機関は、佐々町の子どもや子育て中の親が直面している現状や課題に対して共通の認識を持つ必要があります。また日々、子どもたちに接している教員や保育士まで、その認識が浸透するための連携が必要です。

(施策の展開)

- 子どもたちの次の段階への円滑な接続のために町内の保育所・認定子ども園を利用する子どもたちの交流の推進
- 保育所・認定こども園と小学校の間で行われる連携・接続に関する様々な取り組みの実施
- 保幼小の保育士や教員との交流や意見交換の強化
- ぷくぷくクラブや保育所・認定こども園の協力を得ながら、小学生・中学生・高校生と赤ちゃんや小さい子どもとの触れ合いの実施

2) 教育・保育の質について研修・議論の取組み

保育所・認定こども園では英会話や体操教室などが実施されるなど、多様な保育・教育が実施されています。求められる保育の内容が多様化する中で、保育士・教員は「教育・保育の質」をどう高めていくのかといった共通の課題を抱えています。佐々町全体の保育の質をどう高めていくかについて検討します。

(施策の展開)

- 佐々町を愛する元気な子どもを育成するために、行政と保育所・認定こども園、保護者の協力のもと保育の質についての議論の推進
- 子どもにとってより豊かな経験を保証する教育・保育の環境と保育士の専門性を一層高められるように、研修事業の実施



3) 公立保育所の役割の検討

佐々町には現在3つの保育所と1つの認定こども園があり、それぞれが特徴ある保育や教育を実践しています。そのうち公立は1か所のみとなっています。全国的に公立保育所が減少する中、あらためて公立保育所の存在意義が問われています。その理由として、一つは民間では対応が難しい配慮すべき子どもが増加していること、二つは公立が子ども・子育ての政策・施策を実施し、他の園をリードする役割や永続的な運営を考えた時の拠り所としての側面があるからです。

民営化にあたっては今後も引き続き、民営化のメリット、デメリットをしっかりと検証し、今後の方向性を検討します。

(施策の展開)

○これまで民営化した保育所の成果や課題などの検討

○配慮すべき子ども・家庭への対応等、公立保育所の役割について、あり方の検討

4. 子育て支援体制の充実

出産や子育てに対する不安、悩みのない親はいません。妊娠初期から子育て期において、それぞれの段階に対応した支援が必要です。

子どもの貧困という視点においては、厚生労働省が実施する「国民生活基礎調査」によると、日本ではおおよそ7人に1人の子どもが「相対的な貧困」の状態にあると言われています。佐々町においても、本計画に係るアンケートの結果から、子育てに関する悩みの一つとして約2割の方が経済的な負担をあげられており、支援体制の充実が求められます。

また、障がいのある子どもを養育する家庭を支援するための障がい児施策の充実やひとり親家庭の自立支援の推進、更には、児童虐待防止対策の充実など、専門的な知識・体制などを要する支援策の充実は引き続き行っていく必要があります。

本町においては、妊娠・出産期からの切れ目のない支援を行うことによって、子どもを安心して産み育てるための環境をつくっていきます。

子ども・子育て世帯が直面する課題に対応するためには、行政の取り組みはもちろんですが、見守る人、相談できる人が身近にいる地域社会をつくるのが大切です。

(1) 子育ての相談窓口の設置

子育てについて悩みを持つ親が孤立しないように気軽に相談できる環境を整備します。

現在、親は悩みの解消をインターネットに頼る傾向があります。忙しい両親にとっては便利な側面はありますが、悩みを声に出して打ち明け、対話することによって解決方法の気付き、ストレスの解消につながることも少なくありません。多様な情報の発信と同時に相談を受ける体制をつくっていきます。

さらに問題を抱えていても、なんらかの理由によって相談に来られない子育て家庭にも配慮しながら、子育て家庭との繋がりをつくっていきます。

(施策の展開)

- 子育て世帯との対話、相談の実施と相談体制充実に向けた、子育て世代包括支援センターの設置
- 子ども・子育てに関連する各組織、団体との連携、専門的な知識を有する人と組織のネットワークの強化
- 児童虐待の発生予防・早期発見・早期対応、アフターケアに至る総合的な支援のため、地域の関係機関、児童相談所等との協力体制の強化

- 障がいのある子どもや発達に遅れのある子どもの早期発見、きめ細やかな指導・養育ができる体制の整備。地域で見守る環境の醸成。
- 高齢者福祉における地域包括支援センターでの経験や成果を生かした子育て世代を含めた多世代での包括支援のあり方の検討

(2) 妊娠期からの継続的な支援

母親が安心して妊娠期を過ごし、出産を迎えることができるよう、母子健康手帳の交付・活用をはじめ、相談や情報交換できる機会の拡充。父親をはじめとした町民への啓発の推進、個別訪問などの母子保健施策の推進などを図ります。

妊娠中に全妊婦の把握を行うことは、その後の支援をスムーズにスタートさせることに繋がります。妊娠届出時の保健師等による妊婦面談は最も適した把握の機会となります。また、医療機関等関係機関との連携により、継続的に妊婦の把握と支援を行うことが求められています。

(施策の展開)

- 妊婦・新生児等のいる世帯への情報発信と訪問強化
- 児童虐待防止対策の充実
- 医療機関との連携
- 各種健診・相談体制の充実
- 発育・発達過程に応じた食生活の知識・技術の習得、食文化の伝承促進を通じた子どもの「こころ」と「からだ」の健やかな成長を目的とした食育の推進

(3) 教育・保育の充実

子ども・子育て支援法の規定に基づき、「教育・保育の量の見込み」及び「確保方策」を設定する単位として、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、教育・保育施設の整備状況等を総合的に勘案して教育・保育提供区域を定めることとされています。本計画においては、前期計画に引き続き、町内を1区域とする教育・保育提供区域を設定します。

教育・保育の量の見込みにあたっては、アンケート調査結果を活用し、父母の就労状況等による家庭類型と利用の意向、推計児童数から国の算定基準を参考にして量を見込み、現状と乖離する部分については、アンケート結果の傾向を尊重しながら、現況に近い見込み量を算出し、その必要量に見合った計画としています。さらに、令和元年10月より実施された幼児教育・保育の無償化に伴う、利用者のニーズと質の確保などを考慮し、提供体制が確保できる計画とします。

① 児童数及び利用の現状(各年4月1日現在)

○児童数

	(人)		
	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)
0歳児	129	154	139
1,2歳児	282	292	310
3-5歳児	471	453	463
計	882	899	912

○利用の現状

	(人)					
	平成29年度 (2017年度)		平成30年度 (2018年度)		平成31年度 (2019年度)	
	1号認定	2,3号認定	1号認定	2,3号認定	1号認定	2,3号認定
0歳児	-	26	-	38	-	32
1,2歳児	-	164	-	192	-	225
3-5歳児	120	284	98	296	116	310
計	120	474	98	526	116	567
内 広域入所	69	58	54	51	64	47
内 広域受入	0	22	2	20	2	19

注) 広域入所・・・佐々町在住の子どもが他市町の教育・保育施設を利用すること
 広域受入・・・他市町の子どもが佐々町内の教育・保育を利用すること

② 量の見込み及び確保方策

量の見込み及び確保方策については、佐々町の子どもたちの利用を見込み、それに見合う確保方策について記載しています。

○児童数推計

	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
0歳児	140	140	140	140	140
1,2歳児	325	305	305	305	305
3-5歳児	465	495	488	496	476
計	930	940	933	941	921

(人)

○量の見込み

	令和2年度 (2020年度)		令和3年度 (2021年度)		令和4年度 (2022年度)		令和5年度 (2023年度)		令和6年度 (2024年度)	
	1号認定	2,3号認定	1号認定	2,3号認定	1号認定	2,3号認定	1号認定	2,3号認定	1号認定	2,3号認定
0歳児	－	32	－	32	－	32	－	32	－	32
1,2歳児	－	275	－	258	－	258	－	258	－	258
3-5歳児	123	309	141	329	144	323	148	329	141	315
計	123	616	141	619	144	613	148	619	141	605
内 町内施設	61	565	75	568	79	562	82	568	78	555
内 広域受入	62	51	66	51	65	51	66	51	63	50

(人)

○確保方策

(人)

		令和2年度 (2020年度)		令和3年度 (2021年度)		令和4年度 (2022年度)		令和5年度 (2023年度)		令和6年度 (2024年度)	
		1号認定	2,3号認定	1号認定	2,3号認定	1号認定	2,3号認定	1号認定	2,3号認定	1号認定	2,3号認定
0歳児	町内施設	－	31	－	31	－	31	－	31	－	31
	他市町の施設	－	1	－	1	－	1	－	1	－	1
1,2歳児	町内施設	－	247	－	231	－	231	－	232	－	232
	他市町の施設	－	28	－	27	－	27	－	26	－	26
3-5歳児	町内施設	61	287	75	306	79	300	82	305	78	292
	他市町の施設	62	22	66	23	65	23	66	24	63	23
計		123	616	141	619	144	613	148	619	141	605

○確保予定定員数

定員数に対しての弾力的な運用と広域入所の利用調整を行いながら必要量を確保していきます。

(人)

		令和2年度 (2020年度)		令和3年度 (2021年度)		令和4年度 (2022年度)		令和5年度 (2023年度)		令和6年度 (2024年度)	
		1号認定	2,3号認定	1号認定	2,3号認定	1号認定	2,3号認定	1号認定	2,3号認定	1号認定	2,3号認定
0歳児		－	48	－	58	－	60	－	60	－	60
1,2歳児		－	162	－	177	－	180	－	180	－	180
3-5歳児		120	236	120	281	120	286	120	286	120	286
計		120	446	120	516	120	526	120	526	120	526

注)

1号認定…満3歳以上の幼児期の教育を希望する就学前の子ども

利用施設) 幼稚園、認定こども園

2号認定…満3歳以上の保育を必要とする就学前の子ども

利用施設) 保育所、認定こども園

3号認定…満3歳未満の保育を必要とする就学前の子ども

利用施設) 保育所、認定こども園

(4) 地域子育て支援拠点事業

地域子育て支援拠点事業は、乳幼児及びその保護者が相互に交流を行う場所で、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の支援を行う事業です。佐々町では「ぷくぷくクラブ」（開設日：火・水・金）を総合福祉センターに開設し、佐々町在住の未就学児で、子育て中の家族の方なら誰でも利用できる体制を整えています。

(施策の展開)

○無償化によって、家庭保育の数の減少が考えられ、ぷくぷくクラブの利用者数もそれにあわせて減少することが考えられますが、より多くの人が気軽に利用できるサービスとするため、ぷくぷくクラブの仕組みやルールについて再検討します。また、町とぷくぷくクラブで広報・告知活動を強化し、利用者数の維持・拡大に努めます。

① 利用実績(年度末現在)

登録者数 (人)

	2016 年度	2017 年度	2018 年度
ぷくぷくクラブ	74	71	79

子どもの利用者数 (年間延べ人数)

	2016 年度	2017 年度	2018 年度
ぷくぷくクラブ	1,920	1,930	1,368

② 量の見込み及び確保方策

子どもの利用者数 (年間延べ人数)

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
量の見込み	1,040	1,040	1,040	1,040	1,040
確保方策	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400

(5) 一時預かり事業

保護者の用事や、短期就労などの際に、昼間一時的に未就学児を預かる事業です。佐々町では、日頃、保育所や認定こども園による保育を受けていない子どもの一時預かり事業と、幼稚園や認定こども園の在園児を対象とした通常の教育時間の前後や長期休業中等に当該幼稚園や認定こども園で保育する幼稚園型一時預かり事業を行っています。

1) 保育所や認定こども園による保育を受けていない子どもの一時預かり事業

佐々町では、総合福祉センターに「ありす」を開設しています。保護者のニーズに沿った一時的な預りによる必要な保育量を確保していきます。

① ありす利用実績

利用者数		(年間延べ人数)	
	2016 年度	2017 年度	2018 年度
利用実績	129	151	148

② 量の見込み及び確保方策

利用者数		(年間延べ人数)			
	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
量の見込み	157	155	155	154	154
確保方策	177	177	177	177	177

2) 幼稚園型一時預かり事業

1号認定（教育認定）により幼稚園や認定こども園を利用されている方による一時預かり保育の 2018 年度の利用者数は、延べ 10,790 人となっています。2020 年度からの利用見込み者数は、2020 年度以降の 1号認定（教育認定）の増加に伴って増えることが考えられ、必要な量を確保していきます。

① 利用実績

利用者数		(年間延べ人数)	
	2016 年度	2017 年度	2018 年度
利用実績	2,476	2,444	10,790

② 量の見込み及び確保方策

利用者数		(年間延べ人数)			
	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
量の見込み	11,071	11,740	11,588	11,835	11,314
確保方策	11,071	11,740	11,588	11,835	11,314

(6) 病児病後児保育の充実

子どもの病気は、働く親たちにとって最大の困り事です。いつでも安心して子どもを預けられる人がそばにいるとは限りません。アンケートでは母親が休んで対応するケースが多くなっています。子育てをする共働き世帯が増える中で、ニーズの拡大が考えられます。

① 利用実績(年度末現在)

利用者数	(年間延べ人数)		
	2016 年度	2017 年度	2018 年度
病児・病後児	98	133	112

② 量の見込み及び確保方策

利用者数	(年間延べ人数)				
	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
量の見込み	210	210	210	210	210
確保方策	300	300	300	300	300

(7) ファミリーサポートセンター事業

地域で子どもの預かり等の支援を受けることを希望する者(依頼会員)と当該支援を行うことを希望する者(提供会員)との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業です。

今後、子育て世代の当該事業に関するニーズを把握しながら、既に事業実績のある近隣市と連携を図り事業の実施について検討します。

(8) 放課後児童健全育成事業（学童保育）の充実

放課後の子どもたちを取り巻く環境は大きく変わってきました。1970 年代、子どもたちは、学校が終わると夕方遅くまで友達と外で遊んでいました。それは、子どもの近くで就労する大人も多く、子どもたちに目をかける地域の大人の繋がりも強かったことがあります。

しかし、佐々町でも都市化が進み、塾通いや習い事も拡大し、電子ゲーム機器の普及により子どもの居場所が室内に変わってきました。さらに共働き世帯が増えていることから、放課後の子どもの生活の保障、安全・安心な居場所を求める親の関心は次第に高まり、学童保育への要望も多様化しています。

学童保育は保護者が就労・病気などで放課後に家庭で保育できない小学 1 年生から小学 6 年生を対象に、町立では小学校に付属して佐々学童保育、口石学童保育として、民間事業者運営を委託し実施しています。また、自主事業として民間事業者による学童保育も町内に存在しています。

学童保育の利用者数は少しずつではありますが、この 3 年間、増加傾向にあります。さらに学童保育に対する親のニーズは多様化しています。放課後は思いっきり遊ばせたいとする保護者もいれば、勉強をさせて欲しいとする親もいます。共働き世帯の増加とともに学童保育への期待は高まっており、量と質の充実を図ります。また、利用者の多様化するニーズに対応するために民営化を含めた学童保育事業についての検討も必要になります。

1) 放課後児童健全育成事業（学童保育）の充実

現在、学童保育はその時々に応じて小学校の図書室や図工室などを活用した運営となっており、決して満足できる学童保育にはなっていません。

(施策の展開)

- 学童保育と小学校と町、保護者で学童保育に関して共通認識を持つための情報交換を促進

2) 学童保育の量の見込み・確保方策

佐々学童保育、口石学童保育で約 240 人が利用していますが、学童保育を民間事業者が自主事業として約 40 人預かっており、実際には約 280 人が学童保育に通っていることとなります。アンケートをもとにした推計では佐々町全体で 310～320 人の利用見込みがあるものと考えられます。

民間事業者による事業の動向と民営化も含め、必要量を確保していくこととします。

① 利用実績（放課後児童健全育成事業（学童保育）利用者数）

（人）

		2017 年度	2018 年度	2019 年度
佐々学童		90	94	93
	低学年	71	74	73
	高学年	19	20	20
口石学童		134	135	144
	低学年	113	109	111
	高学年	21	26	33
合 計		224	229	237

② 量の見込み

（人）

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
低学年	240	235	239	232	247
高学年	76	75	75	76	73
計	316	310	314	308	320

③ 確保方策

（人）

		2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
佐々学童	計画	95	95	95	95	95
	低学年	75	75	75	75	75
	高学年	20	20	20	20	20
口石学童	計画	145	145	145	145	145
	低学年	110	110	110	110	110
	高学年	35	35	35	35	35
計		240	240	240	240	240

参考) 放課後児童健全育成事業(学童保育)の夏休みの利用人数の推移

① 利用実績

(人)

		2017 年度	2018 年度	2019 年度
佐々学童		99	107	107
	低学年	79	83	83
	高学年	20	24	24
口石学童		146	145	158
	低学年	123	113	120
	高学年	23	32	38
合 計		245	252	265

② 量の見込み

(人)

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
低学年	264	259	261	256	270
高学年	96	93	94	95	90
計	360	352	355	351	360

(9) 男女の「仕事と育児の両立」支援の実施

仕事も育児も充実したいと考える両親は増えています。しかし、男性の育児休業取得率は6.16%(平成30年度雇用均等基本調査 速報)にとどまっており、育児休業をはじめとする両立支援制度を利用する男性はまだまだ少数です。

父母ともに育児や子どもとの関わりが深い場合には育児不安は低くなる傾向にあります。従業員の育児に対する企業(職場)側の理解も欠かせません。仕事と育児の充実の考え方を家庭だけでなく、企業にも広げていきます。特に企業においては制度と環境の充実が求められています。育児不安の軽減のためには家庭内あるいは地域の育児を支えるサポートの充実が重要です。

実施したアンケートにおいても、子育てにおける女性の頑張りが顕著に表れています。子育ての喜びと負担を両親が共有できるようにします。

ワーク・ライフ・バランスが実現できるように、仕事と子育ての両立を支える子育て支援サービスの拡充を図ります。

(施策の展開)

- ワーク・ライフ・バランス実現のために、企業における制度整備や職場の意識改革の促進
- 男性も参加しやすい講座や勉強会、料理教室などの推進
- 企業内での勉強会、研修会などの支援
- 父親教室など出産前の初めての父親向けのセミナーや講習会の開催

(現在、実施中の主な関連事業)

事業名	事業概要等
子どもの事故予防啓発事業	乳幼児健診・相談等の場を通じ、誤飲、転落・転倒、やけど等、子どもの事故予防のための啓発事業。
出産準備教育、相談支援事業	母親の視点からみて満足できる「いいお産」のため、妊婦に対する出産準備教育(母親学級)や相談の場を提供する事業。
誕生祝金事業	子育て支援、人口増加策の一環として誕生祝金支給事業。第1子3万円、第2子5万円、第3子以降7万円支給。
不妊治療費助成事業	子どもを望む夫婦の経済的負担の軽減のため、不妊治療費の一部を助成。
食に関する学習機会、情報提供事業	乳幼児期から思春期までの発達段階に応じた食に関する学習の機会や情報提供を実施。
あひる学級	生涯学習講座の一つとして、乳幼児を持つ親のための講座を実施。望ましい親のありかたや仲間づくり等広い視野での子育て学習の支援。年間8回。
放課後児童健全育成事業(学童保育)利用者負担金減免事業	放課後児童健全育成事業(学童保育)の利用者負担金について、ひとり親世帯等に対し利用者負担金の減免を実施。
5歳児健診事業	就学前に、乳幼児健診等で判りづらい支援が必要な子どもをスクリーニングし、早期対策のため、発達を促すための親子療育、臨床心理士による個別相談等を実施。視知覚機能測定検査を実施。
お遊び教室	検診等からスクリーニングされた様々な問題により育児支援が必要と感じられる親子を少人数のグループによる遊びの場を通じて支援する事業。
幼児通級教室	5歳児健診によりコミュニケーション能力や行動面に不安を抱える子どもとその親を対象として、就学移行がスムーズに行えるよう配慮したプログラムを提供する教室。
ペアレント・トレーニング	健診等からスクリーニングされた育児に不安を抱える親に対して助言、指導を行う事業。
歯科保健事業	1歳からの歯科教室や、定期的な歯科検診(2歳、2歳半、3歳)、フッ素塗布(希望者のみ)を実施、また、町内の年中・年長児、小学校全児童及び中学校全生徒を対象にフッ化物洗口を実施。妊婦歯科検診。
要保護、準要保護児童生徒就学援助費支給事業	経済的理由により就学困難な児童生徒に対する教科用図書費、学用品費、給食費等に対する援助を行う事業。
町内小中学校給食費負担軽減事業	町内小中学校に所属する子を持つ保護者の負担軽減のため、給食費に対する助成事業。第1子2割、第2子4割、第3子以降8割を補助。
羽ばたけ若者人材育成奨学金	将来を担う有用な人材の育成・支援を目的として、奨学金を支給。毎年3人、大学入学金相当額30万円/人(返済なし)。
障害者自立支援給付事業 (障害児通所給付・障害児補装具給付)	療育が必要な18歳までの子どもに対し児童発達支援や放課後等デイサービスなどの専門的なサービスを給付する事業。
育成医療	18歳未満の児童で、特定の疾患を持つ方を対象に、身体の障害を軽減し生活能力を得るための医療に係る自己負担額を軽減する事業。

事業名	事業概要等
乳幼児健診	乳幼児期を通した健康診査、保健指導等を実施。必要に応じ育児不安解消のための相談指導を実施。 新生児聴覚検査、乳児健診、1歳半健康診査、3歳時健康診査。
療育専門相談事業	思春期までにおいて発達に支援が必要な方に対する専門的な相談指導を実施。
予防接種事業	B型肝炎、肺炎球菌、四種混合、麻疹風疹混合、水痘、日本脳炎、ヒブ、BCG、子宮頸がん、インフルエンザワクチンの無料若しくは一部負担接種。
福祉医療事業	子育て世帯の負担軽減策を図るため、乳幼児、小・中・高校性、母子・父子家庭の親子に係る医療費の一部を助成。（1日1医療機関800円、1月1医療機関1600円を負担上限とし、それ以上かかった分を助成。）
放課後児童健全育成事業（学童保育）	保護者が就労等で昼間家庭にいない小学校就学児童に対し、放課後、学童保育専用施設等を利用し、生活の場及び適切な遊び場を与え、健全育成を図る事業。（佐々学童保育、口石学童保育：民間委託事業）
放課後学習教室	小学校では地域の退職校長会の方々や地域の方々等による放課後の学習支援（算数）を行う事業。地域の大人とのふれ合い、学力向上の推進を目的とする。

第5章 計画推進のための責務と役割

本計画を着実に推進するためには子ども・子育て支援法で定める責務を果たすだけでなく、町民一人ひとりが、地域全体で子どもと子育て中の世帯への支援の必要性等について深く理解し、自らの問題として主体的に取り組む必要があります。

そのために県や市町はもとより、家庭や地域、保育所・認定こども園、学校、企業がその機能に応じた役割を果たすとともに、相互に連携していくことが求められます。

(1) 行政の役割

近年の子ども子育ての環境は、夫婦共働きの増加などにより、公的な機関における役割は大きくなっています。中でも、発達障害の対応や幼児虐待などの保護者の対応など、専門的な立場での相談支援が求められています。

本町は、子育てしやすいという高い評価を受けており、子育て支援は重要な役割を担うものであることから、この計画に基づくすべての事項を総合的かつ計画的に推進します。また、個々の施策はそれぞれの担当部局が主体的に実施することから、この計画の推進には、さまざまな行政サービスを関係部局が連携することで総合的に展開します。

また、子ども及びその保護者が、必要とするサービスを円滑に利用できるように必要な支援を行うとともに、良質で適切な教育・保育等の子ども・子育て支援が総合的・効率的に提供されるように提供体制の確保に努めます。

今後、多様な事業の推進が求められる中、財政的な制約が強まっていくことも考えられますが、町の将来を担う子どもたちの育成については、子育てしやすい環境を維持するだけでなく、着実に前進させていく必要があります。

(2) 家庭の役割

保護者は、子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識のもと、家庭が子どもの人格形成、基本的生活習慣の確立にとって重要な役割と責任を持っていることを認識することが必要です。この認識に基づき、子どもとのスキンシップを深め、明るい家庭を築くとともに、子どもの発達段階に応じた適切な家庭教育を行うよう努めることが重要です。

また、家庭において女性だけが子育てに大きな負担を負うことがないように、男女が協力して子育てを進めることが重要です。

さらに、町民一人ひとりは地域を構成する一員であるという自覚を持ち、地域における子育て支援活動に参画することが必要です。

(3) 保育・教育機関の役割

保育所・認定こども園、学校、学童保育は、子どもの成長期に生活の大半を過ごす場所になります。これからの地域を創る子どもたちに必要な資質・能力を育

み、年齢に応じた適切な教育と保育を目指して努力することに加え、それぞれの機関がより一層連携・協働していくことが必要です。

(4) 地域社会の役割

子どもは地域社会の中で社会性を身につけて成長していくことから、地域社会は、家庭環境、心身の障がいの有無、国籍等にかかわらず、すべての子どもが地域の人々との交流を通して健全に成長できるようにサポートすることが必要です。

また、子ども及びその保護者が、積極的に地域活動に参加するように促すことが必要です。

(5) 企業・職場の役割

働いているすべての人が、仕事時間と生活時間のバランスがとれるような多彩な働き方を選択できるようにするとともに、職場優先の意識や、固定的な性別役割分担意識等を解消し、働きやすい職場環境をつくることが重要です。

このため、企業・職場が、そのような職場環境をつくるよう努力するとともに、働く人がそのような認識を深めることが大切です。

また、企業における社会貢献の一環として、それぞれの企業が持つノウハウを活かしながら地域活動に参画するように促すことが必要です。

(6) 各種団体の役割

社会全体で子育て中の家庭を支え、子どもの「自ら育もうとする力」を伸ばすためには、行政だけではなく地域社会で活動している多くの団体が、行政や町民と連携し、互いに補いながら子どもの健全な成長を支援することが必要です。

参考資料

1. アンケート調査
2. 先進事例
3. 委員会答申・委員名簿

1. アンケート調査

(1) アンケート調査票

①幼稚園・保育所利用世帯アンケート調査票

②家庭保育世帯アンケート調査票

③就学児童世帯アンケート調査票

(2) アンケート調査結果

(1) アンケート調査票

①幼稚園・保育所利用世帯アンケート調査票

このアンケートは、現在、幼稚園・保育所等を利用しているお子さんをおもちの方にお送りしています。

封筒の宛名のお子さんと ご家族の状況についてうかがいます。

問1. 回答いただく方はどなたですか。(宛名のお子さんからみた関係) (〇はひとつ)

1. 母親 2. 父親 3. 祖父 4. 祖母 5. その他 ()

問2. あなたは現在、どちらにお住まいですか。 (〇はひとつ)

1. 古川 2. 中央通 3. 志方 4. 野寄 5. 栗林 6. 里 7. 新町 8. 里山
9. 木場 10. 牟田原 11. 口石 12. 四ッ井樋 13. 水道 14. 浜迎
15. 土手迎 16. 真申 17. 芳ノ浦 18. 東町 19. 西町 20. 市瀬
21. 鴨川 22. 松瀬 23. 北 24. 神田 25. 角山 26. 江里
27. 大茂 28. 千本 29. 若佐 30. 沖田 31. さざん花 32. 佐々南

問3. 宛名のお子さんについてお答えください。

平成 年 月生まれ きょうだい数 人 番目

問4. 宛名のお子さんの母または父の配偶関係についてお答えください。 (〇はひとつ)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない(母子家庭または父子家庭)
3. その他 ()

問5. 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。 (〇はひとつ)

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母
5. その他 ()

問6. 宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。 (該当するものすべてに〇)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時・用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. 日常的、緊急時 いずれもない

問7. 現在の暮らしの経済状況をどのように感じていますか。 (〇はひとつ)

1. 大変ゆとりがある 2. ややゆとりがある 3. 普通
4. やや苦しい 5. 大変苦しい

すべての方にうかがいます。ご両親の就労状況について
※ひとり親家庭の場合は母親または父親のいずれかのみお答えください。

問 8. 母親・父親それぞれの就労状況をお答えください。 (母親・父親いずれも○はひとつ)

※自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。フルタイムは1週5日程度、1日8時間程度の就労。

就労状況	母親	父親
1. フルタイム (育休・介護休業中でない)		
2. フルタイム (育休・介護休業中である)		
3. パートタイム・アルバイト (育休・介護休業中でない)		
4. パートタイム・アルバイト (育休・介護休業中である)		
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない		
6. これまで就労したことがない		

問 9. 問 8 で「1」～「4」を選んだ方にうかがいます。週あたりどのくらい働きますか。

勤務日数と勤務時間、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をご記入ください。

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

母親	週 日、1日 時間勤務 / 家を出る時刻 時 帰宅時刻 時
父親	週 日、1日 時間勤務 / 家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

問 10. 今後、どのような就労状況を希望されますか。

※フルタイムは1週5日程度、1日8時間程度の就労。

母親 (○はひとつ)	父親 (○はひとつ)
1. 就労しない	1. 就労しない
2. これまで通りの就労	2. これまで通りの就労
3. フルタイムへの転換(見込みあり)	3. フルタイムへの転換(見込みあり)
4. フルタイムへの転換(見込みなし)	4. フルタイムへの転換(見込みなし)
5. パート・アルバイトへの転換	5. パート・アルバイトへの転換
週 日、1日 時間 勤務	週 日、1日 時間 勤務

問 11. いつごろの転換を希望しますか。

母親 (○はひとつ)	父親 (○はひとつ)
1. このままでよい	1. このままでよい
2. すぐにでも就労状況を変えたい。	2. すぐにでも就労状況を変えたい。
3. 1年以内に就労状況を変えたい。	3. 1年以内に就労状況を変えたい。
4. 一番下の子が 歳になるまでに就労状況を変えたい。(おおよそ 年後)	4. 一番下の子が 歳になるまでに就労状況を変えたい。(おおよそ 年後)

問 12. 就労していない方で、就労の希望はあっても、就労していない理由は何ですか。

就労しない理由 (母親・父親いずれも○はひとつ)	母親	父親
1. 子どもが小さい間は、働かずにいたい		
2. 希望する幼稚園・保育所等が利用できない		
3. 子育てしながら働くことのできる適当な仕事がない		
4. 家族の考え方(親族の理解)等就労する環境が整っていない		
5. その他 ()		

幼稚園や保育所等を利用している方にうかがいます。

問 13. 宛名のお子さんが現在利用している施設すべてに○をつけ、その利用日数と利用時間について□にご記入ください。 (該当するものすべてに○)

利用施設	利用日数、利用時間
1. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	週□日、1日□□時間（□□時～□□時）
2. 保育所	週□日、1日□□時間（□□時～□□時）
3. 幼稚園（通常の就園時間の利用）	週□日、1日□□時間（□□時～□□時）
4. 幼稚園の預かり保育（定期的に就園時間を延長して預かる事業）	週□日、1日□□時間（□□時～□□時）
5. その他（ ）	週□日、1日□□時間（□□時～□□時）

問 14. 現在利用している施設を希望としてはどのくらい利用したいですか。

(○はひとつ)

1. 利用時間、時間帯は現在のままでよい
2. 希望としては、週□日、1日□□時間（□□時～□□時）利用したい

問 15. 平日に定期的に幼稚園や保育所等を利用されている主な理由は何ですか。

(○はひとつ)

1. 子どもの教育や発達のため	2. 保護者が現在就労しているため
3. 保護者が求職中であるため	4. 保護者が家族・親族等を介護しているため
5. 保護者に病気や障がいがあるため	
6. その他（ ）	

問 16. 現在、定期的に利用されている幼稚園・保育所等のお名前をお書きください

施設名（ ）

問 17. 現在、定期的に利用されている幼稚園・保育所等の満足度をそれぞれ5段階で評価し、該当する項目に○をご記入ください。

	満足 5	4	普通 3	2	不満 1
1. 施設長・施設の方針					
2. 保育時間					
3. 保護者からの相談に対する対応					
4. 施設の清潔さ					
5. 施設の安全性					
6. 遊具の量と質					
7. 教育(学び)の量と質					
8. 行事の量と質					
9. 保育士の子どもへの接し方					
10. 保育者の数					
11. 保護者への連絡					
12. 総合評価					

問 18. 問 17 において、特に高く評価された項目または、特に低く評価された項目があれば、その理由をご記入下さい。

低く評価した理由	高く評価した理由

すべての方にうかがいます。平日の教育・保育について

問 19. 現在、利用している利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として定期的に利用したいものをお答えください。

(該当するものすべてに○)

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所などの事業を指し、親族・知人による預かりは含みません。

1. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	2. 保育所
3. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	4. 幼稚園の預かり保育 (定期的に就園時間を延長して預かる事業)
5. 小規模な保育施設 (国の基準をみたし、県認可の定員概ね 6～19 人のもの)	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	8. 居宅訪問型保育 (ベビーシッター等)
9. ファミリーサポートセンター (地域住民が子どもを預かる)	10. その他 ()
11. 定期的に利用する必要はない	

問 20. 教育・保育事業を利用したい場所についてお答えください。

(○はひとつ)

1. 佐々町	2. 他の市町 ()
--------	-------------

すべての方にうかがいます。お子さんの土曜日・日曜日・祝日の定期的な教育・保育について

問 21. 宛名のお子さんについて、土曜日・日曜日・祝日に、幼稚園・保育所等の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

土曜日（〇はひとつ）	日曜日・祝日（〇はひとつ）
1. 利用する必要はない	1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい 時間帯 時から 時まで	2. ほぼ毎週利用したい 時間帯 時から 時まで
3. 月に 1～2 回は利用したい 時間帯 時から 時まで	3. 月に 1～2 回は利用したい 時間帯 時から 時まで

問 22. 土曜日・日曜日・祝日に「ほぼ毎週利用したい」「月に 1～2 回は利用したい」に〇をつけた方の、その利用したい理由は何ですか。（該当するものすべてに〇）

1. 仕事が入るため 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため 3. 親族の介護や手伝いが必要なため 4. 息抜きのため 5. その他（ ）
--

すべての方にうかがいます。お子さんの病気の際の対応について

問 23. この 1 年間に宛名のお子さんが病気やケガで幼稚園や保育所等を利用できなかったことはありましたか。（〇はひとつ）

1. あった	2. なかった（問 25 へ）
--------	-----------------

問 24. 普段利用している幼稚園・保育所等が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法をお答えください。

※半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください。

（該当するものすべてに〇）

子どもさんの病気の際の対応	何 日
1. 父親が仕事を休んだ	() 日/年間
2. 母親が仕事を休んだ	() 日/年間
3. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	() 日/年間
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	() 日/年間
5. 病児・病後児の保育を利用した	() 日/年間
6. ベビーシッターを利用した	() 日/年間
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 日/年間
8. その他（ ）	() 日/年間

問 25. お子さんが病気の際、できれば病児・病後児を預かる保育施設等を利用したいと思いませんか。

※病児・病後児を預かる保育施設等の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

問 25-1 利用したいと思われる方にうかがいます。それはどのような施設・事業ですか。(該当するものすべてに○) また、何日利用したいですか。

1. 幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを預かる事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（ファミリーサポートセンター等）
4. その他（ ）

年間 日利用したい

問 25-2 利用したいと思わない方にうかがいます。その理由は何ですか。

(○はひとつ)

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間日数など)がよいくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 親が仕事を休んで対応する
6. その他（ ）

すべての方にうかがいます。一時預かり等の利用について

問 26. 私用、親の通院、就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。該当する項目に○をつけ、おおよその日数をご記入ください。

(該当するものすべてに○)

1. 一時預かり（理由を問わずに保育所などでの一時預かり）	() 日/年間
2. 通常の時間を越えた幼稚園の預かり保育(不定期利用に限る)	() 日/年間
3. ベビーシッター(不定期利用に限る)	() 日/年間
4. その他（ ）	() 日/年間
5. 利用していない	

問 27. 私用(買い物、習い事、スポーツ、美容院など)や冠婚葬祭、病気、就労などの目的で、一時預かり事業等を利用したいと思いますか。該当する項目に○をつけ、おおよその日数をご記入ください。

(該当するものすべてに○)

1. 私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的で利用したい	() () 日/年間
2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等で利用したい	() () 日/年間
3. 不定期の就労で利用したい	() () 日/年間
4. その他()の目的で利用したい	() () 日/年間
5. 利用したいとは思わない	

問 28. この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらったことはありましたか。該当する項目に○をつけ、おおよその泊数をご記入下さい。

(該当するものすべてに○)

1. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	() () 泊/年
2. 保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用	() () 泊/年
3. 仕方なく子どもを同行させた	() () 泊/年
4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() () 泊/年
5. その他()	() () 泊/年
6. みてもらっていない	

幼稚園の利用者のみにうかがいます。夏休み冬休み期間中の利用について

問 29. 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の幼稚園・認定こども園の利用を希望しますか。

※利用される場合には一定の利用料がかかります。

(○はひとつ)

1. 利用する必要はない(問31へ)
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい。 () () 時から () () 時まで(問30へ)
3. 休みの期間中、週に数日利用したい。 () () 時から () () 時まで(問30へ)

問 30. 利用したい理由はなんですか。

(該当するものすべてに○)

1. 仕事が入る	2. 家事等の用事をまとめて済ませたい
3. 親族の介護や手伝いが必要	4. 息抜きのため
5. その他()	

すべての方にうかがいます。町の子育て支援サービスの利用状況について宛名のお子さんと一緒に、「ぶくぶくクラブ」「ありす」を利用したことがありますか。次の中から、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

問 31. 地域子育て支援拠点事業「ぶくぶくクラブ」をどの程度利用されていますか。（○はひとつ）

1. 現在利用している（週に ☐ 回程度もしくは 月に ☐ 回程度利用している）
2. 利用したことはあるが、現在は利用していない
3. 知っていたが、これまで利用したことがない
4. 知らなかった

問 32. 今後、「ぶくぶくクラブ」の利用を増やしたいですか。（○はひとつ）

1. 増やしたい（週に ☐ 回程度もしくは 月に ☐ 回程度利用している）
2. これまで通りの頻度で利用する。
3. 新たに利用するつもりはない。

ぶくぶくクラブ とは

佐々町在住の未就学児を子育て中の家族の方ならどなたでもご利用いただけます。

お友達と遊んだり、季節の行事を楽しんだりしています。

開設日時：毎週 火・水・金曜日 10:00～15:00

対象者：佐々町在住の子育て親子（対象年齢：0歳～未就学児）

年間登録料：500円（別途イベント時の負担金あり）

場所：佐々町市場免23-1 佐々町福祉センター1F ボランティア室

問 33. 一時預かり事業「ありす」をどの程度利用されていますか。（○はひとつ）

1. 現在利用している（週に ☐ 回程度もしくは 月に ☐ 回程度利用している）
2. 利用したことはあるが、現在は利用していない
3. 知っていたが、これまで利用したことがない
4. 知らなかった

問 34. 今後、「ありす」の利用を増やしたいですか。（○はひとつ）

1. 増やしたい（週に ☐ 回程度もしくは 月に ☐ 回程度利用している）
2. これまで通りの頻度で利用する。
3. 新たに利用するつもりはない。

ありす とは

佐々町在住の乳幼児を一時預かりします。（認定こども園と保育所の利用をしている人を除く）

冠婚葬祭、お仕事、介護、看護やショッピングなどの急な用事の時にご利用いただけます。

開設日時：月～金曜日 8:00～17:00

対象者：佐々町在住の乳幼児

利用料金：1人500円、2人目からは300円

場所：佐々町市場免23-1 佐々町福祉センター1F ボランティア室（同上）

宛名のお子さんが5歳以上である方にうかがいます。小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 35. 宛名のお子さんが小学校低学年、高学年になったときに、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。該当する番号すべてに○をつけ、希望する週当たり日数をご記入ください。

※放課後児童クラブ（学童保育）の場合には、利用を希望する時間も□内にご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一律に一字）。

小学校就学後の放課後の過ごし方（希望）			
低学年（1～3年生）		高学年（4～6年生）	
放課後の活動場所	活動日数	放課後の活動場所	活動日数
1. 自宅	週□日ぐらい	1. 自宅	週□日ぐらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週□日ぐらい	2. 祖父母宅や友人・知人宅	週□日ぐらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）	週□日ぐらい	3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）	週□日ぐらい
4. 学習塾	週□日ぐらい	4. 学習塾	週□日ぐらい
5. 放課後児童クラブ（学童保育）	週□日ぐらい 下校時から□□時まで	5. 放課後児童クラブ（学童保育）	週□日ぐらい 下校時から□□時まで
6. その他（公民館、公園など）	週□日ぐらい	6. その他（公民館、公園など）	週□日ぐらい

問 36. 宛名のお子さんについて、小学校低学年、高学年になったときに、土曜日・日曜日・祝日・夏休み冬休みにおける放課後児童クラブ（学童保育）の利用についてうかがいます。利用したい時間帯をご記入ください。（低・高学年いずれも○はひとつ）

●土曜日

低学年（1～3年生）		高学年（4～6年生）	
1. □□時～□□時まで 利用したい	2. 利用する 必要はない	1. □□時～□□時まで 利用したい	2. 利用する 必要はない

●日曜日・祝日

低学年（1～3年生）		高学年（4～6年生）	
1. □□時～□□時まで 利用したい	2. 利用する 必要はない	1. □□時～□□時まで 利用したい	2. 利用する 必要はない

●夏休み冬休み

低学年（1～3年生）		高学年（4～6年生）	
1. □□時～□□時まで 利用したい	2. 利用する 必要はない	1. □□時～□□時まで 利用したい	2. 利用する 必要はない

すべての方にうかがいます。政府が進める幼児教育・保育の無償化について
 今年の10月1日から幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する3歳児から5歳児
 の全ての子どもたちの利用料が無償化され、0歳児から2歳児の子供たちの利用料に
 ついては、住民税非課税世帯を対象として、無償化されることが予定されています。

問 37. 幼児教育・保育が無償化された場合、定期的な平日の幼稚園・保育所等の利用状
 況に変化はありますか。新たに利用されたい事業すべてに○をつけて下さい。

(該当するものすべてに○)

1. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	2. 保育所
3. 幼稚園（通常の就園時間の利用）	4. 幼稚園の預かり保育（定期的に就園時間を延長して預かる事業）
5. その他（ ）	6. 無償化されても変わらない（問 39 へ）

問 38. 幼児教育・保育が無償化された場合、いつ頃から上記事業を利用したいですか。

お子さんが 歳から利用したい

すべての方にうかがいます。佐々町での子育てについて

問 39. 現在、子育てをしていて、感じる悩みは何ですか。あてはまるもの3つまで○をつ
 けてください。(○は3つまで)

1. 子どもの食生活	2. 子どもとの過ごし方・遊び方	3. 子どもの健康	4. 子どもの教育・しつけ
5. 子どもの発育	6. 夫婦関係	7. 親族との関係	8. 親同士の付き合い
9. 自分の健康	10. 家族の健康	11. 社会との関わりが少ない	12. 近所との付き合い
13. 子育ての大変さに周囲の理解がない	14. 仕事と子育ての両立	15. 自分の時間が持てない	16. 子どもを邪魔に感じる時がある
17. 子育てに伴う経済的な負担	18. 身体の疲れが大きい	19. その他（ ）	
20. 特にない			

問 40. お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。
あてはまるもの3つまで○をつけてください。(○は3つまで)

1. 祖父母等の親族	2. 友人や知人
3. 近所の人	4. 健康相談センター
5. 幼稚園や保育園の先生	6. 民生委員・児童委員
7. かかりつけの医師	8. 役場の子育て関連担当窓口
9. 教育委員会	10. HP・インターネット・SNS上の知り合い
11. その他 ()	
12. 特にない	

問 41. 佐々町における子育ての環境や支援の満足度をそれぞれ5段階で評価し、該当する評価に○をご記入ください。

	満足 5	4	普通 3	2	不満 1
1. 公園など外の遊び場					
2. 屋内の遊び場					
3. 授乳室やおむつ交換台などの設備					
4. 交通機関(バス、電車など)					
5. 安全性(事故や犯罪など)					
6. 近所づきあい(協力、相談)					
7. 町の子育て支援の取組					
8. 町の相談窓口					
9. 子育てに関する情報					
10. 町立図書館					
11. 医療機関					

問 42. 問 41 において、特に高く評価された項目または、特に低く評価された項目があれば、その理由をご記入下さい。

低く評価した理由	高く評価した理由

問 43. 今後も、佐々町で子育てをしていきたいと思いませんか。

(○はひとつ)

1. ずっと佐々町で子育てをしていきたい
2. 当分の間は佐々町で子育てをしていきたい
3. できれば佐々町以外の市区町村で子育てをしていきたい
4. 近いうちに転出するつもりである
5. その他()

問 44. 現在のお子さんの人数、今後の出産予定、理想とするお子さんの人数を教えてください。

	人数
現在のお子さんの人数	人
今後の出産予定の人数	人
理想とするお子さんの人数	人

問 45. 理想とするお子さんの人数を実現できないとすれば、その理由は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

(○は3つまで)

- | | |
|--------------------|----------------------------------|
| 1. 子育てや教育にお金がかかる | 2. 仕事との両立に支障が生じる |
| 3. 健康上の理由 | 4. 年齢的(肉体的)に困難 |
| 5. 欲しいができない | 6. 夫(妻)の家事・育児の協力が得られない |
| 7. 夫(妻)が望まない | 8. 現在の住居では狭い |
| 9. 今の生活内容、水準を維持したい | 10. 育児にこれ以上の心理的、肉体的負担がか
けられない |
| 11. 子どもにとっての将来が不安 | 12. 子どもが成年になる前に定年となり収入
が見込めない |
| 13. その他() | |

問 46. 最後に、教育・保育事業の充実など子育て支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手を貼らずに同封の返信用封筒に入れ、ご投函ください。

②家庭保育世帯アンケート調査票

封筒の宛名のお子さんと ご家族の状況についてうかがいます。

1. 母親 2. 父親 3. 祖父 4. 祖母 5. その他 ()

1. 古川	2. 中央通	3. 志方	4. 野寄	5. 栗林	6. 里	7. 新町	8. 里山
9. 木場	10. 牟田原	11. 口石	12. 四ッ井樋	13. 水道	14. 浜迎		
15. 土手迎	16. 真申	17. 芳ノ浦	18. 東町	19. 西町	20. 市瀬		
21. 鴨川	22. 松瀬	23. 北	24. 神田	25. 角山	26. 江里		
27. 大茂	28. 千本	29. 若佐	30. 沖田	31. さざん花	32. 佐々南		

平成 年 月生まれ きょうだい数 人 番目

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない(母子家庭または父子家庭)
3. その他 ()

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母
5. その他（ ）

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時・用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. 日常的、緊急時 いずれもない

1. 大変ゆとりがある 2. ややゆとりがある 3. 普通
4. やや苦しい 5. 大変苦しい

すべての方にうかがいます。ご両親の就労状況について

※ひとり親家庭の場合は母親または父親のいずれかのみお答えください。

問 8. 母親・父親それぞれの就労状況をお答えください。 (母親・父親いずれも○はひとつ)

※自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。フルタイムは1週5日程度、1日8時間程度の就労。

就労状況	母親	父親
1. フルタイム (育休・介護休業中でない)		
2. フルタイム (育休・介護休業中である)		
3. パートタイム・アルバイト (育休・介護休業中でない)		
4. パートタイム・アルバイト (育休・介護休業中である)		
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない		
6. これまで就労したことがない		

問 9. 問 8 で「1」～「4」を選んだ方にうかがいます。週あたりどのくらい働きますか
勤務日数と勤務時間、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をご記入ください。

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

母親	週 日、1 日 時間勤務 / 家を出る時刻 時 帰宅時刻 時
父親	週 日、1 日 時間勤務 / 家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

問 10. 今後、どのような就労状況を希望されますか。

※フルタイムは1週5日程度、1日8時間程度の就労。

母親 (○はひとつ)	父親 (○はひとつ)
1. 就労しない	1. 就労しない
2. これまで通りの就労	2. これまで通りの就労
3. フルタイムへの転換(見込みあり)	3. フルタイムへの転換(見込みあり)
4. フルタイムへの転換(見込みなし)	4. フルタイムへの転換(見込みなし)
5. パート・アルバイトへの転換 週 日、1 日 時間 勤務	5. パート・アルバイトへの転換 週 日、1 日 時間 勤務

問 11. いづれかの転換を希望しますか。

母親 (○はひとつ)	父親 (○はひとつ)
1. このままでよい	1. このままでよい
2. すぐにでも就労状況を変えたい。	2. すぐにでも就労状況を変えたい。
3. 1年以内に就労状況を変えたい。	3. 1年以内に就労状況を変えたい。
4. 一番下の子が 歳になるまでに就労状況を変えたい。(おおよそ 年後)	4. 一番下の子が 歳になるまでに就労状況を変えたい。(おおよそ 年後)

問 12. 就労していない方で、就労の希望はあっても、就労していない理由は何ですか。

就労しない理由 (母親・父親いずれも○はひとつ)	母親	父親
1. 子どもが小さい間は、働かずにいたい		
2. 希望する幼稚園・保育所等が利用できない		
3. 子育てしながら働くことのできる適当な仕事がない		
4. 家族の考え方(親族の理解)等就労する環境が整っていない		
5. その他 ()		

すべての方にうかがいます。平日の教育・保育の希望について

問 13. 宛名のお子さんが現在、幼稚園や保育所等を利用していない理由に○をつけてください。 (○はひとつ)

1. 子どもが小さいうちは、自分でみたいため
2. 利用したいが、幼稚園・保育所等に空きがないため
3. 利用したいが、経済的な理由で利用できないため
4. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わないため
5. 利用したいと思う幼稚園・保育所等がないため（事業の質や場所等）
6. その他（ ）

問 14. 今後、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として定期的に利用したいものがありますか。 (該当するものすべてに○)

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所などの事業を指し、親族・知人による預かりは含みません。

1. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	2. 保育所
3. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	4. 幼稚園の預かり保育 (定期的に就園時間を延長して預かる事業)
5. 小規模な保育施設 (国の基準をみたし、県認可の定員概ね6～19人のもの)	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	8. 居宅訪問型保育 (ベビーシッター等)
9. ファミリーサポートセンター (地域住民が子どもを預かる)	10. その他 ()
11. 定期的に利用する必要はない	

問 15. 定期的な教育・保育事業をいつごろから利用したいですか。

宛名の子どもが 歳から利用したい

問 16. 教育・保育事業を利用したい場所についてお答えください。 (○はひとつ)

1. 佐々町
2. 他の市町 ()

すべての方にうかがいます。お子さんの土曜日・日曜日・祝日の定期的な教育・保育の利用希望について

問 17. 宛名のお子さんについて、土曜日・日曜日・祝日に、幼稚園・保育所等の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

土曜日 (〇はひとつ)	日曜日・祝日 (〇はひとつ)
1. 利用する必要はない	1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい 時間帯 時から 時まで	2. ほぼ毎週利用したい 時間帯 時から 時まで
3. 月に1~2回は利用したい 時間帯 時から 時まで	3. 月に1~2回は利用したい 時間帯 時から 時まで

問 18. 土曜日・日曜日・祝日に「ほぼ毎週利用したい」「月に 1～2 回は利用したい」に○をつけた方の、その利用したい理由は何ですか。 (該当するものすべてに○)

1. 仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他()

すべての方にうかがいます。一時預かり等の利用について

問 19. 私用、親の通院、就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。該当する項目に○をつけ、おおよその日数をご記入ください。

(該当するものすべてに○)

1. 一時預かり（理由を問わずに保育所などでの一時預かり）	() () 日/年間
2. 通常の時間を超えた幼稚園の預かり保育（不定期利用に限る）	() () 日/年間
3. ベビーシッター（不定期利用に限る）	() () 日/年間
4. その他（ ）	() () 日/年間
5. 利用していない	

問 20. 私用（買い物、習い事、スポーツ、美容院など）や冠婚葬祭、病気、就労などの目的で、一時預かり事業等を利用したいと思いますか。該当する項目に○をつけ、おおよその日数をご記入ください。

(該当するものすべてに○)

1. 私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的で利用したい	() () 日/年間
2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等で利用したい	() () 日/年間
3. 不特定の就労で利用したい	() () 日/年間
4. その他（ ）の目的で利用したい	() () 日/年間
5. 利用したいとは思わない	

問 21. この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらったことはありましたか。該当する項目に○をつけ、おおよその泊数をご記入下さい。

(該当するものすべてに○)

1. （同居者を含む）親族・知人にみてもらった	() () 泊/年
2. 保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用	() () 泊/年
3. 仕方なく子どもを同行させた	() () 泊/年
4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() () 泊/年
5. その他（ ）	() () 泊/年
6. みてもらっていない	

すべての方にうかがいます。町の子育て支援サービスの利用状況について宛名のお子さんと一緒に、「ぶくぶくクラブ」「ありす」を利用したことがありますか。次の中から、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、おおよその利用回数(頻度)をご記入ください。

問 22. 地域子育て支援拠点事業「ぶくぶくクラブ」をどの程度利用されていますか。

(○はひとつ)

1. 現在利用している(週に ☐ 回程度もしくは 月に ☐ 回程度利用している)
2. 利用したことはあるが、現在は利用していない
3. 知っていたが、これまで利用したことがない
4. 知らなかった

問 23. 今後、「ぶくぶくクラブ」の利用を増やしたいですか。

(○はひとつ)

1. 増やしたい(週に ☐ 回程度もしくは 月に ☐ 回程度利用している)
2. これまで通りの頻度で利用する。
3. 新たに利用するつもりはない。

ぶくぶくクラブ とは

佐々町在住の未就学児を子育て中の家族の方ならどなたでもご利用いただけます。

お友達と遊んだり、季節の行事を楽しんだりしています。

開設日時：毎週 火・水・金曜日 10:00~15:00

対象者：佐々町在住の子育て親子(対象年齢：0歳~未就学児)

年間登録料：500円(別途イベント時の負担金あり)

場所：佐々町市場免23-1 佐々町福祉センター1F ボランティア室

問 24. 一時預かり事業「ありす」をどの程度利用されていますか。

(○はひとつ)

1. 現在利用している(週に ☐ 回程度もしくは 月に ☐ 回程度利用している)
2. 利用したことはあるが、現在は利用していない
3. 知っていたが、これまで利用したことがない
4. 知らなかった

問 25. 今後、「ありす」の利用を増やしたいですか。

(○はひとつ)

1. 増やしたい(週に ☐ 回程度もしくは 月に ☐ 回程度利用している)
2. これまで通りの頻度で利用する。
3. 新たに利用するつもりはない。

ありす とは

佐々町在住の乳幼児を一時預かりします。(認定こども園と保育所の利用をしている人を除く)

冠婚葬祭、お仕事、介護、看護やショッピングなどの急な用事の時にご利用いただけます。

開設日時：月~金曜日 8:00~17:00

対象者：佐々町在住の乳幼児

利用料金：1人500円、2人目からは300円

場所：佐々町市場免23-1 佐々町福祉センター1F ボランティア室(同上)

宛名のお子さんが5歳以上である方にうかがいます。小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 26. 宛名のお子さんが小学校低学年、高学年になったときに、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。該当する番号すべてに○をつけ、希望する週当たり日数をご記入ください。

※放課後児童クラブ（学童保育）の場合には、利用を希望する時間も口内にご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください(数字は一桁に一字)。

小学校就学後の放課後の過ごし方（希望）			
低学年(1～3年生)		高学年(4～6年生)	
放課後の活動場所	活動日数	放課後の活動場所	活動日数
1. 自宅	週 日ぐらい	1. 自宅	週 日ぐらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日ぐらい	2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日ぐらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブなど)	週 日ぐらい	3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブなど)	週 日ぐらい
4. 学習塾	週 日ぐらい	4. 学習塾	週 日ぐらい
5. 放課後児童クラブ(学童保育)	週 日ぐらい 下校時から 時まで	5. 放課後児童クラブ(学童保育)	週 日ぐらい 下校時から 時まで
6. その他(公民館、公園など)	週 日ぐらい	6. その他(公民館、公園など)	週 日ぐらい

問 27. 宛名のお子さんについて、小学校低学年、高学年になったときに、土曜日・日曜日・祝日・夏休み冬休みにおける放課後児童クラブ（学童保育）の利用についてうかがいます。利用したい時間帯をご記入ください。(低・高学年いずれも○はひとつ)

●土曜日

低学年(1～3年生)		高学年(4～6年生)	
1. 時～ 時まで 利用したい	2. 利用する 必要はない	1. 時～ 時まで 利用したい	2. 利用する 必要はない

●日曜日・祝日

低学年(1～3年生)		高学年(4～6年生)	
1. 時～ 時まで 利用したい	2. 利用する 必要はない	1. 時～ 時まで 利用したい	2. 利用する 必要はない

●夏休み冬休み

低学年(1～3年生)		高学年(4～6年生)	
1. 時～ 時まで 利用したい	2. 利用する 必要はない	1. 時～ 時まで 利用したい	2. 利用する 必要はない

すべての方にうかがいます。政府が進める幼児教育・保育の無償化について
 今年の10月1日から幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する3歳児から5歳児
 の全ての子どもたちの利用料が無償化され、0歳児から2歳児の子供たちの利用料に
 ついては、住民税非課税世帯を対象として、無償化されることが予定されています。

問 28. 幼児教育・保育が無償化された場合、定期的な平日の幼稚園・保育所等の利用状
 況に変化はありますか。新たに利用されたい事業すべてに○をつけて下さい。

(該当するものすべてに○)

1. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	2. 保育所
3. 幼稚園（通常の就園時間の利用）	4. 幼稚園の預かり保育（定期的に就園時間を延長して預かる事業）
5. その他（ ）	6. 無償化されても変わらない（問 30 へ）

問 29. 幼児教育・保育が無償化された場合、いつ頃から上記事業を利用したいですか。

お子さんが 歳から利用したい

すべての方にうかがいます。佐々町での子育てについて

問 30. 現在、子育てをされていて、感じる悩みは何ですか。あてはまるもの3つまで○を
 つけてください。(○は3つまで)

1. 子どもの食生活	2. 子どもとの過ごし方・遊び方	3. 子どもの健康	4. 子どもの教育・しつけ
5. 子どもの発育	6. 夫婦関係	7. 親族との関係	8. 親同士の付き合い
9. 自分の健康	10. 家族の健康	11. 社会との関わりが少ない	12. 近所との付き合い
13. 子育ての大変さに周囲の理解がない	14. 仕事と子育ての両立	15. 自分の時間が持てない	16. 子どもを邪魔に感じる時がある
17. 子育てに伴う経済的な負担	18. 身体の疲れが大きい	19. その他（ ）	
20. 特にない			

問 31. お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。
あてはまるもの3つまで○をつけてください。(○は3つまで)

1. 祖父母等の親族	2. 友人や知人
3. 近所の人	4. 健康相談センター
5. 幼稚園や保育園の先生	6. 民生委員・児童委員
7. かかりつけの医師	8. 役場の子育て関連担当窓口
9. 教育委員会	10. HP・インターネット・SNS上の知り合い
11. その他 ()	
12. 特になし	

問 32. 佐々町における子育ての環境や支援の満足度をそれぞれ5段階で評価し、該当する評価に○をご記入ください。

	満足 5	4	普通 3	2	不満 1
1. 公園など外の遊び場					
2. 屋内の遊び場					
3. 授乳室やおむつ交換台などの設備					
4. 交通機関(バス、電車など)					
5. 安全性(事故や犯罪など)					
6. 近所づきあい(協力、相談)					
7. 町の子育て支援の取組					
8. 町の相談窓口					
9. 子育てに関する情報					
10. 町立図書館					
11. 医療機関					

問 33. 問 32 において、特に高く評価された項目または、特に低く評価された項目があれば、その理由をご記入下さい。

低く評価した理由	高く評価した理由

③就学児童世帯アンケート調査票

封筒の宛名のお子さんと ご家族の状況についてうかがいます。

1. 母親 2. 父親 3. 祖父 4. 祖母 5. その他 ()

1. 古川	2. 中央通	3. 志方	4. 野寄	5. 栗林	6. 里	7. 新町	8. 里山
9. 木場	10. 牟田原	11. 口石	12. 四ッ井樋	13. 水道	14. 浜迎		
15. 土手迎	16. 真申	17. 芳ノ浦	18. 東町	19. 西町	20. 市瀬		
21. 鴨川	22. 松瀬	23. 北	24. 神田	25. 角山	26. 江里		
27. 大茂	28. 千本	29. 若佐	30. 沖田	31. さざん花	32. 佐々南		

平成 年 月生まれ きょうだい数 人 番目

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない(母子家庭または父子家庭)
3. その他 ()

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母
5. その他（ ）

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時・用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. 日常的、緊急時 いずれもない

1. 大変ゆとりがある 2. ややゆとりがある 3. 普通
4. やや苦しい 5. 大変苦しい

すべての方にうかがいます。ご両親の就労状況について

※ひとり親家庭の場合は母親または父親のいずれかのみお答えください。

問 8. 母親・父親それぞれの就労状況をお答えください。(母親・父親いずれも〇はひとつ)

※自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。フルタイムは1週5日程度、1日8時間程度の就労。

就労状況	母親	父親
1. フルタイム（育休・介護休業中でない）		
2. フルタイム（育休・介護休業中である）		
3. パートタイム・アルバイト（育休・介護休業中でない）		
4. パートタイム・アルバイト（育休・介護休業中である）		
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない		
6. これまで就労したことがない		

問 9. 問 8 で「1」～「4」を選んだ方にうかがいます。週あたりどのくらい働きますか。勤務日数と勤務時間、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をご記入ください。

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

母親	週 日、1 日 時間勤務 / 家を出る時刻 時 帰宅時刻 時
父親	週 日、1 日 時間勤務 / 家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

問 10. 今後、どのような就労状況を希望されますか。

※フルタイムは1週5日程度、1日8時間程度の就労。

母親（〇はひとつ）	父親（〇はひとつ）
1. 就労しない	1. 就労しない
2. これまで通りの就労	2. これまで通りの就労
3. フルタイムへの転換（見込みあり）	3. フルタイムへの転換（見込みあり）
4. フルタイムへの転換（見込みなし）	4. フルタイムへの転換（見込みなし）
5. パート・アルバイトへの転換	5. パート・アルバイトへの転換
週 日、1 日 時間 勤務	週 日、1 日 時間 勤務

問 11. いつごろの転換を希望しますか。

母親（〇はひとつ）	父親（〇はひとつ）
1. このままでよい	1. このままでよい
2. すぐにでも就労状況を変えたい。	2. すぐにでも就労状況を変えたい。
3. 1 年以内に就労状況を変えたい。	3. 1 年以内に就労状況を変えたい。
4. 一番下の子が 歳になるまでに就労状況を変えたい。（おおよそ 年後）	4. 一番下の子が 歳になるまでに就労状況を変えたい。（おおよそ 年後）

問 12. 就労していない方で、就労の希望はあっても、就労していない理由は何ですか

就労しない理由（母親・父親いずれも〇はひとつ）	母親	父親
1. 子どもが小さい間は、働かずにいたい		
2. 希望する幼稚園・保育所等が利用できない		
3. 子育てしながら働くことのできる適当な仕事がない		
4. 家族の考え方（親族の理解）等就労する環境が整っていない		
5. その他（ ）		

すべての方にうかがいます。お子さんの放課後の過ごし方について

問 13. 宛名のお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ現状の週当たり日数をご記入ください。

(○はいくつでも)

※なお、事業の利用には利用者負担が発生する可能性があります。

※一日に 2 カ所以上行くことも想定されますので、合計の日数は 5 日でなくてかまいません。

	現 在
1. 自宅に一人である	週 ☐ 日
2. 自宅に家族という	週 ☐ 日
3. 祖父母宅や友人・知人宅	週 ☐ 日
4. 放課後児童クラブ(学童保育)	週 ☐ 日
5. 習い事(クラブ活動、音楽教室など)	週 ☐ 日
6. 学習塾(英語教室も含む)	週 ☐ 日
7. 公園・広場	週 ☐ 日
8. 図書館	週 ☐ 日
9. その他 ()	週 ☐ 日

問 14. 子どもが放課後を過ごす場所として、重視していることは何ですか。あてはまるもの 3 つまで○をつけてください。

(○は3つまで)

1. 子どもが安全・安心に過ごせること
2. 充実した施設・設備があること
3. 希望する時間に利用できること
4. スタッフ(職員等)が充実していること
5. 子どもの遊び支援など日常活動が充実していること
6. 異年齢(乳幼児から大人まで)との活動が充実していること
7. 行事や地域交流活動が充実していること
8. 運営に関する子どもの参画がなされること
9. 障害児等、配慮を要する子どもへの配慮がされていること

すべての方にうかがいます。放課後児童クラブ（学童保育）について

問 15. 宛名のお子さんについて、放課後児童クラブ（学童保育）の利用実績と今後の利用希望についてご記入ください。 (〇はそれぞれひとつ)

●平日

利用実績	今後の利用希望
1. 利用している □□時□□分～□□時□□分	1. 希望の利用時間 □□時□□分～□□時□□分
2. 利用実績あり（現在は利用していない）	2. 利用を希望しない
3. 利用実績なし	

●土曜日

利用実績	今後の利用希望
1. 利用している □□時□□分～□□時□□分	1. 希望の利用時間 □□時□□分～□□時□□分
2. 利用実績あり（現在は利用していない）	2. 利用を希望しない
3. 利用実績なし	

●日曜・祝日

利用実績	今後の利用希望
※現在、利用いただけるサービスはありません。	1. 希望の利用時間 □□時□□分～□□時□□分
	2. 希望しない

●夏休み・冬休み

利用実績	今後の利用希望
1. 利用している □□時□□分～□□時□□分	1. 希望の利用時間 □□時□□分～□□時□□分
2. 利用実績あり（現在は利用していない）	2. 希望しない
3. 利用実績なし	

問 16. 宛名のお子さんについて、放課後児童クラブ（学童保育）の利用予定をご記入ください。 (〇はひとつ)

1. 小学□年生から□年生まで利用予定 2. 利用する予定はない

問17. 放課後児童クラブ（学童保育）を利用されている方にうかがいます。今後望むサービスは何ですか。

※希望する時間については、問15にご記入ください

	望むサービスや改善点 (具体的にご記入ください)
1. 放課後児童クラブ（学童保育）と 家庭との連絡や連携	
2. 習い事(英語や習字など)	
3. 施設や設備を改善する	
4. 指導内容を工夫する	
5. その他 提供して欲しいサービス	

問18. 放課後児童クラブ（学童保育）を利用していない方にうかがいます。利用しない理由は以下のうちどれですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

(○は3つまで)

1. 子どもが希望していないから
2. 現在就労していないから
3. 子どもの祖父母や親戚の人がみているから
4. 近所の人や父母の友人・知人がみているから
5. 放課後児童クラブを知らなかったから
6. 放課後児童クラブに空きがないから
7. 放課後児童クラブの開所時間が短いから
8. 指導員等の指導内容や活動プログラムが不十分と感じるから
9. 利用料金がかかるから
10. 子どもは放課後習い事をしているから
11. 放課後の短時間なら、子どもだけで大丈夫だと思うから
12. 他の施設に預けているから
13. その他()

すべての方にうかがいます。お子さんが病気の時の対応について

問 19. この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校に行けなかったことはありましたか。 (〇はひとつ)

1. あった	2. なかった (問21へ)
--------	----------------

問 20. 宛名のお子さんが病気やケガで学校に行けなかった場合に、この1年間に行った対処方法をお答えください。

※半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一律に一字。

子どもさんの病気の際の対応 (該当するものすべてに〇)	何日
1. 父親が仕事を休んだ	(□□) 日/年間
2. 母親が仕事を休んだ	(□□) 日/年間
3. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	(□□) 日/年間
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	(□□) 日/年間
5. 病児・病後児を預かる施設を利用した	(□□) 日/年間
6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	(□□) 日/年間
7. その他()	(□□) 日/年間

問 21. お子さんが病気の際、「できれば病児・病後児を預かる施設等を利用したい」と思いますか。

※病児・病後児を預かる施設の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

問 21-1 利用したいと思われる方にうかがいます。それはどのような施設・事業ですか。(該当するものすべてに〇) また、年に何日利用したいですか。

1. 保育所等に併設した施設で就学児を預かる事業 2. 小児科に併設した施設で子どもを預かる事業 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で子どもを預かる事業 (ファミリーサポートセンター等) 4. その他()
--

年間□□日利用したい

問 21-2 利用したいと思わない方にうかがいます。その理由は何ですか。

(〇はひとつ)

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 2. 親が仕事を休んで対応する 3. 利用料がかかる 4. その他()
--

すべての方にうかがいます。佐々町での子育てについて

問 22. 現在、子育てをされていて、感じる悩みは何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。(○は3つまで)

1. 子どもの食生活	2. 子どもとの過ごし方・遊び方	3. 子どもの健康	4. 子どものしつけ
5. 子どもの学力	6. 子どもの発育	7. 夫婦関係	8. 親族との関係
9. 親同士の付き合い	10. 自分の健康	11. 家族の健康	12. 社会との関わりが少ない
13. 近所との付き合い	14. 子育ての大変さに周囲の理解がない	15. 仕事と子育ての両立	16. 自分の時間が持てない
17. 子どもを邪魔に感じる時がある	18. 子育てに伴う経済的な負担	19. 身体の疲れが大きい	20. その他 ()
21. 特にない			

問 23. お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。(○は3つまで)

1. 祖父母等の親族	2. 友人や知人
3. 近所の人	4. 健康相談センター
5. 学校の先生	6. 民生委員・児童委員
7. かかりつけの医師	8. 役場の子育て関連担当窓口
9. 教育委員会	10. HP・インターネット・SNS上の知り合い
11. その他 ()	
12. 特にない	

問 24. 佐々町における子育ての環境や支援の満足度をそれぞれ5段階で評価し、該当する評価に○をご記入ください。

	満足 5	4	普通 3	2	不満 1
1. 公園など外の遊び場					
2. 屋内の遊び場					
3. 交通機関（バス、電車など）					
4. 安全性（事故や犯罪など）					
5. 近所づきあい（協力、相談）					
6. 町の子育て支援の取組					
7. 町の相談窓口					
8. 子育てに関する情報					
9. 小学校の施設					
10. 学校教育の内容					
11. 体育施設					
12. 町立図書館					
13. 医療機関					

問 25. 問 24 において、特に高く評価された項目または、特に低く評価された項目があれば、その理由をご記入下さい。

低く評価した理由	高く評価した理由

問 26. 子どもが成長する上で大切だと思っていることは何ですか。上位3つまで○をつけてください。 (○は3つまで)

1. 友達との関係	2. 学校の勉強
3. 家族とのふれあい	4. ICTに関する体験
5. 自由な時間	6. 英語教育
7. 自然の中での体験	8. スポーツ
9. 進学準備	10. その他 ()

問 27. 今後も、佐々町で子育てをしていきたいと思いませんか。 (○はひとつ)

1. ずっと佐々町で子育てをしていきたい
2. 当分の間は佐々町で子育てをしていきたい
3. できれば佐々町以外の市区町村で子育てをしていきたい
4. 近いうちに転出するつもりである
5. その他 ()

問 28. 現在のお子さんの人数、今後の出産予定、理想とするお子さんの人数を教えてください。

	人数
現在のお子さんの人数	人
今後の出産予定の人数	人
理想とするお子さんの人数	人

問 29. 理想とするお子さんの人数を実現できないとすれば、その理由はなんですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。 (○は3つまで)

1. 子育てや教育にお金がかかる	2. 仕事との両立に支障が生じる
3. 健康上の理由	4. 年齢的(肉体的)に困難
5. 欲しいができない	6. 夫(妻)の家事・育児の協力が得られない
7. 夫(妻)が望まない	8. 現在の住居では狭い
9. 今の生活内容、水準を維持したい	10. 育児にこれ以上の心理的、肉体的負担がか けられない
11. 子どもにとっての将来が不安	12. 子どもが成年になる前に定年となり収入 が見込めない
13. その他 ()	

This image shows a full page of handwriting practice paper. It features multiple sets of horizontal dashed lines spaced evenly down the page, designed to help children learn letter formation and alignment. The paper is otherwise blank, with no text or other markings.

10

(2) アンケート調査結果

①共通項目について集計

問（共通）回答いただく方はどなたですか。（宛名のお子さんからみた関係）
（〇はひとつ）

	幼稚園・ 保育所利用	家庭保育	就学児	合計
母親	245	96	126	467
父親	24	11	11	46
祖父	0	0	0	0
祖母	0	0	3	3
その他	0	0	0	0
無回答	0	0	1	1
計	269	107	141	517

問（共通）あなたは現在、どちらにお住まいですか。（○はひとつ）

	幼稚園・保 育所利用	家庭保育	就学児	計
古川	2	0	2	4
中央通	10	8	3	21
志方	0	0	0	0
野寄	11	3	6	20
栗林	8	5	6	19
里	16	6	18	40
新町	12	6	3	21
里山	4	4	2	10
木場	8	3	3	14
牟田原	0	0	0	0
口石	35	21	9	65
四ツ井桶	20	9	15	44
水道	7	4	4	15
浜迎	6	2	4	12
土手迎	6	4	3	13
真申	0	0	0	0
芳ノ浦	6	2	4	12
東町	3	1	5	9
西町	2	3	2	7
市瀬	21	4	9	34
鴨川	2	1	0	3
松瀬	9	2	2	13
北	1	3	2	6
神田	43	7	15	65
角山	0	0	0	0
江里	0	0	0	0
大茂	0	0	0	0
千本	14	2	11	27
若佐	1	0	0	1
沖田	7	2	1	10
さざん花	3	0	2	5
佐々南	10	3	7	20
無回答	2	2	3	7
計	269	107	141	517

問（共通）宛名のお子さんの母または父の配偶関係についてお答えください。
（○はひとつ）

	幼稚園・保育所利用	家庭保育	就学児
配偶者がいる	246	106	120
配偶者はいない	23	0	19
その他	0	1	2
計	269	107	141

(%)

	幼稚園・保育所利用	家庭保育	就学児
配偶者がいる	91.4	99.1	85.1
配偶者はいない	8.6	0.0	13.5
その他	0.0	0.9	1.4
計	100.0	100.0	100.0

問（共通）宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。
（○はひとつ）

	幼稚園・ 保育所利用	家庭保育	就学児	合計	割合(%)
父母ともに	162	44	80	229	56.8
主に母親	103	59	52	162	40.2
主に父親	0	1	2	2	0.5
主に祖父母	1	0	6	6	1.5
その他	3	2	1	3	0.7
無回答	0	1	0	1	0.2
計	269	107	141	403	100.0

問（共通）宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
（該当するものすべてに○）

	幼稚園 保育所 利用	家庭保 育	就学児	合計	割合 (%)
1.日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	84	49	50	183	35.4
2.緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	180	66	92	338	65.4
3.日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	7	3	4	14	2.7
4.緊急時・用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	25	14	26	65	12.6
5.日常的、緊急時いずれもない	33	9	10	52	10.1
計	269	107	141	517	

注) 複数回答のため 100%にはならない

問（共通）現在の暮らしの経済状況をどのように感じていますか。
（○はひとつ）

	幼稚園・保育所利用	家庭保育	就学児
大変ゆとりがある	7	2	4
ややゆとりがある	15	11	9
普通	175	71	86
やや苦しい	51	19	33
大変苦しい	21	4	9
	269	107	141
			(%)
	幼稚園・保育所利用	家庭保育	就学児
大変ゆとりがある	2.6	1.9	2.8
ややゆとりがある	5.6	10.3	6.4
普通	65.1	66.4	61.0
やや苦しい	19.0	17.8	23.4
大変苦しい	7.8	3.7	6.4
	100.0	100.0	100.0

問（共通）地域子育て支援拠点事業「ぷくぷくクラブ」をどの程度利用されていますか。（〇はひとつ）

	幼稚園・保育所利用	家庭保育
現在利用している	1	18
利用したことはあるが、現在は利用していない	65	21
知っていたが、これまで利用したことがない	167	56
知らなかった	35	11
無回答	1	1
計	269	107

(%)

	幼稚園・保育所利用	家庭保育
現在利用している	0.4	16.8
利用したことはあるが、現在は利用していない	24.2	19.6
知っていたが、これまで利用したことがない	62.1	52.3
知らなかった	13.0	10.3
無回答	0.4	0.9
計	100.0	100.0

問（共通）今後、「ぷくぷくクラブ」の利用を増やしたいですか。（〇はひとつ）

(%)

	幼稚園・保育所利用	家庭保育
増やしたい	2.6	11.2
これまで通りの頻度で利用する	4.5	14.0
新たに利用するつもりはない	88.1	70.1
無回答	4.8	4.7
計	100.0	100.0

問（共通）一時預かり事業「ありす」をどの程度利用されていますか。
（○はひとつ）

	幼稚園・保育所利用	家庭保育
現在利用している	0	4
利用したことはあるが、現在は利用していない	23	7
知っていたが、これまで利用したことがない	180	75
知らなかった	63	21
無回答	3	0
計	269	107

(%)

	幼稚園・保育所利用	家庭保育
現在利用している	0.0	3.7
利用したことはあるが、現在は利用していない	8.6	6.5
知っていたが、これまで利用したことがない	66.9	70.1
知らなかった	23.4	19.6
無回答	1.1	0.0

問（共通）今後、「ありす」の利用を増やしたいですか。（○はひとつ）

(%)

	幼稚園・保育所利用	家庭保育
増やしたい	1.9	11.2
これまで通りの頻度で利用する	3.7	14.0
新たに利用するつもりはない	89.2	70.1
無回答	5.2	4.7
計	100.0	100.0

問（共通）お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、
誰(どこ)ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。
(○は3つまで)

	幼稚園・保育所利用		家庭保育		就学児	
	実数	%	実数	%	実数	%
祖父母等の親族	206	76.6	91	85.0	94	66.7
友人や知人	195	72.5	75	70.1	109	77.3
近所の人	15	5.6	7	6.5	16	11.3
健康相談センター	13	4.8	10	9.3	1	0.7
幼稚園や保育園、学校の先生	111	41.3	15	14.0	24	17.0
民生委員・児童委員	2	0.7	1	0.9	1	0.7
かかりつけの医師	8	3.0	7	6.5	4	2.8
役場の子育て関連担当窓口	1	0.4	1	0.9	0	0.0
教育委員会	0	0.0	0	0.0	0	0.0
HP・インターネット・SNS 上の 知り合い	10	3.7	6	5.6	3	2.1
その他	7	2.6	5	4.7	5	3.5
特にない	13	4.8	2	1.9	9	6.4
無回答	0	0.0	0	0.0	1	0.7
無効回答	7	2.6	4	3.7	2	1.4
回答者数	269		107		141	

問（共通）現在、子育てをしていて、感じる悩みは何ですか。
 あてはまるもの3つまで○をつけてください。（○は3つまで）

	幼稚園・ 保育所利用		家庭保育			就学児	
	実数	割合 (%)	実数	割合 (%)		実数	割合 (%)
子どもの食生活	52	19.3	23	21.5	子どもの食生活	21	14.9
子どもとの過ごし方、遊び方	29	10.8	26	24.3	子どもとの過ごし方、遊び方	18	12.8
子どもの健康	32	11.9	24	22.4	子どもの健康	13	9.2
子どもの教育・しつけ	76	28.3	38	35.5	子どものしつけ	42	29.8
子どもの発育	20	7.4	18	16.8	子どもの学力	48	34.0
夫婦関係	4	1.5	1	0.9	子どもの発育	9	6.4
親族との関係	4	1.5	2	1.9	夫婦関係	6	4.3
親同士の付き合い	25	9.3	3	2.8	親族との関係	7	5.0
自分の健康	13	4.8	6	5.6	親同士の付き合い	16	11.3
家族の健康	14	5.2	7	6.5	自分の健康	6	4.3
社会との関わりが少ない	3	1.1	4	3.7	家族の健康	6	4.3
近所との付き合い	7	2.6	4	3.7	社会との関わりが少ない	2	1.4
子育ての大変さに周囲の理解がない	4	1.5	1	0.9	近所との付き合い	2	1.4
仕事と子育ての両立	84	31.2	27	25.2	子育ての大変さに周囲の理解がない	1	0.7
自分の時間がもてない	24	8.9	17	15.9	仕事と子育ての両立	28	19.9
子どもを邪魔に感じる時がある	2	0.7	0	0.0	自分の時間がもてない	10	7.1
子育てに伴う経済的な負担	50	18.6	23	21.5	子どもを邪魔に感じる時がある	1	0.7
身体の疲れが大きい	20	7.4	9	8.4	子育てに伴う経済的な負担	30	21.3
その他	5	1.9	1	0.9	身体の疲れが大きい	10	7.1
特にない	44	16.4	12	11.2	その他	4	2.8
無回答	5	1.9	1	0.9	特にない	22	15.6
無効回答	27	10.0	5	4.7	無回答	20	14.2
回答者数	269		107		無効回答	2	1.4
					回答者数	141	

問（共通）佐々町における子育ての環境や支援の満足度をそれぞれ5段階で評価し、該当する評価に○をご記入ください。

	幼稚園・保育所利用	家庭保育
1. 公園など外の遊び場	3.3	3.5
2. 屋内の遊び場	1.9	2.2
3. 授乳室やおむつ交換台などの設備	2.4	2.2
4. 交通機関(バス、電車など)	2.9	2.8
5. 安全性(事故や犯罪など)	2.8	2.6
6. 近所づきあい(協力、相談)	3.1	3.0
7. 町の子育て支援の取組	3.2	3.4
8. 町の相談窓口	3.0	3.1
9. 子育てに関する情報	3.0	3.0
10. 町立図書館	3.7	3.7
11. 医療機関	3.3	3.2

	就学児
1. 公園など外の遊び場	2.8
2. 屋内の遊び場	1.8
3. 交通機関(バス、電車など)	2.6
4. 安全性(事故や犯罪など)	2.4
5. 近所づきあい(協力、相談)	3.0
6. 町の子育て支援の取組	3.0
7. 町の相談窓口	2.8
8. 子育てに関する情報	2.8
9. 小学校の施設	3.0
10. 学校教育の内容	3.3
11. 体育施設	3.0
12. 町立図書館	3.6
13. 医療機関	3.3

問（共通）今後も、佐々町で子育てをしていきたいと思いませんか。
（○はひとつ）

	幼稚園・保育所 利用		家庭保育		就学児	
	実数	割合 (%)	実数	割合 (%)	実数	割合 (%)
ずっと佐々町で子育てをしていきたい	149	55.4	47	43.9	89	63.1
当分の間は佐々町で子育てをしていきたい	107	39.8	46	43.0	40	28.4
できれば佐々町以外の市区町村で子育てをしていきたい	3	1.1	3	2.8	5	3.5
近いうちに転出するつもりである	5	1.9	7	6.5	1	0.7
その他	2	0.7	3	2.8	4	2.8
無回答	3	1.1	1	0.9	2	1.4
回答者数	269	100	107	100	141	100

問（共通）現在のお子さんの人数、今後の出産予定、理想とするお子さんの人数を教えてください。

	幼稚園・保育所利用	家庭保育	就学児
現在	2.2	2.1	2.1
今後	0.3	0.4	0.1
理想	2.8	2.7	2.1

問（共通）理想とするお子さんの人数を実現できないとすれば、その理由は何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。
（○は3つまで）

	幼稚園・保育所 利用		家庭保育		就学児	
	実数	%	実数	%	実数	%
子育てや教育にお金がかかる	113	42.0	53	49.5	57	40.4
仕事との両立に支障が生じる	66	24.5	19	17.8	24	17.0
健康上の理由	17	6.3	7	6.5	5	3.5
年齢的（肉体的）に困難	64	23.8	25	23.4	54	38.3
欲しいができない	31	11.5	9	8.4	12	8.5
夫（妻）の家事・育児の協力が得られない	10	3.7	3	2.8	3	2.1
夫（妻）が望まない	6	2.2	3	2.8	4	2.8
現在の住居では狭い	16	5.9	14	13.1	8	5.7
今の生活内容、水準を維持したい	28	10.4	9	8.4	8	5.7
育児にこれ以上の心理的、肉体的負担がかけられない	22	8.2	12	11.2	5	3.5
子どもにとっての将来が不安	9	3.3	6	5.6	6	4.3
子どもが成年になる前に定年となり収入が見込めない	13	4.8	4	3.7	9	6.4
その他	9	3.3	1	0.9	6	4.3
無回答	66	24.5	29	27.1	33	23.4
無効	3	1.1	2	1.9	0	0.0
回答者数	269		107		141	

問（共通）幼児教育・保育が無償化された場合、定期的な平日の幼稚園・保育所等の利用状況に変化はありますか。新たに利用されたい事業すべてに○をつけて下さい。（該当するもの全てに○）

	幼稚園・保育所利用		家庭保育	
	実数	割合（％）	実数	割合（％）
認定こども園	31	11.5	49	45.8
保育所	32	11.9	30	28.0
幼稚園	14	5.2	28	26.2
幼稚園の預かり保育	7	2.6	13	12.1
その他	4	1.5	1	0.9
無償化されても変わらない	197	73.2	37	34.6
無回答	4	1.5	0	0.0
回答者数	269		107	

②「幼稚園・保育所を利用している世帯」アンケート

すべての方にうかがいます。ご両親の就労状況について

※ひとり親家庭の場合は母親または父親のいずれかのみお答えください。方に

※ひとり親家庭の場合は母親または父親のいずれかのみお答えください。

問 8（幼稚園・保育所）母親・父親それぞれの就労状況をお答えください。

（母親・父親いずれも○はひとつ）

母親	実数	割合(%)
フルタイム(育休中・介護休暇中でない)	123	45.7
フルタイム(育休中・介護休暇中である)	8	3.0
パートタイム・アルバイト(育休・介護休暇中でない)	107	39.8
パートタイム・アルバイト(育休・介護休暇中である)	5	1.9
以前は就労していたが、現在は就労していない	26	9.7
これまで就労したことがない	0	0.0
計	269	100.0
父親	実数	割合(%)
フルタイム(育休中・介護休暇中でない)	242	90.0
フルタイム(育休中・介護休暇中である)	3	1.1
パートタイム・アルバイト(育休・介護休暇中でない)	0	0.0
パートタイム・アルバイト(育休・介護休暇中である)	0	0.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	2	0.7
これまで就労したことがない	0	0.0
無回答	22	8.2
計	269	100.0

問 9（幼稚園・保育所）問 8で「1」～「4」を選んだ方にうかがいます。

週あたりどのくらい働きますか。勤務日数と勤務時間、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況をご記入ください。

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

母親	実数	割合(%)	父親	実数	割合(%)
週 1	1	0.4	週 1	0	0.0
週 2	1	0.4	週 2	0	0.0
週 3	9	3.3	週 3	0	0.0
週 4	34	12.6	週 4	1	0.4
週 5	158	58.7	週 5	127	47.2
週 6	38	14.1	週 6	105	39.0
週 7	1	0.4	週 7	3	1.1
無回答	27	10.0	無回答	33	12.3
	269	100.0		269	100.0

問 10（幼稚園・保育所）今後、どのような就労状況を希望されますか。
（○はひとつ）

	母親		父親	
	実数	割合（％）	実数	割合（％）
就労しない	13	4.8	8	3.0
これまで通りの就労	202	75.1	236	87.7
フルタイムへの転換（見込みあり）	18	6.7	0	0.0
フルタイムへの転換（見込みなし）	11	4.1	1	0.4
パート・アルバイトへの転換	24	8.9	0	0.0
無回答	1	0.4	24	8.9
計	269	100.0	269	100.0

問 11（幼稚園・保育所）いつごろの転換を希望しますか。（○はひとつ）

	母親		父親	
	実数	割合（％）	実数	割合（％）
このままでよい	189	70.3	226	84.0
すぐにでも勤労状況を変えたい	14	5.2	4	1.5
1年以内に就労状況を変えたい	19	7.1	4	1.5
一番下の子の年齢	37	13.8	0	0.0
無回答	10	3.7	35	13.0
計	269	100.0	269	100.0

問 12（幼稚園・保育所）就労していない方で、就労の希望はあっても、就労していない理由は何ですか。（母親・父親いずれも○はひとつ）

	母親		父親	
	実数	割合（％）	実数	割合（％）
子どもが小さい間は、働かずにいたい	7	26.9	0	0.0
希望する幼稚園、保育所等が利用できない	1	3.8	0	0.0
子育てしながら働くことのできる適当な仕事がない	9	34.6	0	0.0
家族の考え方（親族の理解）等就労する環境が整っていない	2	7.7	0	0.0
その他	7	26.9	2	100.0
	26	100.0	2	100.0



幼稚園や保育所等を利用している方にうかがいます。

問 13（幼稚園・保育所）「定期的」な利用施設すべてに○をつけ、その利用日数と利用時間について□にご記入ください。

（該当するものすべてに○）

利用している施設	実数	割合(%)
認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	113	42.0
保育所	130	48.3
幼稚園	25	9.3
幼稚園の預かり保育	5	1.9
その他	4	1.5

問 14（幼稚園・保育所）現在利用している施設を希望としてはどのくらい利用したいですか。（○はひとつ）

	希望の有無
現在のままでよい	237
希望がある	31
無回答	1
	269

問 15（幼稚園・保育所）平日に定期的に幼稚園や保育所等を利用されている主な理由は何ですか。（○はひとつ）

	実数	割合(%)
子どもの教育や発達のため	46	17.1
保護者が現在就労しているため	210	78.1
保護者が求職中のため	4	1.5
保護者が家族・親族等を介護しているため	0	0.0
保護者に病気や障がいがあるため	1	0.4
その為	2	0.7
無回答	2	0.7
無効回答	4	1.5
	269	100.0

問 16（幼稚園・保育所）現在、定期的に利用されている幼稚園・保育所等のお名前をお書きください

施設名（ ）

問 17（幼稚園・保育所）現在、定期的に利用されている幼稚園・保育所等の満足度をそれぞれ5段階で評価し、該当する項目に○をご記入ください。

	施設長・施設の方針	保育時間	保護者からの相談に対する対応	施設の清潔さ	施設の安全性	遊具の量と質
さざなみ	4.7	4.7	4.7	4.7	4.4	4.2
佐々第二	4.6	4.6	4.4	4.5	4.2	3.9
佐々神田	4.4	4.7	4.3	4.2	4.0	3.8
佐々青い実	3.7	4.2	3.7	4.2	4.0	3.8
その他(不明 13)	4.4	4.5	4.4	4.3	4.2	4.1

	行事の量と質	保育士の子どもへの接し方	保育者の数	保護者への連絡	総合評価	回答者数
さざなみ	4.6	4.8	4.8	4.8	4.7	30
佐々第二	4.3	4.4	4.2	4.3	4.3	38
佐々神田	4.3	4.3	4.3	3.9	4.3	43
佐々青い実	3.9	3.7	3.7	3.5	3.7	98
その他(不明 13)	4.2	4.4	4.3	4.2	4.4	60
						269

問 18（幼稚園・保育所）問 17 において、特に高く評価された項目または、特に低く評価された項目があれば、その理由をご記入下さい。

低く評価された項目理由

○漢字習得は早い気がする

○保育園玄関先の交通の安全面（送迎時）

○初めて園の様子を見た際に（転園してきて入園式に参加した際）とても驚きました。整列して会場へ向かう園児が前の子の上着の裾を握られ歩いていて、前通っていた園ではありえない光景でした。（転んだ場合、首が締まる危険はないのか、大人と同じで子どもにも人権はないのかと思った）又、登園やお迎えの際など、園児を叱っている言葉や口調等が教育者としてでは無く、ただの近所の人が怒っている印象で子どもを預けるにあたって不安。何故してはいけないのか感情で表わすのではなく、してはいけない理由をキチンと説明してほしい。（数回、幼稚園児が叱られているのを聞いていました）

○病後児保育・長時間保育など保護者のニーズに応じているように感じられるが、実際は就労で預けていても保育時間が長いと良い顔されないし、病後児保育を利用したくても受け入れてもらえる状態があまりで結局仕事を休まなければならない、利用できない。要望をしてもすぐその場で断られる。姉妹園があり、やり方の統一があるのか、地域のニーズに応じてというよりもうちのやり方という方針が強い。休日保育もあるが、4名集まらなないと利用できず、必要としている時に利用できないので、利便性はない。建物は新しいが、3階建てで小さい子どもが階段で移動している様子に危険を感じた。

○駐車場がない

○子供の人数が多いため一人ひとりに対するケアが行き届いていないと感じる。職員数も多いため、いい職員もいるが、適切な対応ができていない職員もあり、全体として保育の質にばらつきがある。

○保育時間が短い。駐車場が少ない。運動場が狭い。

○園庭が狭い

○行事は先生方に任せすぎている気がします。仕事をしているので助かりますが、もう少し保護者も参加させた方が、先生方の負担を減らせると思います。

○質問したいことがあっても聞く機会やタイミングがない。意見箱が設置されていないか、誰も通らない場所においてある。質問したくても園長先生に会ったことがない。先生に質問しても先生自身が理解していないことがある。

○子どもの怪我が多い。先生の何人かが不愛想。

○駐車場が狭すぎる

○良い先生ばかりですが、1人だけ子どもの扱いが雑な方がいたため。急に手を強く引く、子どもの頭ががくんとなるくらい雑に抱き上げる等。

○建物が古い為。駐車場が少なく狭い。

連絡ボードでしかほとんど連絡事項を伝えることがなく、保育者と保護者のコミュニケーションがとりづらい。連絡していたのに、担任には伝わっていないことがあった。遊びの内容など1日にあったことなどが分からない。おたより長が年長児までであるといいのにと思う。

○私が職を変えれば済む話なのでしょうが、朝から職場までの道のり、時間帯、ものすごく混んでいて、7:30に預けてもぎりぎりかもしくは遅刻してしまう。職を変えるのも難しいので15分でも早くしてもらえると助かります。

○駐車場の狭さ（職員と保護者用が一緒）。雨の日の送迎時、屋根がない若しくは雨漏りがある。運動場が人数に対し、せまい。

○2歳児のクラスは先生方も4~5人おられ、その日によって違う方が対応されるのですが、人によって「今日は外でたくさん遊んでいました」等の声掛けをしてくださる先生もいれば「はい、さよならしましょう」と素気ない対応をされる先生もいます。

○0歳児クラスは保育士の数は多いが年少クラスは人手が足りていない感じがする。担任の先生はベテランでいいが、フリーの先生を入れる等して分かっていない子どもへの対応をしてほしい。

○園バスが16時台までしかない。それ以上に長く預けるなら園まで保護者が送迎しなければならない。

○遊具が少ない。古い。

○園児が多く、行事ではたくさんの保護者もいる為、満足に見ることができない。低月児、高月児分けてもらえると分散されて良いかと思う。今日一日どんな様子だったか一言でもいいので伝えてほしい。さようならの一言で帰ることが多い。

○駐車場がない。園庭が狭い。山や川がすぐ近くの為、台風など災害時が心配。

○機嫌によって態度が全く違う保育士がいる。預ける時、迎えに行く時、その先生にあたらないかヒヤヒヤする。

○保育園の就園時間を早くからにしてほしい。

○佐々幼稚園の時の対応がよかったので比べてしまう。行事や保育内容など、のびのびした環境で育てたかったが本人にはあまりあっていないようだ。

○職員の数が多く、担任の先生に伝わっていないことがある。子どもが遊ぶ時間が少ないと言っていた。

○先生がたの態度が悪い。連絡、伝達事項などがとても悪い。毎日利用しているにも関わらずクリスマス会の日時、出席を聞いていなかったの、仕事なのにも関わらず、帰ってくださいと言われた。学童はとも不満。

○必要物品など手紙では知らせてくれるが、口頭で伝えてくれると助かります。

○施設の安全性について、駐車場の狭さと夕方（冬）の暗さが気になります。

○子どもの事についてじっくり話したいと思っても、先生が忙しそうで時間が取れない時がある。

○保護者への連絡が以前より少なくなった。

- 毎週決まった曜日に体操服がいる場合があるが、仕事をしていると曜日を忘れてしまったりする場合があります、結果忘れてしまう。ということがよくあります。他にも自分だけ連絡されていないことがあったりすることもありました。
- 施設の安全性。道路が狭く、その上、児童数に対しての駐車場がない。送迎時間が重なってしまうと大変危険です。先生方は近隣に駐車している為、そのスペースを使用できればいいのですが。
- 園児が多い割に施設が狭い。（各部屋、駐車場）お遊戯会も狭い園内で行なっているので、もっと広い場所で行えないか。先生方ももっと広い場所でしたいと努力している。
- 運動場の遊具が少し古い気がする。
- 年末年始の利用を園の都合で遠回しに自宅保育できたらお願いしますなどいわれ、土曜日にも仕事があるのにそのようなこと言われたら、預けにくくなってしまう。保育士の知人またはその子どもに対しては必要以上に会話をしているのが目立つし、臆病があるのではないかなと思ってしまう。
- 4歳児クラスよりお昼寝がなくなるので、本人が夕方眠気等でイライラしたり良くない印象があるが、そのことをいっても施設の方針なので・・・といった感じであまり対応してくれない。昔からの行事が多すぎ、やることも多すぎて完成度が低いのでどうなのかなと思う。
- 協力をお願いしたところ、忘れられていた。
- 保育士の対応は人により個人差があるので普通という評価に○しました。友達とぶつかり、子どものけががあったため、安全性も普通です。
- 先生達の中で連絡が行き渡っていない。重要なことの説明を詳しくしてもらいたい。認定こども園になってから熱心さなくなった。
- 両親共「幼稚園の間はたくさん遊んで欲しい」という考えの中で、当幼稚園はたくさんの遊びを取り入れ、たくさん経験をさせてくれます。
- 親子で参加できる行事が増えたらいい。親子参観を作って欲しい。普段の子ども達を見たい。
- 園庭が狭いから。
- 運動場が狭く感じるので
- 町立が一つになったときに若い先生がいけないという印象がある。キャリアを積んだ先生で安心はできるがバランスが悪い。この時期からお迎えの時に、子どもの1日の様子をあまり伝えてもらえなくなった。また保育士の数が足りていないのか、行き届いたという部分には物足りなさを感じる。限られた人数の中では十分やっただいているので現状仕方ないとも理解している。でも教育にもっとお金をかけるべきでは無いでしょうか。
- 遊具がない、園庭が狭い。
- 保育参観等の行事がすくない。駐車場が少ない。歩道が整備されていない。
- 給食の好き嫌いに厳しいこと自体は良いが、えづいて吐きそうになったものを口の中に押し戻すや子どもへの暴言など気になる点があり、相談したが、うちの方針で完食させるのは変えられないと。子どものからかい、いじめに繋がっている。先生の暴言の真似を他の子どもたちがして、からかわれたりした時期があった。誉めることをせず叱るばかりで子どもの意欲を無くし、保育園を嫌いな様子。いいところを見つける努力も感じられない。先生の都合主義の保育園に感じられる。
- 駐車場が遠く、園の前がすぐ道路で危ない場合がある。
- 子供の状態が悪くなったときに、すぐに状況を詳しく話してくれなかった。保育園のNSが対応しているのに、そのNSからの説明はなく、担任からの説明のみだった。
- 園バスを利用しているが、数人だけ態度があまり良くないと思う先生がいらっしゃる。
- 先生によってその日にあったことをちゃんと教えてくれたり、してくれなかったりです。
- 保護者参加の行事が多く、休みを取るため仕事の調整に苦労する。

○園児の人数が多すぎて運動会などの全体の行事が疲れる。我が子が見えにくい。風邪や感染症ももらいやすい。

○保護者目線では無い。

○施設が古くなっているため。駐車場が特に狭く、危険だと思う。子どもが多いのに保育者が少ないように思う。

○英語や漢字など教育も良いと思うけど、その前に挨拶や言葉遣いなども教えてほしいと思います。

○開園時間を早めてもらわないと会社に間に合わない。6時50分にはあけてほしい。祝日も仕事なので、祝日も営業してほしい。

○高く評価しているし方針なども理解しているのですが、0歳から小さい子ももっともっと外で遊ばせてほしい気持ちがある。お散歩にももっともっといかせてほしいし、リズムの運動もさせてほしいと願っている。

○施設の安全性に関しては、送迎時、駐車場がないため道路に止めるが、車の通行があるため気をつけなければいけないところ。

○園庭が狭いので遊具が少ない。

○小さなことですが、間違って他の子のものが入っていることがよくある。

○9時から13時までの保育の時間が短い。娘が身体障害者で移動などに手がかかり、人材不足のため9時20分以降の預かりをお願いしたいと言われた

○保育士の数が少ないと言われ、小さいクラスの人数が増えてきたため、年の12月から1つ上のクラスに移動になりました。

○お迎えの時間がなかなか早い時間に行けないので

○園児の人数に対し先生の人数が少ないように感じる。口調がきつい先生もいるため、ゆとりがないのではと思ってしまう。笑顔のない先生もいる。

高く評価された項目理由

○色々な行事があり、子供も楽しそう

○行事など行きだしたばかりで、どんな行事なのか分からない時、詳しく教えて下さる。子供の病気だったり、怪我した時、その時の状態など詳しく教えて下さったり、あやまったりしてくれる。

○成長著しい幼児期に保育時間を有効に無駄なく効率的に使い、保育してくれている。職員の人数も多く、それぞれが役割以上の仕事をされていて、先生方全員で子どもたちの成長に関わり育ててくださっているのが伝わってくる。子供が幼稚園を大好きで入園からの成長がたくさん見れている。

○保育園での行事、習い後。園児の人数。保育士さん達の信頼。園の設備。

先生方がとても親切で子どものことをちゃんと見てくれるので助かります。行事ごとにもたくさんあり、子どもも親も楽しめているのでいいです。

○母子家庭のため、土曜日でも保育をお願いすることもあり、長時間預けさせていただき、助かっています。行事ごとに工作をし、楽しんでいる様子が見えるため、嬉しく思っています。なかなか家で一緒に過ごすことが難しいので有難いです。

○子どもが楽しく通っている

○いろんな行事を組んでいただいて子どもたちも貴重な経験をさせていただいたこと

○①子どもたちのことをよく考え思った方針である。②フルで働く人間としてはありがたい。③諸先生方は親に寄り添った保育をしてくれる。④様々な伝染病が広がりにくい。⑤年齢に合わせた遊びができる。

⑥様々なカリキュラムがあり、親子参加できるものは豊富。

○勤務時間の都合上、この園にしか預けられなかった。保育内容では選ぶことができない。シフト上、遅く迎えにあることがあるため、残業になったときも安心して仕事ができる。出産後も変わらずフルタイムで続けられる。

○兄の方もお世話になっておりましたが、不満は特にありません。他の保育園に比べて、保護者に負担がかかることが少なく、フルタイムで働いている親としましては本当に助かっています。

○教育方針

○食育、保育士の数

○0歳の時からお世話になっていますが、どの先生も優しく、子どももとても楽しそうに過ごしています。

○現在の保育の状態に満足しています。保育園の先生方が丁寧に接して下さるのでありがたいです。

○子供が日々楽しそうに話してくれるから。

○保育士がとにかくよい。ここ以外の保育園には預けたくない。

○どういう風に遊んだか一日一日教えてくれ、保育士さんのほとんどが名前を呼んでくれる。一つ一つのことのできる喜びを増やしてくれ、親子ともに成長を促してもらっています。

○速い時間から預かってもらえるので通勤時間が長い私にとってはありがたいです。新しい園舎で広く、設備もしっかりしているので安心です。

○子ども同士のことで相談したらすぐに対応してくれました。その後を気にしていただいて安心でした。

○子どものことをよく見てくれ、教えてくれる。事務的な対応ではなく、子どももすぐに慣れる環境で安心して預けられるため。

○子どもの様子などよく見てくださるので嬉しい。

○通常朝の受け入れ時間が7:00～のところが多いが、佐々神田保育園は6:45～となっているため、大変助かっている。

○総合的に満足しているため。

○0歳の頃から利用しているが、途中体の発育の問題が分かった際、すぐに対応を考えてくださり、発育に合わせて施設も使い勝手のいいように改良して下さった。何か心配事があるといつでも相談にのってくれ、連絡も細やかで、この保育園にお世話になることができて本当によかったといつも思っています。

○先生たちの指導力、人柄。行事もよくしてくださる。教育についてもしっかり教えてくれる。

○一人ひとりの子どもをよく見てくれている。子どものその日の様子を教えてくれる。おたよりが楽しみ。

○6:50から預かってくれるので助かる。年中から英語やいむらがある。

○保育者によっては子どものことをよく見てくれて、子どもの話をよくしてくれる。英語や漢字、数字など他園ではなかなかないような学習もあり、子どももスムーズに学習に興味を持ってくれた。

○子ども自身が先生を母と間違えるぐらいに落ちつける場所。親も安心して仕事に行くことができます。

○他の保育園・幼稚園と比べると行事が少ないかもしれませんが。でも1つ1つの行事をととても大切にしてい、運動会やお遊戯会等のクオリティが高いと感じます。園児も目標に向かって保育士とともに努力して、そして楽しんでます。その成果が見えてよくわかるので、良い幼稚園だと思います。

○園児が他園に比べてすくないが、保育士数は他園とあまり変わらないので一人ひとりに目が届いている。食育に力を入れて新メニューも多い。

○園児が多いので園庭も広く、施設も2つあっていい。

○保育士の数が多い分、子どもたちにも目が行き届いているのかなと思う。

○先生たちがとてもやさしい。

- 園の雰囲気が良い。先生方の対応もよく話しやすい。色々と講座を開いたり、熱心にイベントを行われている。先生方が研修会等によく参加されている。少人数で1人ひとりに目が行き届いているように思う。
- 子どもが楽しく通っているので、左記以外は問題ありません。
- 施設の清潔さ、安全性があり、安心して預けることができる。
- 保育所の建て替え中ですが、小学校などいろんな場所で体を動かせるよう配慮されていたり、漢字、英語、体育教室などいろいろなことに力を入れておられ、行事も子ども保護者が一緒になって、楽しんで参加できるようにされていて、とても満足しています。子どもの数が少なくなったので先生の数も減って大変そうだなと思います。
- 先生方が丁寧に対応してくれるから。
- 朝早くから夕方ぎりぎりまでみてくれる
- 色々なことに取り組まれていて楽しそう。
- 仕事に行く時間に間に合える登園時間になった。
- 保護者からの相談に対する対応について、先生方に相談しやすい環境で、相談についても一緒に考え、適切な答えをくださります。
- 園児全員に対してよく目が行き届いている。連絡帳により細かく連絡が取り合える。子どもが楽しみにして幼稚園に行く。多すぎず、少なすぎず、ちょうどいい。子どもからこの先生は嫌だとか聞くことがない。以上のことから非常に満足度が高い。子どもも休みたいということが一度もない。
- 怪我をしたとしても施設が悪い訳ではない為。清掃や消毒を頑張っているのではないと思う。
- 母子家庭でなかなか教育が行き届かないところがありますが、先生たちにしっかりと教えていただいてとても感謝しています。
- 0歳からの漢字保育など、取り入れてる点は良い。漢字や俳句、四字熟語など、なんとなくでも毎日行うことによって頭に入ってきている。集中力が高まる。
- スタッフの方の対応がとても良い。子ども、親共に安心して預けられる。対応してくれる時間にもじゅうぶん満足している。
- とても良いです。子どもの様子も連絡ノートに詳しく記入してくれます。
- 建て替えたばかりなので、綺麗ではあるが、お迎えの時間が他の親と重なると駐車するところがない。
- 本当に先生方には成長のお手伝いをいただいています。朝早くいから夜遅くまで感謝です。
- 比較的自由に何でも子どもにさせるので、のびのび育っているように思う。
- 以前より早く預けることができるようになった
- 民営化に伴い、施設も新しくなり、設備、環境は良くなった。行事等も子ども達が楽しめるように考えられている。教育は以前より熱心な反面、本当に今の時期にそこまでの教育が必要なのか疑問に思う節もある。(漢字など)
- 安心して毎日預けられて職場へ行けます。
- 相談事をするすると親切に応援していただけます。いろんな問題が年々変化、改善していると思います。
- いつもきれいにされており、気持ちがいいです。笑顔で対応してもらえるので、相談もしやすいです。保育時間も今は特に不自由していませんが、フルタイムになって早出、遅出がある所だと場所によってはバタバタするかなと行った感じです。
- 皆瀬幼稚園は日頃から体操や学習等にも積極的で子どもも楽しそうに通園しています。先生方も熱心で何か質問をした時も丁寧にスムーズに対応してくださり、安心して子どもを預けています。
- 保育時間は以前通園していた保育園は6時以降は延長料金がかかっていたので19時まで見ていただけるのはとても助かります。
- 漢字教育がある。園庭が広い。

- 行事については月ごとに工夫した行事を熱心に取り組んでくださるから。
- ECC、漢字保育、いむら体操教室
- 子ども達の担任の先生が本当に素晴らしい。
- 保育士数は多いと思う。
- 全てにおいてとても満足している。
- 皆瀬幼稚園は全体的にとっても素晴らしく、いうことがありません。保育時間がもう少し長かったらいいのという希望だけで、他の保護者もそうだと思いますが、言うことがないくらい全てにおいてしっかりされています。子ども達も楽しく通いますし、園で勉強、体操、遊びを学んでくるのでうちで教えることはありませんし、他の小学生よりしっかりしていたり、勉強、マナー、教養がしっかり身についています。
- 1日のできごと、今日は何をしてどんなことができるようになったか、体調その日の機嫌など、当たり前だけできちんと毎日伝えてもらって、保護者からすると、今日1日どうだったのか迎えに行くまでわかりません。第二さんはそこがきちんとなっていて、安心して預けることができます。対応も丁寧で親身になって相談も聞いてもらっています。
- 漢字の教育やECCなどの文化的教育だけでなくいむら体操教室も受講できありがたい。漢字の授業のために保育士の先生方もかなり時間を割いて努力されていると思う（教材づくりなど）
- それほど園児数も多くなく、友達づくりに丁度良い。先生の対応もよく保護者にも声をかけてもらって話しやすい。4人とも通園したけれど、特に不満もなく安心して任せられる。
- 先生方がとても優しく、いつも良くしていただいている。
- 幼児教育がはっきりしていて、認定こども園にしていない所が1番良いと思う。幼稚園と保育施設は全く違うのに、こども園にすることが理解できない。
- 保育士さんが丁寧で安心できる。
- 安心して子どもを預けられます。
- 赤ちゃん遊び時から、漢字遊びなどに力を入れているから
- 子供を主体とした日々の保育がとても共感でき、子供たち一人一人がのびのびと生活している。発表会も子供が考え、それを伝えるというとても良い内容だった。
- 15時までに迎えに行けば預かりにならないので助かっている。
- 漢字教育、英語教育、体操教室など子供の様々な学びを提供してくれているところが気に入ってます。
- 先生方からトイレトレーニングの進め方など提案してくださり、初めての子育てでわからないこともスムーズに解決できている。不安に思ったことを相談させて頂いたときも親身になって細かく答えて頂きありがたかった。
- 転入前に利用していた保育園は、延長保育の利用が月単位で、閉園時間も早く働きにくかったですが、現在は大変満足しており時間に余裕があり助かっています。
- 特に問題なく子供が楽しんでいるから。
- 漢字教育がある所
- 年々より良く改善しようと言う園の方針通り、子供にも親にも良い園になっていると思います。
- 先生方が大変良い。面談が年に1回あり、個別に相談がしやすい。園児各々到大変目を届かせてくださる。
- 朝早くから延長に20時まででは預かってもらえるので残業が多い私たちには大変助かります。先生方もとても優しく子供も毎日保育園が楽しそうです。
- 教育の内容
- 一人ひとりの園児に対し、先生たちみんな良く接してくれているのが分かる。園児数が少ないが、そのようなところが良いし、食育にとっても力を入れてくれていると思う。学びの部分でもいろいろな機会を持

たせてくれ、毎回楽しみにしている。子ども自身が楽しいと言ってくれているので、本当に楽しいんだろうなと感じる。

○漢字保育など子供の能力を引き出す教育の取り組みがあつてよいと思うから。

子どもが安心して通っているため。

○先生方のアイディアや衣装づくりなどがすばらしい。

○新築の園舎もあり、きれいである。保護者の負担が少ないが行事もとてもすばらしい。

○以前は3ヶ月ほど佐々内にある保育園に行っていたが、現在の保育園は、以前と比べて先生方が子供とよく接してくれている。以前のところは、迎えに行くと、子供たちとは遊ばず先生同士で固まって談笑していたりと、他にも多々疑問に思う点が多かった。比較した上で満足度がかなり大きいので、現在の保育園を高く評価している。

○子供が保育園に登園する様子や成長ぶりをみると、入園させてよかったと思っております。

○目標や目的をしっかり明確にし、遊びを中心に子供の自主性を大切にして教育を行っているから。保護者のことも大事に考えてくれているから。先生方も研修を受け、子供を第一に考えて接してくれているので。

○保育園ではよくしていただいて、教育方針の賛同している。先生方からも子供の心配事を相談した際も子どもにどのような子育てがあっているかなど親身になってくださるから。

○施設設備や子どもの生活する環境への配慮が感じられ、安心して預けられる。園の規模、児童数が理想通りであるから。先生方がクラスの枠を超えて、全ての児童に関わる様子が見られるから。

○先生方が優しく、良く相談にも乗ってくださる。

○たくさんの子供が頑張っている姿が見れる。キャンプや普段あんまり体験できないことをさせてくれる行事の量と質が良い。

○全く希望通りのため

○0歳時から漢字の勉強があり、0歳時でもわかりやすく教えていた。

○利用しやすい時間。お誕生日会など大人が見ていても楽しいと感じる行事がある。

○新校舎でホールや教室が広くいつもきれいに掃除されている。エレベーターがついているので障害者のことをよく考えてくれている。

○施設や教育はしっかりしていると思ったので

○漢字、英語、スポーツなど外部コーチの方の指導もあり、良いと思う。

○漢字保育をずっと小さい頃から学ばせているから。



すべての方にうかがいます。平日の教育・保育について

問 19（幼稚園・保育所）現在、利用している利用していないにかかわらず、
宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として定期的に利用したい
ものをお答えください。（該当するものすべてに○）

	実数	割合(%)
認定こども園	116	43.1
保育所	147	54.6
幼稚園	42	15.6
幼稚園の預かり保育	26	9.7
小規模な保育施設	6	2.2
家庭保育	4	1.5
事業所内保育施設	15	5.6
居宅訪問型保育	8	3.0
ファミリーサポートセンター	14	5.2
その他	0	0.0
定期的に利用する必要はない	3	1.1
N=269		

問 20（幼稚園・保育所）教育・保育事業を利用したい場所についてお答え
ください。（○はひとつ）

	実数	割合(%)
佐々町	248	92.2
他の市町	17	6.3
無回答	4	1.5
N=269	269	100.0

すべての方にうかがいます。お子さんの土曜日・日曜日・祝日の定
期的な教育・保育について

問 21（幼稚園・保育所）宛名のお子さんについて、土曜日・日曜日・祝日
に、幼稚園・保育所等の利用希望はありますか。（○はひとつ）
（一時的な利用は除きます）

	土曜日		日曜日・祝日	
	実数	割合(%)	実数	割合(%)
利用する必要はない	52	19.3	182	67.7
ほぼ毎週利用したい	107	39.8	6	2.2
月に1～2回は利用したい	101	37.5	61	22.7
無回答	9	3.3	20	7.4
計	269	100.0	269	100.0

問 22（幼稚園・保育所）土曜日・日曜日・祝日に「ほぼ毎週利用したい」「月に 1～2 回は利用したい」に ○をつけた方の、その利用したい理由は何ですか。（該当するものすべてに○）

	実数	割合 (%)
仕事が入るため	159	79.5
平日にすませられない用事をまとめて済ませるため	78	39.0
親族の介護や手伝いが必要なため	7	3.5
息抜きのため	44	22.0
その他	17	8.5
N=200		

すべての方にうかがいます。お子さんの病気の際の対応について
問 23（幼稚園・保育所）この 1 年間に宛名のお子さんが病気やケガで幼稚園や保育所等を利用できなかったことはありましたか。（○はひとつ）

	実数	割合 (%)
あった	234	87.0
なかった	34	12.6
無回答	1	0.4
計	269	100.0

問 24（幼稚園・保育所）普段利用している幼稚園・保育所等が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法をお答えください。（該当するものすべてに○）

	実数	割合 (%)
父親が仕事を休んだ	61	26.0
母親が仕事を休んだ	202	86.0
親族・知人に子どもをみてもらった	103	43.8
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	26	11.1
病児、病後児の保育を利用した	18	7.7
ベビーシッターを利用した	1	0.4
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	4	1.7
その他	5	2.1
無回答	34	14.5
N=269		

問 25（幼稚園・保育所）お子さんが病気の際、できれば病児・病後児を預かる保育施設等を利用したいと思いますか。

（該当するものすべてに○）

	実数	割合（％）
幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業	116	43.1
小児科に併設した施設で子どもを預かる事業	91	33.8
地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（ファミリーサポートセンター等）	12	4.5
その他	2	0.7
無回答	119	44.2
N=269		

年間利用したい日数（平均） 8.4 日

問 25-2（幼稚園・保育所）利用したいと思わない方にうかがいます。

その理由は何ですか。（該当するものすべてに○）※集計無回答除く

	実数	割合（％）
病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	38	33.6
地域の事業の質に不安がある	1	0.9
地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない	1	0.9
利用料がかかる・高い	14	12.4
親が仕事を休んで対応する	52	46.0
その他	7	6.2
N=113		

すべての方にうかがいます。一時預かり等の利用について

問 26（幼稚園・保育所）私用、親の通院、就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。該当する項目に○をつけ、おおよその日数をご記入ください。

	実数	割合（％）
一時預かり	19	7.1
通常の時間を越えた幼稚園の預かり保育	28	10.4
ベビーシッター（不定期利用に限る）	8	3.0
その他	5	1.9
利用していない	236	87.7
N=269		

問 27（幼稚園・保育所）私用(買い物、習い事、スポーツ、美容院など)や冠婚葬祭、病気、就労などの目的で、一時預かり事業等を利用したいと思いますか。

該当する項目に○をつけ、おおよその日数をご記入ください。

	実数	割合(%)
私用、リフレッシュ目的で	58	21.6
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等で	26	9.7
不定期の就労で利用したい	12	4.5
その他の目的で	5	1.9
利用したいとは思わない	158	58.7
無回答	10	3.7
計	269	100

問 28（幼稚園・保育所）この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらったことはありましたか。該当する項目に○をつけ、おおよその泊数をご記入下さい。

	実数	割合(%)
親族・知人にみてもらった	51	19.0
保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用	1	0.4
仕方なく子どもを同行させた	2	0.7
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	0.4
その他	1	0.4
利用していない	210	78.1
無回答	3	1.1
計	269	100.0



幼稚園の利用者のみにうかがいます。夏休み冬休み期間中の利用について

問 29（幼稚園・保育所）宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の幼稚園・認定こども園の利用を希望しますか。
（○はひとつ）

	実数	割合(%)
利用する必要はない	35	13.0
休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	26	9.7
休みの期間中、週に数日利用したい	24	8.9
無回答	184	68.4
	269	100.0

問 30（幼稚園・保育所）利用したい理由はなんですか。
（該当するものすべてに○）

	実数	割合(%)
仕事が入る	41	15.2
家事等の用事をまとめて済ませたい	10	3.7
親族の介護や手伝いが必要	1	0.4
息抜きのため	5	1.9
その他	5	1.9
無回答	220	81.8
N=269		

宛名のお子さんが 5 歳以上である方にうかがいます。小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 35（幼稚園・保育所）宛名のお子さんが小学校低学年、高学年になったときに、放課後（平日の小学校 終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。該当する番号すべてに○をつけ、希望する週当たり日数をご記入ください。

	低学年		高学年	
	実数	割合(%)	実数	割合(%)
自宅	36	13.4	42	15.6
祖父母宅や友人・知人宅	8	3.0	9	3.3
習い事(ピアノ教室、サッカークラブなど)	16	5.9	25	9.3
学習塾	7	2.6	8	3.0
放課後児童クラブ(学童保育)	64	23.8	26	9.7
その他(公民館、公園など)	0	0.0	0	0.0
無回答	172	63.9	199	74.0
N=269				

問 36（幼稚園・保育所）宛名のお子さんについて、小学校低学年、高学年になったときに、土曜日・日曜日・祝日・夏休み冬休みにおける放課後児童クラブ（学童保育）の利用についてうかがいます。利用したい時間帯をご記入ください。（低・高学年いずれも○はひとつ）

	土曜日		日曜日・祝日		夏休み冬休み	
	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年	高学年
利用したい	51	26	15	7	74	38
利用する必要はない	52	56	86	73	27	43
無回答	166	187	168	189	168	188
計	269	269	269	269	269	269
	土曜日		日曜日・祝日		夏休み冬休み	
	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年	高学年
利用したい	19.0	9.7	5.6	2.6	27.5	14.1
利用する必要はない	19.3	20.8	32.0	27.1	10.0	16.0
無回答	61.7	69.5	62.5	70.3	62.5	69.9
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

問 46（幼稚園・保育所）最後に、教育・保育事業の充実など子育て支援の環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

○学童施設を増やしてほしい。

○私のような父母が近くにおらず、頼る人がいない場合、子どもが病気をした際が一番大変だと思っています。

○子育て世帯に住宅補助などがあるといいと思う。（少しでも）広い部屋となると家賃が高くなり、現実的に厳しい。町営住宅などもっと増やしてほしい。

○安全性について、最近、近所で犯罪が起きているので、一日でも早く解決していただきたいこと。子どもたちを近所の公園で遊ばせられない。夜になり、暗くて怖い道路があるので、少しでもいいので外灯をつけていただきたい。教育面では、いじめなどのトラブルは親にとって敏感になってしまうので、学校、教育委員会、行政と連携をとってトラブルが発生したらすぐに対応をとって、子どもたちが安心して、楽しんで通える学校にしていきたい。行政側もいろんな苦情を抱えて大変かとは思いますが、佐々町で子育てをしてよかったと保護者が口をそろえて言えるような街づくりに取り組んでほしいです。今後のご活躍に期待します。

○町内に四つの園があるが、交流がなくて残念。就学前など地域の子どもたちが交流して小学校で再開できるような機会があるといいと思う。近所に住んでいても別々の園に通っている子も多いので、交流会と一緒に過ごせるのは子どもたちにとっては嬉しい体験になると思う。親子=地域とのコミュニケーションにもつながると思う。

○佐々町の子育てのしやすさは前々から感じておりました。今のまま多くは望みませんが、殺人予告、声かけ事例など子どもに対する不安なことも起きていますので、防犯面は行政だけに任せず、私たち保護者も取り組んでいけたらと思います。

○学童の質が悪い。抜き打ちで見に行くべきだ。おやつ、軽食、夏休みなど長期休みは弁当でなく給食が良い。開始時間、締まる時間の見直し、幼稚園が母体との差が激しい。

○子ども一人以上インフルエンザに罹った時、予防投与として家族分保険適応で抗インフルエンザ薬を出してほしい。退職後の教師へ呼びかけていただき、無償とは言わないので、安価で放課後の塾みたいなものを町で運営してほしい。保育園の先生方にはとても良くしていただいています。共働きで成り立っているのは保育園のおかげです。なので、先生方に長く続けていただけるようお給料や保障等の充実をお願いします。

○現在夫婦ともにフルタイムで就労しており、子供を保育園に通わせておりますが、子供が小学生に入ってから学童保育に関して不安があります。できればこのまま仕事を続けていきたいので、小学生になってからも保育園と同様のサービスが受けられたらと思っています。

○保育料を2人目以降無料にしてほしい。西海市や松浦市はそうなので羨ましい。

○学童を利用したいのですが、就業時間が短いので利用できません。就学前の1週間（入学式前日）ぐらいまで、一時的に利用できるような場所やサービスなどはないのでしょうか。子供だけで自宅で留守番させるには不安があります。どこに相談したらいいかもよくわかりません。近所の知人や祖父母は少し遠いところにいるので毎日頼むわけにもいかず、現在、一番心配し、悩んでいるところです。

○屋内で遊べる施設があったら嬉しいです。子どもが大きくなった時、佐世保まで行かなくてもいいように商業施設を増やしてほしいです。中学生になった時に自転車を考えているのですが、歩道も人が通っているのが危険です。道路も交通量が多くて危ないので、自転車用の道路があると安心です。今の小中学生の登下校を見ていると、危ないと思うことが多々あるので、歩道をもう少し広くしてもらえたら嬉しいです。（特に佐々小前の横断歩道は狭いように思えます）

○以前住んでいた三重県に比べ、子育て支援がとても手厚く感謝しております。上の子の参観日に下の子の保育がお願いできたり、このようなアンケートがあること自体に佐々町の努力を感じます。アンケートの内容には厳しいことを書いてしまいましたが、佐々町ならば自分の不満や意見が行政に反映されるという希望が持てるからこそです。ご容赦くださいませ。最近子どもへの虐待などのニュースにとっても心が痛みます。あんなことがせめて佐々町では起こらないように行政のご支援をよろしくお願い致します。

○幼児無料化が実施された場合、2人目、3人目の半額、全額の免除制度は継続になるのでしょうか。無償化になってもその制度がないと逆に今よりも費用負担が大きくなってしまうので無償化の意味がない気がしていて逆に不安です。

○屋内の遊び場を増やしてほしいです。雨の日等小学生は困っています。ゲーム、TVは少なめにと学校からの目標で言われていますが、体を動かしたくても場所がなく本当に困ります。遊びに行きたい、けど場所がない。どうにかしてほしいです。オアシスもなくなり、本当に残念です。

○道路が狭かったり道がでこぼこしていたり、歩道のすぐそばを車が走ったりして、危ないと思うことがあります。小さな子は危険です。神田線を清峰高校の生徒が自転車で走っており、すごく危ないです。子どもの通学路はもっと明るく安全に確保して頂ければと思います。

○健診の案内が勤務の都合と合わない時があり、休み希望を取るために早めの案内をしてほしい。できればその年度予定で分かると助かります。

○佐々の町立の3年保育施設を検討してほしい。雨の日でも遊べるような屋内施設があったら便利だと思います。

○土・日・祝のたまにでもいいので、月に何回か子どもを安心して預けられるところを作してほしい。屋内でめいいっぱい動けるところをつくってほしい。

○保育園の開園時間を少しだけでいいので早くしてもらいたい。

○佐々は2年保育なので、3年保育にしてほしい。建て替えのため、途中で幼稚園を変える必要がある。そのため吉井へ行きました。佐々は子どもが多いので、町立の幼稚園がなくなってしまったのが残念です。将来的に3年保育の町立幼稚園ができるといいなと思います。

病後児の定員が少なくて入れない時がある。小学生まで預かってほしい。

○今後小学校に入学した時に、長期休暇中の学童保育の充実をお願いしたい。申込をしても返事が休みに入る直前にしかわからなかったことがあり、できれば早めに返事をしてほしい。

○日、祝日、預かってくれる場所がない。アトム、皆瀬保育園は佐々は受け入れないと言われた。ぶくぶくクラブは何でお金がかかるのですか？他の県はかからないのに。”ありす”を利用したことがあるが、8時に預けたいといったら、嫌な返答をされたり、日曜日で人手が足りないのか、嫌な返答のあと、確認しますと言われる。保育園に入れたので利用することはなくなったが、また利用したいとは思わない。子ども医療費助成が上限1600円は高すぎる。無料のところもあるのに、子どもがたくさんいる家庭は出費が大きい。

もうじき、幼児教育の無償化が始まりますが、正直どう変化するのかわかりにくい。また無償化で保育園が定員割れにならないのか心配しています。より質のいいところに人気が集中してしまいそうです。

○佐々町は子育てに対して熱心に取り組まれているようで有難い。小学校の参観日に託児をしていただけることはとても良い。給食費も無償化の対象になると大変助かります。全額でなくても、小中学校のような感じに。子どもが3人いますので、減額になれば・・・。

○休日、子どもが病気の時に見てくれる親などがない。仕事が休めないとかする時に頼れるところがないのは困る。小さい子どもがいる親は、優先的に休めるような職場ばかりじゃない。それで仕事ができなくなっては子育ても充分でなくなる。保育が無償化されても教育にはお金がかかる。今のところ、佐世保まで休日保育、病児保育を利用しに行っているの、佐々町にあったらいいと思います。

○佐々町の各保育施設「漢字教育」を奨めているところが多いが、小学校に入るとひらがなからと強く言われる。少し漢字に馴染みを得るためとは思うが、一貫性を感じられない部分もある。町として「漢字」に力をいれているのか？はじめは戸惑いを感じるころもあった。佐世保市北部北松地区に近いが、利便性良く住みやすいです。介護予防に力をいれてあり、すごく感心がもてるが、子育て支援もさらに充実すると嬉しく思う。これからも佐世保市に合併しないでほしいと思います。

○大型商業施設を作ってもらい、その中に子どもが遊べる場所。手軽に子どもの物を買える様な大人も子どもも1日中楽しめる様な、そんな佐々町にしてもらいたいです。

○子育て世代への援助が他市町村より充実していると感じており、とても満足しています。出産祝い金があったり、ぶくぶく開催日が多いため。しかしマタニティ期の援助は少なく、一人目妊娠時には辛く感じた。マザークラスも年3回あっているが妊娠時にはタイミングがよくないと、1度しか行けず妊婦同士の交流には繋がっていない。アパート住まいで家賃と一緒に自治会費を支払っているが、広報が届くのみでその他何が行われているのかわからない。自治会名簿も記入して、会長さんに挨拶にも行ったが、その後約2年、一切関わりがなく行事等のお誘いもなく、自治会費を払っている意味がない様に感じている。

○佐々で保育園児を対象としたイベントなどがあればいいと思う（少人数でも）

○休みの日はどこで遊ぶか考えると町外へとなります。休日でも家族で町内でゆっくり過ごせたらいいなと思います。住みやすい、子育てしやすい環境にあるのに、子どもたちが年齢関係なく遊べる場所がなく、少し残念です。

○現在就きたい仕事は基本的に時間も休みも不規則な休みの仕事であるので、転職したいが保育園の預かり状況で制限がかかり十分に仕事ができない。社会の就労状況で土日祝が休みの仕事は地方の土地では探しても少なく、収入も少なくなってしまう。共働きにはいいと思うが、母子家庭のうちではもっと収入が欲しい所。また休みも保育園に預けたいが、昔町立だった為か、私服で預けに行くと休みなのかと聞かれ、嫌な気分になる。出来るだけ休みは休ませようと思っているが、たまには気分転換も必要だったり、子ども連れだと憚れる場所（銀行、役場、学校など）で相談や話を聞きに行く時も子どもを預けたいが、預けにくい状況にある。以前、住んでいた市で預けていた保育所では先生が「いつでも連れておいで！」と心強い言葉が聞かれ、とても預けやすかったです。病後児保育でも併設されていて別に申し込みがい

ったりとめんどくさいので使いづらいです。日曜保育もあるようですが、人数によっては…等と言われると、その日に仕事できます！と上司に言いづらいのでやるかやらないかにして欲しいと思います。

○日・祝は夫が出勤日になっているので、冠婚葬祭など子ども連れで行かなければならず、特にお通夜告別式など相手方に迷惑がかかっている様子で気を使います。一時預かりも平日のみなので土日開設されるか町内でファミリーサポートの利用をさせて欲しいです。

○佐々町に子どもが遊べるスペースが欲しい。佐々周辺に企業等が増え、佐世保市内と平戸、松浦、旧北松地区を結ぶ中心に位置する佐々町は交通アクセスの集中が起きています。特に佐々IC周辺の朝、夕。歩道整備を要望します。子どもが大人になった時、地元に残って仕事ができる環境を少しでもいいので整備していただきたい。（周辺市との連携）若い世代が佐々に住みたい！と思える政策や事業、支援を創造し、大きくPRしていただきたい。

○保育園、小児科をもっと増やして欲しい。佐々町に引っ越してきて、子育て支援は充実していると思った。

○無償化の件で、0歳～2歳は住民税非課税で評価されるのは疑問です。子どもとの時間を削って一生懸命働いています。

○でんでんパークのように子ども達が楽しめる屋内の施設があれば嬉しい。図書館の近くにフリードリンクのあるファミレスのような施設があると、友人などと勉強しながら過ごせる場所ができて、子どもの行動が把握しやすい。

○年齢毎の健診は必要だとは理解するが、

○佐々内で日・祝預かれる仕組みがなく困っています。母→サービス業で土日祝仕事。父→日のみ休み。祝仕事。夏場は月のみ休みで日も仕事です。現状、佐々内の保育園は全てだめ。佐世保市内の保育園も佐世保市民のみOKで佐々町民はだめ。アリスも平日のみ。親に預けられる環境じゃ無いので困っています。現状はハウステンボス保育園に願いのする予定ですが、遠いです。佐々町内で仕組みを整えて欲しいです。

○前ページにも記入しましたが、町内に幼稚園が一つもないのは問題です。年長児の行事の中で、「小学校訪問」というものがありますが、町外に通っている児童は佐々小、口石小へ訪問はせずに幼稚園の近くの小学校へ行きます。小学校へ上がる時も知っているお友達はとても少ないです。青い実の説明会へ行きましたが、幼稚園を希望するものとしては、利用したいとはとても思うことができませんでした。私立でもいいので必要だと思います。

○佐々に規模の大きい室内遊技場を作って欲しい。思い切り遊べる室内公園。ロッククライミング、トランポリン、ロープアクティビティ、エアー遊具、食育手作り体験施設、

○子どもに言葉の発達の遅れがあり、3歳から佐世保の発達センターに通っています。佐々には「言葉の教室」もないので、とても不便を感じています。また発達障害などの心配もあり、一緒に見てもらっていますが、佐々にはそのような相談を受ける方が保健師さんのみで、十分ではないと感じています。発達障害のことを専門的に相談したり、対応してもらえる施設を作って欲しいと思います。必要としている親子はたくさんいると思います。

○小学校は誰でも入りやすく、外から教室が分かるようになっている。不審者情報がここ数年で増えていますが、もう少しどうかならばと思います。先日保育園に清峰の野球部の方が交流に来られました。高校が近いメリットだと思います。ハンド部やメジャーではない部活などの交流もいいなと思います。このような機会が増えると、子どもに関わるこれからの人、少し年の離れたお兄さん、お姉さん、と関わる子ども達、感じる物が変わってくるのではないのでしょうか。

○無償化や保育料が他と比べて安くしていただいているのでは大変助かりますが、無償化に当たって、食の安全は少し気になります。地産地消で住んでいる地域周辺の食材や添加物の少ないものをお願いします。シュタイナーやモンテッソーリ教育を取り入れた保育園や幼稚園があればいいと思います。子ども一人

一人がのびのびと過ごしやすい教育環境になればと思います。学校にいけない子もフリースクールがあったりしてもいいのかなと思います。

○我が子は健常の子よりゆっくりなため、周囲の理解が正しく得られたいが、今後はわからない。共生社会の実現のため「子」ではなく大人達の教育が必要なのではないかと感じる。発達障害や自閉ちゃんも佐々町で変な視線を浴びずに生活できたらいいと思っている。

○今年 10 月～保育料無償化が決定していますが、佐々町は 9 月～しか保育料の金額が変わらないので、せめて 6 月～変更して欲しい。任意の幼児の予防接種を無料化、もしくは半額補助などして欲しい。

○子どもの遊び場を増やして欲しいです。皿山公園をどうにかしてください。

○みんな遊ぶところがでんでんパークくらいしかなく、いつもすごい人で遊びづらい。もっと小規模でいいので、他にも公園を整備して欲しい。福岡にある那珂川市のふれあい子ども館のようなものが佐々町にもできたら親も子どももとっても喜ぶと思います。

○子どもがどんどん増えているのに、保育施設や幼稚園が減っている。もっと子どもが遊べる施設とかも作って欲しい。（室内）天気など曜日に関係なく遊べるし、親同士が知り合うきっかけになる。でんでんパークももっと遊具を増やして欲しい。皿山公園が早く完成したらいいのに。小さな子どもが参加できるイベントをどんどん増やして欲しい。

○屋根つき公園のような雨の日でも体を思いっきり動かしてボールなどで遊べる場所がほしいです。町営の習い事教室施設があったら、佐々町の子供たちの力を多様な面で引き出し、子育て世代が住みたい街にもっともっとなれると思います。転入者が多い町として、佐々町もニュースに掲載されていましたが、子育て世代にやさしい街だと私どもも感じています。今後も頑張ってください。

○一時預かりの「ありす」は本当に助かります。以前、佐世保に住んでいて、どうしても預かってほしい時に保育一覧表をもらい、一時預かりに丸がついている所にたくさん電話をしましたが、すべていろいろ理由付けられて断られたことがありました。自分が病院に行きたいとかで気軽に預けられるところがあると助かるし、逆にないと本当に困ります。「ありす」は良い子育て支援だと思います。

○子育て、教育に対し色々と熱心にされていると思います。不審者事案が早期に終息すればと願ってやみません。

○病後、保育園に預ける際に登園許可書が必要と園から言われたが、どの場合が必要なのか事前に知らないとわからないし、わざわざ病院まで貰いに行かないといけなくなるので事前に知らせてもらえると助かります。特に 1 人目を預ける際は何かもがわからないことなので教えていただきたいです。

○雨の日でも楽しめる、子供のための場所がほしいです。

○小児科も小さく、駐車場も狭くいつもいっぱいです。選択が増えたらありがたいかもしれません。"

○屋内遊具が充実した施設があればいいと思う。諫早のこどもの城のような施設

○通学に 1 時間位かかるので、途中まででもいいので、スクールバス制度があればと思う。冬場は暗いので子供は怖いのではないのでしょうか。イノシシも出るし危険です。夏は温暖化で長時間歩かせるのは、熱中症が心配です。特に下校時間は気温もかなり高くなっていると思います。背の低い子供はもろにアスファルトの熱を受けるのでは…健康の為歩くことは必要ですが暗い中…暑い中…というのが環境が昔とは違うので可愛そうです。"

○保険料が高いと感じているので、0～2 歳児でも無償化になれば少しは負担が減るかなと思います。

○外での遊び場が少ないと感じるのでもっと増えればありがたいです。

○他の父母のひととの交流の場があればいいと思います。"

○病児、病中保育を佐々町には増やしてほしい。

○子供の保育料の無償化されることは嬉しいことです。しかしそれが保育士さんの負担となれば、結果的に子供への影響が心配です。安心して預けることができる教育、保育施設であってほしいと思います。

- 佐々町は住みやすい場所であると思います。大変なこともあると思いますが今だけでなく今後のこと、その他関連する人たちのことを考え対応してほしいと思います。よろしくお願い致します。
- このアンケートは、記名欄はありませんが、誕生日や利用施設、地区等である程度誰の回答かわかると思われるので、記名欄がないことで逆にどのように個人情報が使われるのか、不安になりながら回答しました。育休中の雨天時の子供との過ごし方に悩みました。屋内で自由に遊べる施設の充実を希望します。（図書館はよく活用させていただきました。）
- 小さなうちに、勉強ではなく、体・心・頭をつくるためたくさん遊びをさせたいと思っています。特に運動など体を動かす遊びを。それを通して発達していき、更に動きも発達していくといいなと思います。たくましく元気で生きる力を身につけられる土台作りを大事にしてほしいです。勉強は小学校からでいいと思っていますたくさん動ける場所が外や室内にあれば嬉しいです。また、休日の公園などがあるとありがたいです。子供と一緒に遊びを学ぶ機会もあればありがたいです。
- 預けることに関しては、料金が高いので利用しませんでした。子育てはいろいろとたくさんにお金がかかるのが大変だと思います。病気の時やちょっと見てほしいと少しの時間でももっと子供を預けやすくなれば、うれしいです。"
- インターネットを活用していけるような環境づくりをしていただけるとありがたいです。佐々町 HP も更新率を上げてほしいです。
- 佐々町は乳児・幼児の検診が定期的にあり（他の市町村と比べると多いのではないのでしょうか？）フッ素塗布もしていただけるのでありがたいです。今後も保健事業に力を入れて頂けると嬉しいです。
- 室内の遊び場がほしい。
- 福岡では当たり前ですが、子供の医療費がかかりすぎ。普通は無料で親の負担が大きすぎる。
- 佐世保に「すぎのこ園」という障害児が通うことができる幼稚園がある。佐々町にもこのような園があると平戸市などに住んでいる人たちも利用ができていいのではないかと思う。すぎのこ園は順番待ちでなかなか入園できない（佐世保市住民が優先）、子育て支援センターみたいな未就学児が遊べる場所、気軽に訪れられる場所があればいいかなと思う。佐々青い実幼稚園に娘はお世話になっているが人手不足のため支援が十分に行われていない（園での生活でおむつ、食事などの介助）、小学校に特別支援補助指導員の加配があるようなので幼稚園にも一人加配をお願いしたいです。他にも発達障害のお子様もいるようなので。
- 佐々のスーパー等は、オムツを変える場所が少ない。公園を増やしてほしい。
- 室内の遊び場が欲しい。

③「幼稚園・保育所を利用していない世帯」（家庭保育用）アンケート

問 8（家庭保育）母親・父親それぞれの就労状況をお答えください。
（母親・父親いずれも○はひとつ）

母親	実数	割合(%)
フルタイム(育休中・介護休暇中でない)	5	4.7
フルタイム(育休中・介護休暇中である)	33	30.8
パートタイム・アルバイト(育休・介護休暇中でない)	11	10.3
パートタイム・アルバイト(育休・介護休暇中である)	6	5.6
以前は就労していたが、現在は就労していない	49	45.8
これまで就労したことがない	1	0.9
無回答	2	1.9

	107	100.0
父親	実数	割合(%)
フルタイム(育休中・介護休暇中でない)	100	93.5
フルタイム(育休中・介護休暇中である)	4	3.7
パートタイム・アルバイト(育休・介護休暇中でない)	0	0.0
パートタイム・アルバイト(育休・介護休暇中である)	0	0.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	0	0.0
これまで就労したことがない	0	0.0
無回答	3	2.8
	107	100.0

問 9 (家庭保育) 問 8 で「1」～「4」を選んだ方にうかがいます。週あたりのくらい働きますか。勤務日数と勤務時間、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をご記入ください。

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

母親	人	%		父親	人	%
週 1	1	0.9		週 1	0	0.0
週 2	3	2.8		週 2	0	0.0
週 3	4	3.7		週 3	0	0.0
週 4	1	0.9		週 4	0	0.0
週 5	36	33.6		週 5	51	47.7
週 6	10	9.3		週 6	43	40.2
週 7	0	0.0		週 7	5	4.7
無回答	52	48.6		無回答	8	7.5
	107	100.0			107	100

問 10（家庭保育）今後、どのような就労状況を希望されますか。

（母親・父親いずれも○はひとつ）

※フルタイムは1週5日程度、1日8時間程度の就労

	母親		父親	
	実数	割合(%)	実数	割合(%)
就労しない	8	7.5	5	4.7
これまで通りの就労	42	39.3	96	89.7
フルタイムへの転換(見込みあり)	6	5.6	0	0.0
フルタイムへの転換(見込みなし)	8	7.5	0	0.0
パート・アルバイトへの転換	43	40.2	1	0.9
無回答	0	0.0	5	4.7
	107	100.0	107	100.0

問 11（家庭保育）いつごろの転換を希望しますか。（母親・父親いずれも○はひとつ）

	母親		父親	
	実数	割合(%)	実数	割合(%)
このままでよい	39	36.4	83	77.6
すぐにも勤労状況を変えたい	8	7.5	6	5.6
1年以内に就労状況を変えたい	24	22.4	4	3.7
一番下の子の年齢	29	27.1	1	0.9
無回答	7	6.5	13	12.1
	107	100.0	107	100.0

1 番下の子が平均 4.1 歳 で就労転換を希望

問 12（家庭保育）就労していない方で、就労の希望はあっても、就労していない理由は何ですか。（母親・父親いずれも○はひとつ）

	母親		父親	
	実数	割合(%)	実数	割合(%)
子どもが小さい間は、働かずにいたい	25	51.0	0	0.0
希望する幼稚園、保育所等が利用できない	3	6.1	0	0.0
子育てしながら働くことのできる適当な仕事がない	11	22.4	1	100.0
家族の考え方(親族の理解)等就労する環境が整っていない	1	2.0	0	0.0
その他	9	18.4	0	0.0
	49	100.0	1	100.0

すべての方にうかがいます。平日の教育・保育の希望について

問 13（家庭保育）宛名のお子さんが現在、幼稚園や保育所等を利用していない理由に○をつけてください。（○はひとつ）

	実数	割合(%)
子どもが小さいうちは、自分でみたいため	68	65.4
利用したいが、幼稚園・保育所等に空きがないため	13	12.5
利用したいが、経済的な理由で利用できないため	1	1.0
利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わないため	1	1.0
利用したいと思う幼稚園・保育所等がないため	2	1.9
その他	17	16.3
無回答	2	1.9
	104	100.0

問 14（家庭保育）今後、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として定期的に利用したいものはありますか。（該当するものすべてに○）

	実数	割合(%)
認定こども園	66	61.7
保育所	52	48.6
幼稚園	36	33.6
幼稚園の預かり保育	16	15.0
小規模な保育施設	4	3.7
家庭的保育	1	0.9
事業所内保育施設	6	5.6
居宅訪問型保育（ベビーシッター等）	3	2.8
ファミリーサポートセンター	8	7.5
その他	1	0.9
定期的に利用する必要はない	1	0.9
無回答	1	0.9
N=107		

問 15（家庭保育）定期的な教育・保育事業をいつごろから利用したいですか。

子どもが 2.1 歳から利用したい

問 16（家庭保育）教育・保育事業を利用したい場所についてお答えください。

（○はひとつ）

	実数	割合（％）
佐々町	87	81.3
他の市町	19	17.8
無回答	1	0.9
	107	100.0

すべての方にうかがいます。お子さんの土曜日・日曜日・祝日の定期的な教育・保育の利用希望について

問 17（家庭保育）宛名のお子さんについて、土曜日・日曜日・祝日に、幼稚園・保育所等の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

（○はひとつ）

	土曜日	日曜日・祝日
利用する必要はない	55	82
ほぼ毎週利用したい	21	0
月に1～2回は利用したい	30	22
無回答	1	3
	107	107

問 18（家庭保育）土曜日・日曜日・祝日に「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」に○をつけた方の、その利用したい理由は何ですか。（該当するものすべてに○）

	実数	割合（％）
仕事が入るため	41	78.8
平日にすませられない用事をまとめて済ませるため	23	44.2
親族の介護や手伝いが必要なため	1	1.9
息抜きのため	10	19.2
その他	4	7.7
N=52		

すべての方にうかがいます。一時預かり等の利用について

問 19（家庭保育）私用、親の通院、就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。該当する項目に○をつけ、おおよその日数をご記入ください。（該当するものすべてに○）

	実数	割合(%)
一時預かり	15	14.0
通常の時間を超えた幼稚園の預かり保育(不定期利用に限る)	2	1.9
ベビーシッター(不定期利用に限る)	0	0.0
その他	2	1.9
利用していない	88	82.2
計	107	100.0

問 20（家庭保育）私用(買い物、習い事、スポーツ、美容院など)や冠婚葬祭、病気、就労などの目的で、一時預かり事業等を利用したいと思いですか。該当する項目に○をつけ、おおよその日数をご記入ください。（該当するものすべてに○）

	実数	割合(%)
私用、リフレッシュ目的で利用したい	40	37.4
冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹含む)や親の通院等で利用したい	33	30.8
不定期の就労で利用したい	6	5.6
その他	2	1.9
利用したいとは思わない	49	45.8
無回答	2	1.9
N=107		

問 21（家庭保育）この１年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらったことはありましたか。該当する項目に○をつけ、おおよその泊数をご記入下さい。（該当するものすべてに○）

	実数	割合(%)
(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	23	21.5
保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用	4	3.7
仕方なく子どもを同行させた	1	0.9
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	0.9
その他	4	3.7
みてもらってない	88	82.2
無回答	0	
N=107		

宛名のお子さんが 5 歳以上である方にうかがいます。小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 26（家庭保育）宛名のお子さんが小学校低学年、高学年になったときに、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。該当する番号すべてに○をつけ、希望する週当たり日数をご記入ください。

	低学年		高学年	
	実数	割合(%)	実数	割合(%)
自宅	7	6.5	8	7.5
祖父母宅や友人・知人宅	3	2.8	3	2.8
習い事(ピアノ教室、サッカークラブなど)	4	3.7	3	2.8
学習塾	0	0.0	1	0.9
放課後児童クラブ(学童保育)	10	9.3	7	6.5
その他(公民館、公園など)	3	2.8	3	2.8
無回答	93	86.9	94	87.9
N=107				

問 27（家庭保育）宛名のお子さんについて、小学校低学年、高学年になったときに、土曜日・日曜日・祝日・夏休み冬休みにおける放課後児童クラブ（学童保育）の利用についてうかがいます。利用したい時間帯をご記入ください。（低・高学年いずれも○はひとつ）

	土曜日		日曜日・祝日		夏休み冬休み	
	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年	高学年
利用したい	7	6	3	3	13	11
利用する必要はない	8	10	12	13	2	5
無回答	92	91	92	91	92	91
計	107	107	107	107	107	107
	土曜日		日曜日・祝日		夏休み冬休み	
	低学年	高学年	低学年	高学年	低学年	高学年
利用したい	6.5	5.6	2.8	2.8	12.1	10.3
利用する必要はない	7.5	9.3	11.2	12.1	1.9	4.7
無回答	86.0	85.0	86.0	85.0	86.0	85.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

問 33（家庭保育）問 32 において、特に高く評価された項目または、特に低く評価された項目があれば、その理由をご記入下さい。

低く評価された項目理由

- 屋内の遊ぶ施設がないので佐世保 5 番街やジャスコまで行かないと幼児は遊べない。図書館のオムツ替えの場所は少し古く、使いにくい。
- 夏は遊具も暑すぎて、とても遊ばせられる状態では無い。相談センターのふれあい広場が以前は土曜日でも利用できたのに、今は平日のみになっている。授乳室やおむつ交換代などの清潔感がない。
- 屋内の遊び場はどこにあるか知らない。平日は「ぷくぷくクラブ」があるが土日祝日に屋内で遊べる場所がないので不便。授乳室やおむつ交換代などもどこにあるのか知らない。
- いろいろな設備や取り組みができていない。
- 雨の日に遊ばせるところがない。おむつ交換台はマックスバリュにしかない。狭い道が多い。特に通学路。公園に水遊び場があったらいいと思います。
- おむつ交換台は他市町村に比べ、設置してあるところが少ないのではないかと感じる。また設置をされていても汚れすぎていたり、壊れていたりしているものも多く見受ける。おむつ交換台の横に手荷物などを置くスペースを作ることの良いのではないと思う。
- 療育の施設がない。
- 悪い若者が多い。バイクがうるさい。変な事件が起きる。佐々での子育てを希望していない。
- 遊び場が少ない。きれいな施設が少ない。一定のグループに占領されている。
- MR もバスも本数が少なくアクセスが悪い。タクシーを使うしかない。殺人予告が不安を煽りました。夜間も街灯が少なく暗いです。
- 授乳室や首の座っていない子を連れて、自分がトイレをしたい時にオムツ台があって欲しいけど、あるところが少ないと思う。安全性については、最近口石付近で事件があったから。
- 雨の日でも遊べる場所がない
- 子どもの室内及び屋外の遊び場所を増やしてほしい。授乳室は少ない。
- 10 ヶ月の子供しかいないですが、育児に煮詰まって支援サービスを利用しに行ったら、自分の子より年上の子が我が子をかまってくれるんだが、手加減がないので、みていてハラハラして逆に疲れた。職員も注意するのですが、口だけで少し気になった。
- 清潔で使いやすい授乳室、おむつ交換場所も 1 つもぱっと思い出せない。あるのなら周知不足。
- 授乳室やおむつ交換台がどこにあるのか情報がない。
- 平日、休日いつでも気軽に利用できる屋内施設がない。車がないとどこにも行けない。幼稚園跡も子どもが利用できる施設にしてほしい。
- 雨の日は遊ばせる場所がない。あまり設置されていない。あっても衛生的ではない。
- 殺人予告があったのに全然警察の警備体制が敷かれておらず、とても不安を感じた。抑止力のためにも動いていただきたかったです。
- 保育施設など子育て支援や園庭開放の情報を役場のホームページや園のホームページ、近所のお店などに掲示してほしい。いつどんなことをしているのか気軽に知りたい。遊具や砂場がある公園をしてほしい。
- 授乳室やおむつ交換台の数が少ない。
- 父と子で出かける場合、おむつ交換などでは場所を探したり見当たらなかったりする。もう少し配慮があるとありがたい。屋内の遊び場が少ない。
- 土日祝日なども利用できる屋内の遊び場があると良いと思う。

- 買い物などの時、授乳室がない。
- 公民館など開放して欲しい。電車代が高い。予防接種の時間帯を作ってほしい。インフル患者と同じ時の予防接種は感染が心配。
- 図書館、マックスバリュの授乳室やおむつ交換台を利用したが、清潔感があまり感じられなかった。きれいであれば利用頻度も増えると思う。
- 天候に左右されず、いつでも開いている屋内の遊び場がほしい。ぶくぶくは週3しか入っていない。
- 小児科が1件しかなく、混み合うため
- 子育て支援の取り組み内容をもっと周知してもらいたい。
- 屋内の遊び場が少ない。子どもが小さいうちや、天候が悪いときに利用出来る施設をもっと増やしてほしい。お店なども授乳室やおむつ交換台をもっと増やしてもらえると出かけやすいと思います。
- 昔に比べ陰湿な犯罪が増えている感じがします。コンビニやマックスバリュの前を通ると中学生の男女がバイクでたむろったりしているので、そのあたりの治安が不安です。バイクでの事故や深夜徘徊。
- 実際授乳室、おむつ交換台などは足りていないと思う。
- 屋内の遊び場について0歳赤ちゃんがいつでも利用できるような所がない。また子供の利用する場所はインフルエンザにかかってしまうことがあり、この時期に遊びに行こうと思えない。空気清浄機や加湿器、空気を消毒する機器がちゃんとある場所でなら遊びに行きたいと思いますが、この時期は家でほとんどこもりきりになってしまいます。年中何時からでも利用できる安心安全な遊び場がないかなあと思います。
- でんでんパークは整備がされていて、小さい子から大きい子まで一緒に遊べて良いと思うが、その他はあまり遊ばせられる大きめの公園がない。気候が良くなると求められないほど人が集中する。雨でも遊ばせられる場所がない。
- 授乳室やオムツ交換台など全くない施設、店舗があります。急な場合など困ることが多々あり、困るので長時間の外出は避けます。
- よく利用するスーパーのトイレがあまり綺麗とは言えず、子供をトイレに行かせるのに抵抗があります。
- 屋内の遊び場や授乳室はどこに設置しているのか存じません。張り紙事件で一時的ですが不安に感じています。
- 公園が少ない。医療機関が揃っていない。
- 雨の日の屋内の遊ぶ施設を知らない。各スーパー等施設でおむつ交換台の設置がない。短期間煽り運転を受けた。犯罪の話もちろはら聞く。
- 1歳と3歳の子供が声を出していると、男性に怒鳴られた。その後、怖くていけなくなった。子供を連れて引っ越してきた際にもお祝い金があればなあと感じた。
- ここ数年で不審者や殺害予告など事件があったため。医療は歯科以外は選べず、各1件しかなく、休日、子どもが病気になるっても休日当番医が専門外のこともあった。
- 殺人予告事件があり、安心して外遊びができなくなった。雨の日や寒い日などの屋内設備が充分でないと思う。
- バス停、駅周辺は歩道など道が整備されておらず、子連れでは危ないと感じる。共働きの人が多く、会う機会がない。また働いていない人でも身内が周りにいる人が多く、そういう人は他と付き合いを広げようという必要性を感じていないのか関わりがない。
- 屋内の遊び場は全くない。雨の日はどこにも行けない。電車の駅の駐車場がない。医療機関は先生がすべてにおいて信用がない。本当に適当な先生しかいない。
- 小児科での待ち時間がすごく長い。せめてあとひとつ小児科があればいいと思う。口石の殺人予告があったばかりなので不安。

- 医療福祉センターには授乳室がないから
- 佐々町はかなり改造バイクが走っています。あの音で夜中走られると子どもも恐がって泣いて起きることもありますし、何より危険で迷惑です。もっと取り締まってほしいです。一度、幼稚園の出入り口前の道に入ってきた時はびっくりしました。改造バイクと改造車の取り締まりを強く希望します。
- どこに設置してあるのかネット等情報が少なく長時間気軽に掛けるのにくい。
- 授乳室を見かけたことがない。公園は一箇所に多くの子がいる。年の違う子がいる。
- 先日の口石事件が怖い。
- 気軽に遊べる場所がない。深夜、土日祝日にやっている医療機関が近くにない。
- 屋内で遊べる広い施設がない。
- 雨の日、家の中で遊ぶのには限界がある。屋内での遊び場があると親や子供ともにストレス発散になる。屋内でも遊べる場所を作してほしい。また子供が成長できるような習い事やヨガなどのイベント、場所などを発信してほしい。子供や親同士の関わりにもつながる。
- 公園でのボール遊び不可だったり、遊び場の充実、砂場の再度設置をお願いしたい。北部体育館、広場遊び禁止をやめてほしいです。
- 雨の日なら図書館しか行く場所がない。
- 屋内の遊び場がどこにあるのかわかりませんでした。

高く評価された項目理由

- 医療機関はやまぐち小児科を利用しているが、親身になってくれるし、相談しやすい。安心して通えるので、佐々にあることをありがたいと思う。
- 集団、登下校時、町の方が毎朝交通安全で立ってくれているのは安心できる。図書館では子育てに関する情報などが得られる。
- 図書館は本がたくさんあるし、イベントもいろいろあるので楽しい。医療もかかりつけの先生がいい方なので安心。
- 子育てに関して、もっと協力的に取り組んでほしいから。
- 大人から子供までが利用でき、また定期的に読み聞かせなども実施されているため良いと思った。
- 保育士さんは名前を覚えて、対応してくれます。5歳児健診などは佐世保ではやっていないようですし、小学校に入ってから給食費の助成などは助かっています。
- 近所にもいくつか公園があり、有難い。小児科の山口先生はいつも丁寧で優しくありがたいです。
- でんでんパークや他にもいろんなところに公園のスペースがあって、外で遊ばせたいと思う。いろんな遊具があってよい。
- 図書館のお話会やおむつ交換台などはよく利用させてもらっている。
- でんでんパークは広く使いやすい。駐車場が大きいのもとても良い。もっと屋根があれば、小雨や日差しが強い日でも利用したいと思える。子育てに関する情報について、いろいろと取り組もうとされていて意欲的に感じる。紙媒体ばかりでなく、WEBにもっと情報が欲しい。発信力の向上に期待したい。
- 家の近くに公園があり、安全性もあったため。
- 芝生のある公園もあり、他の子供たちも多く集まり、遊ぶのに困らない。
- 図書館では読みきかせの時、子どもが楽しんでいる。
- 公園はよく整備されており、ありがたい。
- 綺麗で利用しやすいと思う。
- 近くにあるので安心できる。日曜、祝日も各週で開いている所があるので安心。
- でんでんパークとかきれいで遊具が充実していてよい。読みきかせの人の人柄が良い。

- 公園は手入れが行き届いているため、子どもがもう少し大きくなったら遊ばせたいと思う。
- 健診が充実している。図書館は読み聞かせが充実している。子供を連れて行きやすい環境がある。目の前が公園。
- 公園には恵まれている
- 保育園、役場の方がよくサポートしてくれる。
- 図書館は定期的にイベントや読み聞かせがあったり、DVD も見ることができて、子どもたちがよく利用しています。今までに読んだ本が記録として残せるともっと良いと思います。
- 新しくできた公園など、広く、遊具も多いので長時間遊べ、芝があったり、ベンチや日陰などもあるので、通いやすいです。トイレもきれいで助かります。図書館は授乳室などきれいで、小さい子の遊べるスペースもあり、本もたくさんあるので利用しやすいです。授乳中に上の子たちに DVD を見て待ってもらったりして助かっています。
- 図書館は定期的に読み聞かせもあり、絵本が見つからなかったときに丁寧に探してくださいました。
- でんでんパークや皿山公園と外の遊び場に子供たちが喜び、利用しています。図書館も新しい本も多く、読み聞かせも増え、たくさん利用しています。
- 図書館は絵本の読み聞かせや図書館祭りなど子供向けにいろいろ考えてくれている。
- 小学校の給食費、医療費の補助や歯科健診時のフッ素など助かります。ありがとうございます。
- でんでんパークなどよく利用している。
- 南部にはでんでんパーク、北部は皿山公園、他にも色んな所に公園があるため。図書館は素晴らしいです。読みきかせも母子ともにいつも楽しく参加させていただいています。
- でんでんパークや皿山公園など屋外の遊び場はあり、助かっています。
- 赤ちゃん相談が定期的にあったり、子育て支援のぷくぷくがあたり、子育てを応援してくれる町だと感じている。
- 小さい子どもが遊ぶにはちょうど良い。しかし、もっと日陰ができるようにしてほしい。
- 交通の利便性については満足している。
- でんでんパークはたくさん遊べて良い。おむつ交換台や授乳室があるのもっと良い。
- 図書館は読みきかせが充実している。絵本がたくさんある。
- 支援がよく行き届いていると思う。
- 館内がいつもきれいで受付の方もとても親切だから
- 子どもの発育などの相談に親身になって聞いてくれ、教室など紹介してもらえるのはありがたい。
- 町の健診へ行くと、いつも熱心に話を聞いてくださる。情報誌（広報さざ）がわかりやすいです。図書館楽しいです。
- 近くに公園がある。嬉しい。
- でんでんパークは小さい子どもも遊びやすいため。

問 37（家庭保育）最後に、教育・保育事業の充実など子育て支援の環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

- 第二保育所にお世話になっています。保育士さん、先生方がテレビで非正規だということを知りました。大変な職業であるのにボーナスが出ないということも驚きました。子供たちと関わってくれている方々が契約で年数によって変わってしまうのはとても残念に思いますので、正規で、何年もずっと続けやすい職場になることを願っております。
- もっと子育てに協力的な支援をしてほしい。

- 保育所を利用したいと考えることもあるが、保育料の面でいつも悩んでしまう。子供にとっては成長できるところなので、どちらがいいのか考えてしまう。今は親が元気なのでしばらくは見てもらえるが、この先は、と不安になる。気軽に4～5時間だけ預けられる場所があればいいと思います。
- 父親学級があればと思う。妊娠体験や料理教室など。
- ぶくぶくが週5で空いていたらありがたい。栃木県川内郡上三川町にある「上三川いきいきプラザ」という複合施設ができた嬉しい。
- 国内の施設や公園などの遊び場の充実トイレの設備、高齢の方の危険運転に気配りをお願いします。
(横断歩道を歩いている時、見ておらず突っ込んできた。)
- 保育園に通っていますが、運動会の場所を広いグラウンドに変えたほうがいいと思います。病児保育の保育園も増えると良いと思います。
- オムツ補助券があると、とても助かる。
- 他の地区と同じように、二人目、三人目の保育料を無料にしてほしい。
- 公園を増やして欲しい。
- 特にありません。総合的にはすごくマンゾクしています。
- 土曜日、日曜日に預けられる所があったら活用したい。道路整備、ベビーカーでは生きにくいところがある。職場が近かったらと思うが働けるところがない。
- 自宅近く(佐々町)で働きたいか正社員で希望するには仕事がない。賃金も安く、コンパクトシティとは言え、田舎だなあと感じる。第二子を本当は佐々町で産みたかったが、平井産婦人科が古く、設備も古く、そのわりに料金が高く結局大阪へ里帰りしました。
- 悩み相談の窓口がネットやメール(匿名)でできるようにしてほしい。
- ベビーカーなど押して歩くと道がボコボコで歩きにくい。道路の修理をお願いしたい。一時保育「ありす」の料金をもう少し安くして欲しい。
- 町の子育て支援の取り組みはとても助かっております。イベントも面白くて、親子で楽しんでいます。ただ子育ての情報をどこで寝れば良いか分からない。町外から来た知り合いも同じことを言っていました。
- 新しい(あひる学級をする)施設の1階の所を開放して、マット運動や跳び箱を利用できる日を作って欲しいです。
- 佐々町でどんな支援サービスがあるか知りませんでした。もっと調べて利用していきたいと思います。
- ぶくぶくクラブは利用しやすいが、曜日が決まっているため、行きたいときに行けないこともある。平日毎日あると助かるのと思う。
- 医療費を無料とか子育て世代の減免等とかをしたら佐々町の人口がもっと増えてくると思います。佐世保市に接しているので、幼稚園、こども園、保育園は選べると思います。バス通園もできますので。その後の小中学校への接続がスムーズにいくように、幼稚園保育園小学校の連携をしっかりとしてほしいです。入学前直前ではなく、1年前くらいから段階的にカリキュラムを組んでいったらよいと思います。あと妊娠中からのサービスが充実してほしいです。ホームスタート等があるといいなあ。
- 保育園や幼稚園の人数状況や、入園に係る手続き、条件がよりわかりやすく提示されると良いと思います。子供が1歳になったら出来るだけ早く仕事を持ち、社会復帰したいため、預けられる環境が整っていると嬉しいです。また一時預かりを利用したいと検討していますが、料金面がやや気になります。もう少し安くなれば、積極的に利用したいと考えます。
- 佐世保市は幼稚園の広告が入って、どの地域にあるのかわかるが、佐々町は自主的に調べないと情報が得られない。
- 幼児教育の無償化の年齢を引き下げて欲しい。

○もっと安くなれば、ぶくぶくクラブやアリスの利用がしやすいかなと思った。健康相談センターのスタッフの方々は親身になって悩みや相談を聞いてくださるので素晴らしいと思うが、役場の福祉の方々は事務的な対応なので、佐世保市のこども未来部の方々とえらい違いだなと思った。佐世保市から移住される方はびっくりされると思う。

○佐々役場の方や保育士の方には親切にいただき、子育てにおいては助かります。佐世保市にのまれることなく佐々単独でのサービスをやっていただきたいと思います。

○不妊治療に何年も費やしようやく赤ちゃんに恵まれたが、赤ちゃん連れでの買い物のし辛さやゆっくり食事ができる場所もない。おむつ交換台のあるところが少なく、車の中で交換している現状。遊び場が少ない。いろいろな不便を感じました。佐々川に散歩に行くにも、駐車場がなく、浄水場の砂利道のところに車を止め、ジャリのところはベビーカーで通れないので抱えて川の歩道にベビーカーを運んで乗せると言う不便な状態です。佐々町にきて7年経ちますが、今まで住んでいる人たちは何も思わなかったのかなと不思議に思います。もしくは意見ができる機会がなかったのかなと思いました。子供が簡単にできる体であれば本当は欲しいけど不妊治療は本当に大変です。町の福祉のアンケートにも子育てなどの支援項目などありましたが、不妊治療と言うことにももっと配慮してくれるといいなと思いました。

○佐世保市のように子供のオムツのゴミは指定以外のゴミ袋に入れてゴミステーションに捨てられるようにしてほしい。佐世保市は半透明の袋に入れて出している。

○佐々町は祖父母が孫を連れて公園にきている姿を見かけるので、えぼしのスポーツの里のように体を動かさせて健康増進につながるような施設があれば良いと思う。

○各保育園に病後児保育を利用できるようにしてもらえたら助かります。具合が悪い上に全く知らない人のところに預けられるのはすごく不安になっているので、いつも通っているなら知っている先生なので安心かと思います。保育料が佐世保市と比べて高いので同じぐらいにしてもらえると助かります。

○佐世保で保育士をしております。保育園の無償化になるのが怖いです。ただでさえ、低賃金で持ち帰りの仕事が多く、寝る時間を削っての作業。病気になってもクラスの子を受け入れなければならないので仕事を休めないのが現状です。全国すべての保育士が同じだと思います。無償化になることで、保育の質が下がり、さらに仕事の負担が増え、家族との時間や自分の時間も持たなくなっていくんじゃないかと不安です。保育士としてやりがいを持ってきましたが、保育現場がままならないとなると、私も家族のために仕事を辞めざるを得ません。無償化よりも先に、保育士を増やしてほしいです。

○登録料などがかからずに誰でも遊びに行ける児童館があれば嬉しい。できれば乳幼児のみなど年齢で分けてもらえると助かる。平日だけでなく、土曜日も開いてくれるとさらに嬉しい。

○3歳まで歯科検診があり、心配なところは相談できるので、大変助かっています。これからもよろしくお願い致します。

○子供が気軽に遊べる施設佐々町にも作ってほしい。小さい子だけでなく小学生向けにも。学童があるが定員があるし、放課後遊びに行けるような児童館のようなものがあったら便利だなと思う。

○仕方のないことですが、町立佐々幼稚園がなくなったのは、とても残念です。町内で幼稚園に通わせたいと思っていたので選択肢がないのが残念。

○千葉県の小4父親虐待など、父親の虐待事件を良く目にするようになりました。母親は子供に対しての知識を得る機会がありますが、父親は突然父親となり、子供のことをよく知りもせず、子育てに参加します。母親のように産後訪問、幼稚園や小学校の参観日などに、父親向け講座を入れる。町内で日曜日に父親向けの講座など企画してみてはいかがでしょうかと思います。冊子を配るだけでは目を通すことありません。私のように地元でないところで子育てをするには父親の協力なくしてできません。子育てに興味を持つきっかけを与えてほしいです。

○保育の部分での佐世保市の認定こども園などへの入園が制限されていたり、児童館などの催しの参加ができないのが非常に残念です。特に認定こども園などは佐世保市のほうが競争率が高いためか魅力的な園が多く、また距離も近いのに希望できないのは残念です。

○スーパーをもっと増やして欲しい。屋内で遊べる場所を作ってほしい。子供の予防接種がもうすぐあるなどのお知らせを送ってほしい。同時に問診票も送ってくれたら病院に行く前に記入できる。3LDKのアパートを増やしてほしい。全然空きがない。このままだと長崎から出たいと感じる。

○地域の事業などについてもっと情報が欲しい。

○認定こども園だけでなく、幼稚園があったほうが良い。

○大村にある「おむらんど」や諫早にある「こどもの城」みたいな屋内の遊び場を作ってほしい。

○佐々町にも相浦にあるような児童センターがあると助かります。外で遊べない時など、こういう施設があると屋内でも伸び伸び遊べるし、友達との交流も増えるし、親も安心して行かせられる。ぜひ作っていただきたいと思います。

○保育園によっては預ける時間が遅いため、仕事で早く家を出ないといけないので、希望の保育園に預けられない。預ける時間を少し早くしてもらいたい。子供の成長のために、色々な経験をさせたいので子ども向けのイベントがあると助かる。また経済的な負担を考えると無料または安く受けられる習い事があると嬉しい。

○佐々小学校体育館の天井の修理、皿山公園の整備など環境大事だと思います。これからも「ずっと佐々町に住み続けたい。佐々に来てよかった。」と思える場を作ってもらいたいです。お年寄りに住み易さはほぼ定着しているのですが、若い子たちが他県へ出てしまう。就労の点も課題だと思います。バランスも大事かと。今の子供たちが見る佐々町がこれからも佐々町を作っていく。それが今これで正しいのか今一度検討してほしいです。

○一時預かりはありすみたいな施設ではなく、いつも通っている保育園、幼稚園などでしていただければ子供も慣れが早い。学校行事があると、親も子供と一緒にしないとなかなか会社から休みをもらえない。

④「就学児童をお持ちの世帯」アンケート集計結果

問 8（就学児童）母親・父親それぞれの就労状況をお答えください。
（母親・父親いずれも○はひとつ）

母親	人	%
フルタイム(育休中・介護休暇中でない)	68	48.2
フルタイム(育休中・介護休暇中である)	0	0.0
パートタイム・アルバイト(育休・介護休暇中でない)	50	35.5
パートタイム・アルバイト(育休・介護休暇中である)	1	0.7
以前は就労していたが、現在は就労していない	19	13.5
これまで就労したことがない	2	1.4
無回答	1	0.7
	141	100.0

父親	人	%
フルタイム(育休中・介護休暇中でない)	120	85.1
フルタイム(育休中・介護休暇中である)	0	0.0
パートタイム・アルバイト(育休・介護休暇中でない)	2	1.4
パートタイム・アルバイト(育休・介護休暇中である)	0	0.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	0	0.0
これまで就労したことがない	0	0.0
無回答	19	13.5
	141	100.0

問 9（就学児童）問 8で「1」～「4」を選んだ方にうかがいます。週あたりどのくらい働きますか。勤務日数と勤務時間、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をご記入ください。

母親	人	%		父親	人	%
週 1	0	0.0		週 1	0	0.0
週 2	3	2.1		週 2	0	0.0
週 3	3	2.1		週 3	1	0.7
週 4	7	5.0		週 4	1	0.7
週 5	78	55.3		週 5	47	33.3
週 6	21	14.9		週 6	57	40.4
週 7	1	0.7		週 7	6	4.3
無回答	28	19.9		無回答	29	20.6
	141	100.0			141	100.0

問 10（就学児童）今後、どのような就労状況を希望されますか。
（母親・父親いずれも○はひとつ）

	母親		父親	
	人	%	人	%
就労しない	15	10.6	1	0.7
これまで通りの就労	98	69.5	113	80.1
フルタイムへの転換（見込みあり）	6	4.3	0	0.0
フルタイムへの転換（見込みなし）	6	4.3	1	0.7
パート・アルバイトへの転換	8	5.7	0	0.0
無回答	8	5.7	26	18.4
	141	100.0	141	100.0

問 11（就学児童）いつごろの転換を希望しますか。
（母親・父親いずれも○はひとつ）

	母親		父親	
	人	%	人	%
このままでよい	99	70.2	106	75.2
すぐにでも勤労状況を変えたい	11	7.8	3	2.1
1年以内に就労状況を変えたい	10	7.1	2	1.4
一番下の子の年齢	10	7.1	0	0.0
無回答	11	7.8	30	21.3
	141	100.0	141	100.0

1 番下の子が平均 13.2 歳 で就労転換を希望

問 12（就学児童）就労していない方で、就労の希望はあっても、就労していない理由は何ですか（母親・父親いずれも○はひとつ）

	母親		父親	
	人	%	人	%
子どもが小さい間は、働かずにいたい	5	31.3	0	0.0
希望する幼稚園、保育所等が利用できない	0	0.0	0	0.0
子育てしながら働くことのできる適当な仕事がない	5	31.3	0	0.0
家族の考え方（親族の理解）等就労する環境が整っていない	0	0.0	1	50.0
その他	6	37.5	1	50.0
	16	100.0	2	100.0

問 13（就学児童）宛名のお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ現状の週当たり日数をご記入ください。
（○はいくつでも）

	人	%
自宅に一人でいる	26	18.4
自宅に家族という	79	56.0
祖父母宅や友人・知人宅	18	12.8
放課後児童クラブ(学童保育)	32	22.7
習い事(クラブ活動、音楽教室など)	57	40.4
学習塾(英語教室を含む)	16	11.3
公園・広場	3	2.1
図書館	2	1.4
その他	5	3.5
無回答	1	0.7
N=141		

問 14（就学児童）子どもが放課後を過ごす場所として、重視していることは何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。
（○は3つまで）

	人	%
子どもが安全・安心に過ごせること	134	95.0
充実した施設・設備があること	38	27.0
希望する時間に利用できること	57	40.4
スタッフ(職員等)が充実していること	38	27.0
子どもの遊び支援など日常生活が充実していること	20	14.2
異年齢(乳幼児から大人まで)との活動が充実していること	4	2.8
行事や地域古流活動が充実していること	3	2.1
運営に関する子どもの参画がなされること	1	0.7
障害児等、配慮を要する子どもへの配慮がされていること	7	5.0
無回答	2	1.4
無効	2	1.4
N=141		

問 15（就学児童）宛名のお子さんについて、放課後児童クラブ（学童保育）の利用実績と今後の利用希望についてご記入ください。
（〇はそれぞれひとつ）

平日・実績	実数	割合（％）
利用している	32	22.7
利用実績あり	35	24.8
利用実績なし	66	46.8
無回答	8	5.7
	141	100.0

平日・今後	実数	割合（％）
利用希望	30	21.3
利用しない	89	63.1
無回答	22	15.6
	141	100.0

土曜日・実績	実数	割合（％）
利用している	18	12.8
利用実績あり	35	24.8
利用実績なし	78	55.3
無回答	10	7.1
	141	100.0

土曜日・今後	実数	割合（％）
利用希望	20	14.2
利用しない	97	68.8
無回答	24	17.0
	141	100.0

日曜日・実績	実数	割合（％）
※現在、利用いただけるサービスはありません		

日曜日・今後	実数	割合（％）
利用希望	4	2.8
利用しない	103	73.0
無回答	34	24.1
	141	100.0

夏休み・実績	実数	割合（％）
利用している	34	24.1
利用実績あり	31	22.0
利用実績なし	67	47.5
無回答	9	6.4
	141	100.0

夏休み・実績	実数	割合（％）
利用希望	41	29.1
利用しない	80	56.7
無回答	20	14.2
	141	100.0

問 16（就学児童）宛名のお子さんについて、放課後児童クラブ（学童保育）の利用予定をご記入ください。（○はひとつ）

	人	%
利用予定	39	27.7
利用する予定はない	99	70.2
無回答	3	2.1
N=141		

問 17（就学児童）放課後児童クラブ（学童保育）を利用されている方にかがいます。今後望むサービスは何ですか。

1.放課後児童クラブ（学童保育）と家庭との連絡や連携

○仕事で関わる時間も短く、子どもには申し訳なく思います。出来るだけ、子ども達と沢山関わって頂き、どんな小さい事でも良いので、何か子どもの様子など教えていただけたら嬉しいです。以前は送迎時間等の伝達がうまく行かず、職場を途中抜け、迎えに行ったり、と言うことがあり、学童と家庭の連絡がおろそかになったりしました。これもお互い「言葉」での伝達が少ないため。もっとコミュニケーションが必要と感じた。

○連絡ボードや書類のみのやりとりだけでなく、せめて年に1回は学童と家庭の意見交換の場があるとよいのではないかと思います。

○連絡ノートの活用。たくさんの児童がいるので、簡単に様子が分かるものでもいいのであると便利。

2.習い事(英語や習字など)

○長期休みは時間もたっぷりあるので、習い事など入ると嬉しい。

○学童の時間を利用し、希望者のみでも習い事ができたら嬉しい。別料金となるが、送迎など考えたら行かせられないので。

○スイミングスクールやいむら体操教室と連携して習い事ができるようにして欲しい。

○希望者だけで利用時間に学童施設などで習い事ができるとすごく嬉しい。ピアノやソロバンなど。

○共働きをしている人が多いと思うので、習い事にいかせたいけどできないと思っている方が多いと思います。週一回でも学童でしていただけるとありがたいです。

○強く望むわけではありませんが、させたくても習い事の送迎ができないので、習字、英会話を学童でしていただければ相当の月謝を払ってでもさせたいです。

3.施設や設備を改善する

○もう少し広いならいいのですが。

○今利用中の青い実さんは充実している。佐々小横の学童さんは児童の人数の割に部屋が狭いように感じる。またおやつがないので迎えが遅くなるとお腹が空いてしまうので間食（捕食）を提供してほしい。

○夏休みのお弁当が痛まないか心配です。

○本や遊び道具がもう少しあったら嬉しいです。

○物を天井に向かって投げる児童がいて、柱とかに物が乗るのを防ぐように細かな網をはってほしい。うちの子も物を投げて引っかかり、注意を受けたので元々から乗らないような作りにしてほしい。

○口石小の学童を利用中ですが、狭いなあと感じます。学童内に特有の匂いがして、帰宅後も子どもからその匂いがします。インフルエンザなど一人がかかればすぐ蔓延するんだろうなーと思います。

4.指導内容を工夫する

- 時間を決めて学習、遊びを分けてほしい。長期休みの過ごし方に変化を与えてほしい。
- 以前、佐世保市に住んでいた時、利用していた学童は退職後の先生が学童と学校を行き来していて、学校とも連携して子供を見てくれていた。学童に行った時はまず宿題をさせて、丸つけをしてくれるなど学習の取り組み方も教えてもらったので大変助かった。学童でもサポートティーチャーのような方がいてくれたら安心感は増すと思う。
- 宿題が終わっていると助かります。
- 時間割があり、メリハリがつくと良いと思う。
- 指導員の方の児童への指導の仕方。指導員の方は熱心に指導していただいているが、優しいため、児童がいうことを聞かない。
- 宿題や勉強をしないと言う方針ですが、他の学童ではされているみたいです。親代わりとはならないでしょうが、少しは宿題を積極的に取り組ませてほしい。結局仕事が終わってからやらせるので子供もかわいそう。自主性がないといわれればそうでしょうか。
- お友達トラブルなど

5. その他 提供して欲しいサービス

- 夏休み、冬休みなどの給食があると嬉しい。おやつも出してくれるとありがたいです。金額は上がっても負担は減るのですが。
- 一度、台風の時に学童で預けてもらえないことがあって、学童では預かって良いですが、役場から台風の時は預かってはダメと言われたのでということでした。多くの保護者はとても困りました。役場の対応に不満でした。学童には不満はありません。台風でも保護者は休めないので、急に預かれないって言われても困ります。
- 行事などがあれば子供が喜ぶ
- 突発的に迎えに行けない時のおやつへの対応。
- 長期休暇時の給食。平日のおやつ
- レンジをおいて欲しい。
- 学童もただ見守るのではなく、積極的に時間割を決めていいと思う。ほとんど自由時間なので。定年された先生とか教育に力を入れてほしい。学校でもしていることですが、学力を上げるなら学童で遊んでばかりではなく、勉強する姿勢を教えてほしい。
- 特に重大なことではありませんが、子どもの荷物が床下に散らかっている様子が見受けられますので整理整頓をお願いしたい。きちんとした環境で預けられるとよい。
- 冬休み、春休みのみを利用しているので利用料を月額ではなく2週間の利用なので1ヵ月分にしていただけたら助かります。

問 18（就学児童）放課後児童クラブ（学童保育）を利用していない方に
うかがいます。利用しない理由は以下のうちどれですか。
あてはまるもの3つまで○をつけてください。（○は3つまで）

	人	%
子どもが希望していないから	31	22.0
現在就労していないから	13	9.2
子どもの祖父母や親戚の人がみているから	18	12.8
近所の人や父母の友人・知人がみているから	2	1.4
放課後児童クラブを知らなかったから	1	0.7
放課後児童クラブに空きがないから	1	0.7
放課後児童の開所時間が短いから	9	6.4
指導員等の指導内容や活動プログラムが不十分と感じるから	6	4.3
利用料金がかかるから	18	12.8
子どもは放課後習いごとをしているから	18	12.8
放課後の短時間なら、子どもだけで大丈夫だと思うから	20	14.2
他の施設に預けているから	1	0.7
その他	10	7.1
無回答	31	22.0
無効回答	1	0.7
N=141		

問 19（就学児童）この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校に行け
なかったことはありましたか。（○はひとつ）

	人	%
あった	89	63.1
なかった	52	36.9
無回答	0	0.0

問 20（就学児童）宛名のお子さんが病気やケガで学校に行けなかった場合
に、この1年間に行った対処方法をお答えください。
（該当するものすべてに○）

	人	%
父親が仕事を休んだ	10	7.1
母親が仕事を休んだ	56	39.7
親族・知人に子どもをみてもらった	32	22.7
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	11	7.8
病児、病後児の保育を利用した	0	0.0
ベビーシッターを利用した	10	7.1
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2	1.4
その他	0	0.0
無回答	54	38.3
N=141		

問 21（就学児童）お子さんが病気の際、「できれば病児・病後児を預かる施設等を利用したい」と思いますか。

問 21-1 利用したいと思われる方にうかがいます。それはどのような施設・事業ですか。（該当するものすべてに○）
また、年に何日利用したいですか。

	人	%
保育所等に併設した施設で就学児を預かる事業	8	5.7
小児科に併設した施設で子どもを預かる事業	36	25.5
地域住民等が子育てで家庭等の身近な場所で保育する事業（ファミリーサポートセンター等）	4	2.8
その他	1	0.7
無回答	100	70.9
N=141		

平均利用希望日数 3.6 日/年間

問 21-2（就学児童）利用したいと思わない方にうかがいます。その理由は何ですか。（該当するものすべてに○）

	人数	%
病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	18	12.8
親が仕事を休んで対応する	47	33.3
利用料がかかる	9	6.4
その他	14	9.9
無効回答	2	1.4
無回答	51	36.2
N=141		

その他意見

- 祖父母に看てもらえるから
- 親が難しい場合はおばあちゃんが看ってくれるので、今の所、預けたいと思わない。病気で不安な時こそ私や父親またはおばあちゃんの方は安心するのではと思う。
- インフル等感染する病気だったら仕事に行けない。それ以外は両親等に頼める。
- 病院受診して預けるとなると結局仕事も遅刻して利用料も必要になるため、何のための病後児かわからなくなる。
- 病気のときに預けると普段より子供が不安を感じそうなので、出来るだけ親が見るようにしたいから。
- 現在病気の時は祖父母が対応できる。子どもも病気の時は不安なので、出来るだけ身内で対応しないと思っている。
- 祖母に預けた方が時間的にも融通が効くので。
- 子供がゆっくり休めないと思うから
- 必要がないため
- 親もしくは祖父で対応できている
- 必要性を感じないから
- 祖母が見てくれるから

○自営であり都合がつくため。

問 25（就学児童）問 24 において、特に高く評価された項目または、特に低く評価された項目があれば、その理由をご記入下さい。

低く評価された項目理由

- 体育館の天井や校舎が老朽化
- 口石団地の事案が早く解決してほしい。
- 公園など外の遊び場、図書館の前の公園はボールを使うことができないため、注意を受けたことがあった。ボールを自由に扱える所が整備されるとありがたい。
- 佐々町には屋内遊び場が全くない。
- "小学校はトイレが洋式に変わりますが、以前、子どもが足を怪我した時、和式でトイレはぜったいにしゃがめないで、とてもかわいそうでした。1つあるならまだしも、全くないような気がします。"
- 最近ニュースであった事件でますます登校、下校時の不安が増した。家から学校までの薄暗い場所などを無くし、町全体の作りを安全で安心できるような町をみんなで作っていったらと思う。
- 屋内で遊ぶ場所がない
- 公園が少ない。また幼児向け。雨の時の遊び場がない
- バスは通ってなく、電車は駅まで遠いため。
- 雨が降った時の遊び場がない。
- MR バスの本数が少ない。（神田方面から佐世保方面）
- 佐々バスターミナルから向こうへ行くバスが少ない。冷房が学校にない。小児科がいまいち
- 屋内で遊べる施設がないから
- 体育館等はあっても運動系ばかりでグループ加入していないと参加使用できない。アスレチックやフリー遊具など個人で予約なしで気軽に使用できる施設があると助かります。
- こどもが遊べる児童館がない。公園の遊具が少ない。ボール遊びできるところがない。電車、バスが少ない。クーラーがない。トイレが汚い。体育館が汚い（網戸がない）。避難時に使用できない。医療機関が充実していない。入院、OPE できる医療機関がない。
- 小学校の施設は入り口がいつも空いていて、不審者対策がされていない。佐々小の体育館の天井が汚い。
- 子供が小さい時は遊具で遊べたが、大きくなるにつれて公園等で遊べるものが少なくなった。ボール遊びがだめ。遊具を大きい子が遊んでいたら、小さい子の親に陰で言われる。体を動かして遊びたいのに遊べない。だから携帯、ゲームで家で遊ぶしかない。
- 近くに公園等、自由に遊べる場所がありません。ボール遊びなどをのびのびとさせたいと思っても、遠くまで連れて行く時間も取れないから。
- 雨の日など外で遊べない時、屋内で体を動かせる施設があると助かります。私が知らないだけかも知れませんが。とにかく車がないことが不便です。
- 屋内の遊び場が思い当たらない。交通機関は運賃が高い。小学校の施設は老朽化が著しい。特に体育館の天井。
- 遊具の数が少なく感じる。それらの管理がきちんとされていないと思う。
- 自転車のルール徹底。高速道路があるので、街全体で積極的に取り組んでほしい。
- 小児科がいつも混んでいる。

- 公園はよく見かけるが、雑草が生えて暗い感じがする。子供が遊びたくない。小学校建物体育館が古く、天井に穴が開きまくり。
- 外に安全に遊べる場所が少ない。屋内で遊べる所を知らないだけかもしれませんが、聞いたことないです。交通機関は利用できる時間にダイヤが少なかったりで利用するよりタクシーを手配しがちです。安全性に関しては、口石であった事件のことがあるので不安です。
- 町内に公園があるが、遊具がブランコしかないこと。体育館はあるが、数日前に申し込みをしなければ、借りることができないので日曜などに雨が降ったら当日に借りることができるといいなと思っている。耳鼻科がないので、町外にいかねばならないので大変。
- 図書館のエアコンが効いていないので寒い。
- 雨天時などに運動ができるような屋内施設があればいいなと思います。
- 雨が降った時、遊び場がない。
- 遊び場。自転車は危ないので、道路では乗せないのですが、公園などでも乗れず、練習する場所がない。
- 公園などの遊び場が少ない。せっかくの公園があっても、手入れが行き届いていなかったり、使ってはいけない遊具が放置されていたりではもったいない。
- 医療機関についてはもっと充実して欲しいと思います。福祉医療受給者証があっても佐世保市の病院だと支払いをしてからの手続きになるため、小さい子供がいるので佐々町での受診ができたらいつも思います。申請をしようにも手続きに行く時間がない。
- 屋内の遊び場がない。
- 神田地区には気軽に行ける公園が全くない。
- 自宅近くは坂道やバスも通らなく、公園もない。
- 電車もバスも本数が少ない。
- 雨の日に遊べる施設がないので、ふれあい広場等土日で開放して欲しい。
- 屋内でのびのび走り回って遊ぶ施設が町内にない。佐々駅までは、バス、電車はあるが、その先となると1時間に1本くらいしか運行されていない。
- 屋内の遊び場はないような。
- 体育施設でフットサルができない。他の地域はできるのに。ネットで体育館予約ができるようにして欲しい。
- 小学校の施設についてトイレの洋式化、エアコンの設置を希望
- 登下校の道が狭い。交通量が多い。登下校時の見守りの人が少ない。道路（人通りが少ない）がある。バス停が少なく、利用することがない。
- 佐々小学校の体育館の天井の屋根がボロボロ。何回言っても修繕されない。
- 公園など外の遊び場について、第二公園が整備され遊具が減ったこと。芝生の範囲が広いので、子供が低学年の時にサッカーをしていたら、突然役場の職員がやってきて怒られたと言っていた。以前、学校にも苦情の電話があったが、その対象者ではなかったのに、たまたまサッカークラブが休みで遊んでいただけだったのに理不尽だと思った。それ以来子供たちは遊び場を失い公園に近寄らなくなった。何のための公園なのか分からない。
- 屋内の遊び場は小学生向けの施設で思いつくところがありません。交通機関はマイカーがあるのが当然のような状況ですよね。安全性について、殺人予告に対して捜査などの状況など全く情報もありません。緊迫感が薄れるのは仕方ありませんが、もっと対応策の方向性を提示しても良いのでは。
- 屋内の遊び場と聞かれても思いつくところがない。あったとしても周知できていない。外の遊び場も同様、でんでんパークしかなく、休日は子供たちでいっぱいになり安全に遊べてない。
- 屋内の遊び場は全く知らない。

○公園やグラウンドなどなんとなく陰気臭い場所にある気がします。何かと使えない遊具が多いような気がします。

○公園の数はあっても遊べる公園は少ない。放課後や休日に友達同士で遊べる場所がない。児童館のような施設があるとよい。

○屋内の遊び場はない。

○屋内で遊具で遊べる施設があったらいいなあと思う。福祉医療費受給者証を佐世保の病院でも使えるようになったらいいと思う。耳鼻科は佐々町にないので、佐世保市の病院を受診することがあるから。

○高学年の子供たちがサッカーやキャッチボールなど体を動かして遊べる広い公園が少ない。千本公園などはトイレも汚くて整っていない。小さい子供の公園だけではなく、高学年や中学生などの子供たちが走り回って遊べるような場所がほしい。町の体育館もどこも古く、空調、トイレも整っていない。子供たちが気軽に遊べる無料の公園やグラウンドが必要だと思う。以前中学校のグラウンドで遊んでいたら、先生に怒られて帰ってきました。部活で使っていないときなど地域の子供達がキャッチボールなどで使っても良いのではと思いました。

○屋内の遊び場がない。

○特に小学生を連れて行って楽しそうなおとこがない。屋内の遊び場を知らない。交通機関は本数が少ないイメージなので乗ろうと思わない。子供に関係なくても事件が多いように思う。貼り紙の事件もあったので。口石小学校のトイレが少ない。汚い。様式にしてほしい。全学年かわいそう。

○近所の公園は草ボーボー。あれはだめこれはだめと子供たちがのびのびと遊べない。体育施設もボロボロ、改修してほしい。子育てに関する情報は小学生に当てはまることが少ないと感じる。

○屋内の遊び場が少なく雨の日は仕方なくゲームをさせてしまう。国道 204 の拡張はとてもよかったが、口石小付近の国道を安全に渡れる横断歩道は小学校の前だけ。通学も不便そうだし休日に口石別道を子供が歩いたり、末永商店の前の横断歩道に子供がいると危ないなあと思う。例の貼り紙の件では今はパトロールなどをおこなわれているが今後が心配。

年間を通して広くスポーツに参加できる教室があるといいと思います。

○町の情報が少ない。相談できる雰囲気ではない。

○雨の日に利用できる場所が図書館くらいしかないので、全天候型の運動施設があったらいいのと思います。

○公園など子どもを遊ばせる場所が安全とかけ離れたところになってきている。自転車の練習もできないほど、自由が効かない場となってきている。

○小学生が屋内で遊べる場所が思いつかないため。

○近所に遊び場がない

○交通機関の便が少ない

○小学校の玄関などの警備が足りないと思う（いつでも入れる）

○学童など利用料がかかる施設ではなく、放課後や休日、長期休みに利用できる児童センターのような広場が佐々にはない。夏休みなど家ではなく、子どもたちが宿題をしたり。遊んだりする施設が必要ではないか。

高く評価された項目理由

○図書館はとても充実している

○学校では学習面での指導を本当によくしていただいていると思います。

○先生方が子どもと向き合って接してくれている。本の種類が充実している。

○公園では遊具で遊んだり走り回ったりして広い場所があるから。

○先生たちは熱心に教えて下さいます。いつも感謝しています。

○バス、電車（MR）を使う機会がまずない。また交通機関を利用して行きたいところがない。高校生などになって利用させる場合便数が少ない。

○小学校の先生方はよくしてくれているから。

○図書館は利用しやすい

○小学校の先生に大変お世話になっています。両親のいない子供に対し、配慮してくださっています。図書館もよく利用しています。

○近所付き合いは親切な方が多く相談もしやすい。学校教育の内容はプログラミング教育として設備を整えて活用している。町立図書館は適度に書籍もあり、静かな環境で利用しやすい。医療機関は小児科が安心して利用できる。

○町内に図書館があるのはとてもいいことだと思う。ゲームセンターで時間をつぶすより、子供だけで図書館へ行ってくれるほうが安心する。

○学校給食費の補助や医療費の補助

○佐々町の子育ての環境にはほぼ満足しています。

○図書館の室内が明るい。夏休みに読書感想文の本が置かれる。読みきかせがよく行われている。

○中学校付近まで行けば、病院などがあるため。

○かかりつけ医が優しい。高校生まで医療費がでる。

○1万3000人の人口で体育施設数が多いと思う。

○子育て支援は5歳児検診を取り入れてくれたこと。小さい時からの検診など佐世保市より充実していて良いところ。

○町立図書館について、蔵書が充実している。よみきかせ、おまつりなど定期的に行われている。

○学校の先生はよく指導、支援してくれる。

○図書館の充実ぶりにはいつも感謝しています。子供たちも使いやすいようで素晴らしいと思います。体育施設も充実していると思います。医療機関は多いですが、耳鼻科がないのが残念です。

○病院はたくさんあって利用しやすい。

○近所の方がいい人ばかりで相談しやすく話しやすいです。

○登校時、たくさんの方々に見守りをさせていただき感謝しています。図書館はでも明るく、広くて、本もたくさんあり、とても利用しやすいです。

○小学校の授業内容は先生方の取り組みの工夫がされていて良いと思います。子供たちも楽しんでいると感じます。

○最新のものを使って、わかりやすく授業をされているように思う。

○小学校は先生方の子供たちの関わりが良くて満足しています。図書館は毎週利用させていただいています。満足はしていますがボロボロの本もよく見かけます。

○でんでんパークは良く利用する。幼児の頃はとても良かったが、小1になりやや物足りなさを感じる。

○ご近所さんには恵まれていて、何かあるときは助けてもらっています。ご近所づきあいができる場所です。急なときにこどもをみたりみてもらったり、とても助かっています。

○図書館は利用時間をもっと長くして欲しいが、本の量は多く、使いやすい。

○暗い！！外灯が欲しい。色々と車を使わないと行けない。自分で出かけることができるように整えて欲しい。歩道がない、草や木が影となり危ないところが多い。

問26（就学児童）子どもが成長する上で大切だと思っていることは何ですか。上位3つまで○をつけてください。（○は3つまで）

	実数	%
--	----	---

友達との関係	130	92.2
学校の勉強	78	55.3
家族とのふれあい	104	73.8
ICTに関する体験	1	0.7
自由な時間	9	6.4
英語教育	5	3.5
自然の中での体験	38	27.0
スポーツ	27	19.1
進学の準備	10	7.1
その他	1	0.7
無回答	5	3.5
無効回答	2	1.4
N=141		

問 30（就学児童）最後に、教育・保育事業の充実など子育て支援の環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

○学校にエアコンが設置される事はとてもありがたいことです。医療費の控除も高校生までになり、負担も軽減されました。予防接種（インフルエンザ）まで対象になることを希望します。給食センターの話が進められていると思いますが、子供たちに温かいご飯を食べさせることができるよう、センターでの炊飯設備の設置をお願いします。ご飯の暖かさが全く違い、ご飯の残量も減り、残量が減ることは子供達の健やかな成長につながります。ぜひセンターでの炊飯をよろしくお願いします。

○佐々町はとても住みやすい町だと思います。給食費、医療費に補助があるし、先生たちも協力的だと思います。小さいお子さんが一緒でも気軽に入れるお店の紹介マップがあると助かります。

○子育ては両親の働き方の理解が不可欠である。また、地域との関わり方、佐々町はいい所もあるけど、周囲への関心度が高すぎる所もありお節介と思うこともある。親同士の年齢が世代間によって違いにより、モラル的なことが通用しない。

○町全体（学校、警察、役場、町民）で子どもたちを守っていると感じています。感謝しています。

○とにかくお金がありません。宛名の子はまだ小学4年生ですが、上二人は高校生です。子ども五人いて経済的に苦しいから働いているのに、私が働いているばかりに2番目の子は高校の授業料を全額払わなくては行けません。遠くの学校で交通費がかかるのに援助してもらえませんでした。母親が所得税を払っている場合、授業料や交通費の援助は受けられないそうです。あんまりだと思いませんか。子供が多いことは考慮していただけないのでしょうか。少子化対策とか言いながら、育児にお金がかかりすぎる。

○学童で使えるおもちゃやボールなど増えれば、子供たちももっと楽しめると思います。よろしくお願いします。

○学童保育の人数を増やして欲しい。青い実さんは満員と聞きます。短期で預かってもらえるような対応が整備されると良いと思う。

○同居していた長女が行方不明となり、祖父母で孫育てています。住民福祉課福祉班の方にはいろいろと相談させていただくことも多く、大変お世話になっております。長女が生まれた平成1年当時と比べると福祉施策はずいぶん改善されたように感じます。当時は福祉医療は満2歳までしか受けられませんでした。それが今は18歳まで、しかも町内は現物給付ということで、大変助かります。私たち祖父母の世代は、自分たちの定年退職後の生活設定を考えなければならぬのに、急な孫の子育てで出費が多く、経済

的な不安が大きくなっています。子供はいつ病気するかわからないので、福祉医療は助かりますが、私たち夫婦以外に子育てもお願いできる人はいません。学童保育が助かっておりますが、病気の時に見てくれる人がいないので、結局はどちらかが仕事休まなければならず、負い目を感じています。病気の子どもを見てくれる環境が整うことを切に願います。これからもよろしくお願いします。福祉病気の子供を見てくれる環境が整うことを切に願います。これからもよろしくお願いします。

○学童を利用している児童は多くなっていると思うので、それに伴った施設の充実の環境を整えていただきたい。ほぼ年中利用している子供にとって学童で過ごす割合がとて大きく、そこでの過ごし方で影響することもたくさんあると思う。

○学校に行きたがらない子供が増えてきています。先生たちも対応してくれていますが、もう少し子供が望むように援助してほしいです。1の組や3の組、ひまわり組がありますが、その他にも子供たちが自由に行ける教室、学校に行きたくないけどその教室になら行けるとなる教室などがあればいいです。先生に話せる子ども、話せない子供がいると思います。子供の想いを話せるような、ストレスにならない学校になってほしいです。勉強が分からない子供には別で教えてくれる先生を増やしてほしいです。佐々町は不審者やこわい思いをしたことが最近合っていますが、小学校は集団下校をしています、中学高校は必ず迎えに来てくれるということはないと思います。急な怖いことがあった時は、親の迎えが必ず来るまでは学校に待機できるようにして欲しいです。あんなことがあったからと部活が休みになり早く帰宅となりましたが、帰る場所はそれぞれ違います。車で帰れるわけではないです。親は仕事で迎えに行きないので、そんなときは学校のほうが安全かと思います。今後も何があるか分かりません。学校の方で対応をお願いしたいです。何も事件が起きないことが1番です。無償で勉強を教えてくれる方がいらっしやると助かります。塾に行けない子供などに誰かいらっしやるといいです。

○佐々町の規模、設備、病院の充実。教育や保育事業に取り組むにはちょうどいい規模だと思います。いろんなことを考え、取り組み、もっともっと子育てのしやすい町にして欲しいです。上の子が高校生になり、県外進学、県外就職を希望しています。親だけでなく、ここで育った子どもたちがいい町だと思えないと大人になった子供が戻ってこないと思います。がんばってください。

○私が車で出勤をしていると、もう小学校のホームルームの時間と思われる時間に黄色い帽子の1年生の女の子が1人で登校しています。私の記憶では、平成31年になってから5回ぐらいは見掛けています。その前の平成30年の時も何度か。口石バス停近くのデイルーのあたりから、口石小に向かって歩いていました。5回ほど見ているのに、小学校の先生は把握していないのだろうかと思って、心配でいつも見えています。木に張り紙をしている事件の後でも、女の子1人でしかも小学1年生なので、何か起こる前に対策が必要だと思っています。8時まで安全見守りの方がいらっしやいますが、8時15分まで見守って頂けたら。いつも同じ女の子が遅刻しているので担任の先生はわかっていると思うので保護者に問いかけるとか。佐々町でこれ以上不安に過ごすのは嫌です。

○佐々町で発達障害の子供に関するセミナーを行って欲しいです。

○私が子供の頃は、土曜日は半日学校でした。今はゆとり教育というのは理解できますが、授業時間が減るためしっかり学んでいるのかどうか不安です。

子供が室内遊びができる施設があればもっと嬉しい。学童の数を増やしてほしい。

○佐々町は僻地であります。長崎県自体人口減少が著しい状況にあります。一時的に人口が多少増えたからといってあの先もそうだとは限りません。中学進学にしても、佐々中へ行かないといけません。私立や佐世保北中学校へ行くにも通学が大変です。良い中学高校進学するには大変な地域です。などと進学について大変心配しております。

○小学生の頃は宿題もあり、全国の学力テストでも良い成績を出していますが、中学生になると宿題は自学ノート1ページのみの日がほとんどで、県内の学力テストでは落ち込みが著しいです。勉強が好きな子は自学を有意義なものにできますが、大半の子はそうではありません。中学校の先生は生活指導や部活動

などでも忙しく、宿題を出したくても出された宿題をチェックする時間が取れないと思います。宿題をチェックする補助員の方などを配置できないでしょうか。問題プリントの丸つけや漢字ノートの漢字ミスチェックなどを担当する職員の方がいれば、中学校でも宿題が出され、全体の学力向上につながると思います。毎朝オーダー指導をしてくださる方や見守りのための巡視をしてくださる方がいてとても感謝しています。

○佐々町は小学校から貰ってくる色々な案内のプリントがほぼ佐々町のみで行われるものしかなくて残念です。例えば佐世保市の科学館の案内のチラシだったり、アルカスで行われるものの案内など全くありませんので、子供が可哀想だと思いました。佐々町の子供たちはそういったイベントを知らないままなんです。もう少しどうにかならないのでしょうか。

○神田地区にも、気軽にいける公園を作ってもらいたいです。のびのびと遊びたいのに、近くにないので、わざわざ車で移動していかなければいけない。

○でんでんパークは乳幼児のような小さな子どもが対象なので小学生がボール遊びできる公園がほしい。登校時に暗い日もあるので、外灯がもっとあれば防犯にもなるし、子どもたちも安心するのではないのでしょうか。

○生活環境が良く過ごしやすいですが、休日になると、結局佐々町以外で過ごすことが多いので、佐々町の中でも休日を楽しく過ごせる施設等があっても良いと思う。

○佐々町はあまり治安が良いとは思えません。小学校も集団登校は熱心と思いますが、朝よりも帰りが心配なことが多いと思います。スクールバスなどの検討も考えてもらいたい。有料でもいいので。

○子どもたちが平日遊べる児童センターがあると良い。

○放課後や休日に子供たちが参加できるような児童館のような施設が欲しい。異学年との交流にもなるし、子ども同士でゲームばかりにならず自分たちで考えて遊んだりできる環境があるとよい。子育てについて悩んでいない親はいないと思うので、就学後もアヒル学級のような講座を開いてほしい。子育てについてのアドバイスをしてもらえる機会がほしい。運動が得意では無い子供達向きの体育の教室が月1回などあると良い。また親子で参加できる町内のイベント等あるとよい。

○佐々中学校の部活は、必ず入部しないといけないようになっているようです。今はまだ5年生ですが、今後どうなるのか分かりませんが、子供たちは習い事なども多いし負担だと思います。入部すると試合などの送迎があり、それができない保護者は苦痛です。そういう時は、バスを準備してもらえたり親に負担がかからないようにしてほしいです。

○子供たちが安全にのびのびと外で遊べるような場所がほしいです。でんでんパークなど小さい子供たちの公園は増えていますが、高学年以上の子供たちの遊び場が忘れられている様に感じます。遊び場がないと家の中でゲームばかりになってしまうので、もっと外に行きたくなるような場所があればいいなと思います。歩道や自転車道などの安全性をもっと高めてほしいです。歩道が無い通学路も多く、外灯も少なく、冬は真っ暗な中を中学生や高校生の女の子などが1人で歩いて帰っているのよく見かけます。子供たちが安心して通学できる環境を整えてほしいです。無料で子供たちが使えるようなスポーツ施設、公園があるといいなと思います。バスケットゴール、広場、スケートボード、ミニサッカー、テニスなどができるような場所。

○いつも子どもたちのためにご尽力いただきありがとうございます。通学路での危険箇所について、冬期は朝夕ともに暗く不安で登校している子供もいます。

○街灯もしくは防犯カメラの設置を検討していただけたらと思います。

○小学校は親との繋がりは密で安心していますが中学校に関してはほとんど情報が入ってきません。小中の温度差が激しいと思います。

○平日は下校後、宿題等で遊ぶ時間があまり持てませんが休日や長期休み等外で遊ぶ場所が近くに近くお友達の家や遊びに行かず家の中で遊ぶことが多くなります。子どもたちが勉強もできて遊べる児童館的な場所があったらいいなと思います。

○休日に街で子供向けの催し物があれば参加していますが夏休み集中しています。他の日にも開催してほしいと思います。

○佐々子応援団の朝の見守り活動、本当にありがとうございます。いつも子どもたちに声をかけてくれているので安心です。毎日立哨されている方には感謝しています。口も聞かない子供も毎日毎日優しい声をかけてくれる方がいることで、徐々に自分から声をかけてくれるようになったよという話も聞きました。

○これから佐々子の育成にお力をお願いします。

○以前はオアシスがあったので週に一度利用させていただいておりました。公民館での習い事の前に行けるので子供も喜んでいたのですが、なくなってしまい残念に思います。

○近所の付き合いはうまく行っていますが地域のお年寄りの方との交流の場が何かあればなあと思います。

○四ツ井樋は昔ながらの行事も多く、関わることも多い方だとは思いますが子どもたちとご年配の方々との直接の関わりが少なく感じます。

○お年寄りも子供も利用できるような施設があったらいいのになと思います。

○不登校になってしまう子供のための学び場、集いの場も充実してほしいと思います。学校にはいけなくても集いの場があればそこで学ぶこともできるし。フリースクールのようなものができるといいなと思います。

○公園の整備もしてもらえるといいなと思います。でんでんパークはありますが小さい子向けなので小学生も3,4年ともなるとちょっと行きにくくなります。

○佐々町の人数に対しては学べる公園が少ないように思います。願わくば全天候型の遊べる施設室内のアスレチックだったり工作スペースだったり、諫早のこどもの城みたいなのがあったらいいのになと思います。

○子供がおとなになってもここに住みたいと思うような佐々町になってほしいなと思います。私達も自分にできることを探しながら子供に残していけるものを考えてやっていきたいなと思います。

○小学校低学年、病気の時の預け先がない。

○昨年までは、働いていたが（パート）夏休み、冬休みだけ学童に入れないか佐々町に聞いてみたら入れないと言われた。低学年で留守番も怖いので今年度は働いていない。もう少しどうにかならないものかと思う。佐世保市等は、夏休み、冬休みだけ預かってくれる学童があるのに佐々町は遅れていると思う。

○1月31日に発生した、特異事案「ダレデモイイカラコシタイ」があるが、普段安全対策は大丈夫なのかと思う。小学校へ忘れ物を届けに行き、すんなり入れるということはもし私が犯人だと考えると、余裕で犯行を行うことが可能だと感じる。訓練よりも施錠をしっかりとされたほうが良いのではないかな。4月にあった地区である話のときに不審者が学校へ入ってきたらさすまたを使って…などと説明されていたが、凶器を持っている犯人に対してさすまたでどうにかできるとは思わない。何よりも、犯人、不審者を中に入れないような工夫が必要ではないかといつも思っている。時代も変わっているのでもう少し考えたほうが絶対良いと思う。

○長期休暇（特に夏休み）のときの預け先があると助かる。（特に低学年）常にイライラするし、テレビなどで、殺してしまったというニュースを見ると気持ちがよく分かるし、本当に他人事ではないと感じる。何人も子供がいれば疲れるし、自分の体調的にも辛い日もある。

○小学校に通う子供がいます。平日、学童に行かせることまではないのですが学校行事等でたまに昼から帰ってくるとき、家の家族の用事（親の介護など）で急に一日だけ夕方一人で過ごさせないといけない日

が不特定に出てきます。そんなとき、行かせるところがなく困っています。去年はオアシスがあったのでなんとかやっていたのですが…家庭訪問、学校の先生の用事（研修、運動会などの準備）で早く帰る日が出てくると困っています。子供が気軽に行けるところを作って欲しいです。

○幼稚園（今はないですが）は前もって申し出が必要でしたが当日急に用事ができることもあります。なので5日前までに申し出が必要と言われても（親が体調が悪くなるのが5日前にわかっているわけではないので）夕方学校から帰ったあとといけるところがほしいです。

○佐々町の小中学校は、北松浦郡所属と小さい枠組みになっていますがもっと佐世保市や旧北松地区の町との連携を深めて佐々町に住んでいるためになにかに参加できなかったり、子どもたちが佐々で損したなあと思うことのないように積極的に周辺の市町村との関係を築いてもらいたいと思います。

○医療費補助の拡大や給食費の補助など金銭的には負担してもらえて助かっていますが、小学生が遊べる場所がなくて困っています。学童には入らないけど、友達同士で集まれる場所、勉強できる場所があれば、安心して過ごせます。

2.先進事例

① 未来の図書館

図書館がまちづくりのための中核や地域のコミュニティの場と位置付けられるようになってきました。特に近年は、図書館を従来の教育委員会から首長部局へ移管させ、地域振興やまちづくりの計画の中核を担うようにもなっています。図書館は地域の人たちが気軽に訪れる公共施設であり、一定の集客力があることから、まちづくりの推進力になるからです。

住民の間でも、少子高齢化や活性化に悩む地域のさまざまな課題を行政だけでなくコミュニティの力で解決しようとする時に、そうした「場」としての図書館が重要だと考えられます。

2017年3月、福智町(福岡県田川郡)に新しく図書館と歴史資料館が一緒になった施設がオープンしました。地元の食材が楽しめるカフェ、文房具や本が購入できる小さなキオスク、3Dプリンタなどものづくりができる工房、キッチンスタジオ、乳幼児も楽しめるスペースに、中高生のためのラウンジ、新たな仕事と出会えるジョブスポットなど、さまざまな機能があります。誰にとっても“自分の居場所”があり、目的がなくても立ち寄りたくなる場所、また子育て支援の拠点として、さまざまな人たちの人生に寄り添う施設を目指しています。

最近、注目されているユニークな取り組みとしては、八戸市ブックセンター(青森県)です。八戸市ブックセンターは、市が運営する書店です。八戸ブックセンターでは、提案型・編集型の陳列による本の閲覧スペースの提供と販売、本に関するイベントの開催などを中心に、市内の民間書店や図書館、市民活動と連携しながら、これからの時代にふさわしい本に関する公共サービスを構想し、提供しています。ブックスタート事業では、総合健診センターでの股関節脱臼検診の終了後に、ボランティアによる絵本の読み聞かせを行った後、絵本1冊と図書館の利用案内などを渡し、赤ちゃんと保護者が絵本を介して心ふれあうひとときを持つきっかけを提供しています。マイブック推進事業(平成26年度から)では、市内の小学校に通う児童に、市内書店で本を購入できる「マイブッククーポン」を配布し、保護者とともに書店に出かけ、自ら本を選び購入する体験を通して読書に親しむ環境をつくっています。

市長政策公約(3期目のものから一部抜粋)

「本のまち八戸」を目指し、赤ちゃんを対象にした「ブックスタート」と新小学生を対象にした「ブッククーポン」の配布を行うとともに、書店との連携により、本のセレクトショップ「八戸ブックセンター」を開設します。

第6次八戸市総合計画(一部抜粋)

ー第5章 戦略プロジェクト

ー戦略1 人づくり戦略

ー施策2 本のまち八戸の推進

子どもから大人まで幅広い世代の市民が本に親しむことができるよう、関係機関と連携しながら、本を手にすることができる機会や場の整備など、本のまち八戸の推進を図ります。



② 住民がつくった川の拠点 遠賀川の夢プラン

1996年に「住民と行政が一緒になって自分たちのふるさと(直方)を流れる遠賀川のことをみんなで考えてみよう」とメンバーが募集され、「直方川づくり交流会」が発足しました。発足時のメンバーは女性と男性それぞれ11人。川に関する勉強会や見学会が何度も開催され、議論され、遠賀川の将来像が一枚の絵にまとめられた。それが「遠賀川夢プラン」。この「遠賀川夢プラン」には、「30年後、50年後の遠賀川をこんな姿にしたい」という想いが絵と文章にこめられました。遠賀川夢プランは、1999年に第一次案がつくられ、2000年に第二次案、第三次案とブラッシュアップされ続けられました。2004年10月には夢プランで提案していた「遠賀川水辺館」が完成しました。遠賀川を子どもたちの学習の場にしたい、遠賀川を通じてふるさとの歴史を学び、地域の原点を見つめ、守り、未来に伝えることの大切さを伝えたいとの考えからです。交流会発足当時から、未就園児から大人までを対象に、環境保護や水問題などに関する教育活動を通して、市民の川への親しむ心を育み、次世代を育てる活動として展開されています。元小学校長、元幼稚園園長を経験された方が、スタッフとして活動。5歳までの子どもと保護者の方のキッズLNC(Little Nature Club)、自然観察や環境学習をする「めだかの学校」等の多彩な活動がみられる。また遠賀川の活動は、子どもたちを世界になげている。中高校生が学校の垣根を越えて水問題や生物多様性に取り組む活動の場として発足した「青少年博物学会(YNHC)」からは、3年ごとに開催される「世界子ども水フォーラム」に、2006年のメキシコ、2009年のイスタンブール、2012年のマルセイユと日本代表の一員に選出されました。2014年4月に開講した「遠賀川流域子ども水フォーラム」から2015年4月韓国・大邱、2019年3月ブラジル・ブラジリアの「世界水フォーラム」にも子どもたちを派遣しています。

水辺館の学習活動には多くの子どもたちが参加しています。水辺館での防災教育や環境教育の効果を分析したところ、防災や環境、川の安全利用に関する意識向上に大きな効果があることがわかっています。さらに自立心や郷土愛を育み、社会貢献意識を高める効果もあることがわかっています。



③ 子どもの時からの防災活動

丸亀市川西地区自主防災会(香川県)では、災害時の避難情報等を自分達で出す。市の危機管理課より地元の方がため池の状況等には詳しいからという理由による。夜間の避難が難しいことを参加住民が認識するために、夜間避難訓練が実施されている。夜間避難訓練は当初は夏の夜 23 時に実施していたが、子どもを参加させたいとの小学校からの要請で平成 26 年度には 21 時に実施し、子どもを含む約 700 名が参加した。平成 27 年度には 災害はいつ起こるか分からないことから真冬(平成 28 年 1 月 30 日 20 時)に実施した。子どもたちへの防災教育を重視しており、各種訓練を実施している。その中では、避難所の設営や訓練内容にゲーム的要素を取り入れて興味を持たせる等の工夫がされている。また小学生を対象とした合宿訓練ではコミュニティセンターに宿泊し、電気を使わずにローソクを使用して勉強や訓練をさせるなど災害時を想定して行われている。

多くの住民が参加する防災活動になっており、子どもたち楽しみながら、活動に参加している。

3.委員会答申・名簿

令和2年1月21日

佐々町長 古庄 剛 様

佐々町地域福祉計画策定委員会

会長 吉居 秀樹

佐々町子ども・子育て会議

会長 吉居 秀樹

第1期佐々町地域福祉計画および

第2期佐々町子ども・子育て支援事業計画について（答申）

「第1期佐々町地域福祉計画」および「第2期佐々町子ども・子育て支援事業計画」について、慎重に審議した結果、別添の通り答申します。

なお、取り組むべき具体的施策については、別添に記載した通りですが、具体的施策の遂行にあたり配慮していただきたい点について下記に記します。

記

1. 両計画策定に当たり、これまでの佐々町の優れた実績を認識し評価するところから出発し、その実績の内容を前提としました。従って、各種事業の実施にあたっては、今後5年間、その実務及び実績の維持、発展へ向けた取り組みとなりますように努めていただきたい。
2. 幅広い世代が将来にわたり地域福祉を推進し続ける、持続可能な全世代型コミュニティ社会の構築が佐々町の目指すべき目標であることは本委員会委員の総意です。両計画は、それを実現するための中心的計画となるため、計画策定においても一体不可分のものとして審議してきました。よって、両計画の連携を念頭に置き、事業遂行していただきたい。
3. 両計画とも、広く住民全体にアンケートを行い地域生活課題の発見・確認を行うとともに、これまで佐々町の地域福祉推進にご尽力されてこられた団体・組織代表の方々の意見を丁寧に聴取し、審議を重ねてきました。計画の実施にあたっては、行政と住民との共同ないし協働において実践されますよう要望します。
4. 現在においても地域福祉推進の中核機関として位置づけられる「地域包括支援センター」及び「健康相談センター」は、今後においても両計画推進における核として、さらに幅広く住民の参画が得られるよう、総合的な推進体制構築についてご検討いただきたい。

以上

子ども・子育て会議委員名簿

(敬称略・順不同)

	所属団体等	氏 名
1 (会長)	長崎県立大学 名誉教授	吉居 秀樹
2 (副会長)	佐々町民生委員児童委員協議会 会長	吉永 浩樹
3	町内会長連絡協議会 会長	松瀬 大高
4	佐々町 PTA 連合会 会長	福田 房人
5	佐々町老人クラブ連合会 会長	長石 善吾
6	佐々町身体障害者福祉協会 会長	松本 六一
7	佐々町地域婦人会	中川 由美恵
8	佐々町食生活改善推進連絡協議会 会長	小林 貞代
9	佐々町商工会 中央部会部会長	中村 尚広
10	佐々町元気カフェ・ぷらっと 代表	福田 修三
11	あゆっ子 代表	岩本 ます子
12	社会福祉法人 佐々町社会福祉協議会 事務局長	大瀬 昇
13	社会福祉法人 さざなみ福祉会 理事長	大長 光一
14	佐々神田保育園 保護者会 会長	渡部 基記
15	口石小学校 校長	湯村 賢二
16	社会福祉法人 民生会 本部長	松田 律子
17	有限会社 北村製茶 代表取締役	北村 誠
18	介護予防ボランティア	宮島 初枝

オブザーバー	NPO 法人 鶴見川流域ネットワーキング 理事	吉田 洋子
オブザーバー	歩健学研究室	西村 千尋
オブザーバー	株式会社 三菱総合研究所	高森 裕子

第2期“さざっ子”育成プロジェクト

子ども・子育て支援事業計画
次世代育成支援行動計画
(令和2年度～令和6年度)

令和2年3月

発行 佐々町

編集 佐々町 住民福祉課

〒857-0392

長崎県北松浦郡佐々町本田原免168番地2

Tel:0956-62-2101

Fax:0956-62-3178